

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科	職名 教授	氏名 原村 嘉彦	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
機械工学専攻カリキュラム検討委員会委員長		2008年 3月 ～現在に至る			
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
薄膜塗布技術と乾燥ト ラブル対策		2013年 8月	(技術情報協会)		595-601頁
論文					
Analysis of a high performance model Stirling engine with compact porous-sheets heat exchangers (査読付)	共著	2014年 1月	Energy 64	Zhigang Li, Yoshihiko Haramura, Yohei Kato and Dawei Tang	pp. 31-43頁

An Analytical Study of the Heat Transfer in a Regular-Shaped Micro-Channel Type Stirling Regenerator (査読付)	共著	2014年 8月			FCV-F-221頁
LOCAL HEAT REMOVAL BY LIQUID FILM ON THE EXPANSION OF DRY AREA ON A SUPERHEATED COPPER WALL (査読付)	単著	2014年 8月	Proceedings of the 15th International Heat Transfer Conference	<u>Yoshihiko Haramura</u>	IHTC15-9048頁
Which is better for regenerator matrix, metal gauze or smooth channel? (査読付)	共著	2014年 9月			
その他					
熱音響理論と工業熱力学 (機械工学の基礎としての熱力学) の橋渡しと熱音響理論に対する問題提起	単著	2010年 9月	日本機械学会エンジンシステム部門「今日視力の弱いスターリングサイクル効きの特性理解とその応用に関する研究会」		
ディスプレイサの動きで誘起される環状噴流による熱伝達特性(環状流路位置・断面積の影響)	共著	2010年12月	第13回スターリングサイクルシンポジウム論文集	<u>原村嘉彦</u> , 中村圭樹	
神奈川ブロックにおける高校教員との連携活動	単著	2011年 2月	日本機械学会誌 114(1107)		106-107頁
マイクロ液膜蒸発時の熱流束分布の測定	単著	2011年 6月	第47回日本伝熱シンポジウム講演論文集		

移動する急峻な熱流束分布の逆問題による推定とその限界	単著	2011年10月	日本機械学会熱工学コンファレンス2011講演論文集		
高温熱交換器と膨張ピストンの間に積極的に死体積を付加したスターリングエンジンの動作特性	単著	2011年12月	第14回スターリングサイクルシンポジウム講演論文集		85-86頁
大きな単一気泡底部液膜に形成されるドライパッチ近傍の熱流束の分布と変化	単著	2012年 5月	第49回日本伝熱シンポジウム講演論文集		
Outline of research of Japanese group	単著	2012年11月	Open Meeting on Joint Research of KU and CAS		
スターリングエンジン内の流動と熱伝達のシミュレーションとその検証	共著	2012年11月	第15回スターリングサイクルシンポジウム講演論文集	原村嘉彦, 李志剛, 加藤洋平	9-12頁
再生器性能試験機(新手法の提案)	共著	2012年11月	第15回スターリングサイクルシンポジウム講演論文集	原村嘉彦, 赤岩拓弥	37-38頁
ものづくりとスターリングエンジン	単著	2012年12月	日本機械学会関東支部神奈川ブロック, 将来の技術者育成に資する高校教員と大学教員の意見交換会(第8回)		
プール沸騰限界熱流束点付近における熱流束の変動と分布	単著	2013年 6月	第50回日本伝熱シンポジウム講演論文集		
高性能模型スターリングエンジンにおける流動と軸出力の特性	共著	2013年11月	第16回スターリングサイクルシンポジウム講演論文集	加藤洋平, 李志剛, 原村嘉彦	

ディスプレイサの動きで誘起される周期的噴流による熱伝達	共同	2014年12月	第17回スターリングサイクルシンポジウム(横浜)	佐々木耕平	
再生器の蓄熱材構造によるエンジン出力の相違	共同	2014年12月	第17回スターリングサイクルシンポジウム(横浜)	加藤洋平	
新しい再生器性能試験機における測定結果	共同	2014年12月	第17回スターリングサイクルシンポジウム(横浜)	赤岩拓弥	
III 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
		個人研究 スターリングエンジン			
		個人研究 パルス管冷凍機			
		個人研究 沸騰伝熱			
		日本伝熱学会(国内学会)会員			
1979年 4月～現在に至る		日本機械学会(国内学会)会員			
2001年 4月～現在に至る		日本機械学会(国内学会)スターリングサイクル委員会委員			
2003年 4月～現在に至る		日本工学教育協会(国内学会)会員			
2004年 4月～現在に至る		日本設計工学会(国内学会)会員			
2008年 3月～現在に至る		日本機械学会(国内学会)関東支部神奈川ブロック運営委員			
2008年 4月～2011年 3月		科学研究費補助金 15,200,000円 「基盤研究(B)一般」沸騰伝熱に及ぼす加熱面性状の一般普遍的表記法の構築(研究分担者)			
2008年 4月～現在に至る		開放検査周期認定事前審査委員会 委員			
2008年 5月～2010年 5月		日本伝熱学会(国内学会)理事・総務部会長			
2009年 4月～2011年 3月		日本機械学会(国内学会)技術と社会部門運営委員			
2009年 4月～2012年 3月		科学研究費補助金 3,600,000円 「基盤研究(C)一般」ぬれと乾きが共存する蒸発における熱流束分布測定とそれに基づく伝熱機構の解明(研究代表者)			
2009年 9月～2012年 5月		日本伝熱学会(国内学会)新法人移行検討委員会 委員長			
2010年 4月～2013年 3月		日本工学教育協会(国内学会)編集出版委員会委員			
2011年 9月～2015年 3月		競争的資金等の外部資金による研究(科学技術振興機構)「戦略的国際科学技術協力推進事業」バイオ燃料と太陽熱のハイブリッド加熱のスターリンエンジンによる熱電併給システム(研究代表者)			
2013年12月～2014年12月		日本機械学会(国内学会)第17回スターリングサイクルシンポジウム実行委員長			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科	職名 教授	氏名 伊藤 勝悦	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
材料力学 I, 材料力学 I I 問題集[印刷:(有)駒瀬印刷所]		2007年 3月31日 ～現在に至る	大学工学部機械工学科学生用の演習問題として作成した。ページ数は62		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
機械工学系大学院 材料力学入学試験問題集 (2010年版)-問題とその解答集-	共著	2010年 4月	(NPO法人固体の力学研究会)	畑 俊明, 土田栄一郎, 伊藤勝悦, ほか8名.	
機械工学系大学院材料力学入試問題集(2011年版)-問題とその解答集	共著	2011年 5月	(NPO法人「固体の力学研究会」)	畑俊明, 土田栄一郎, 伊藤勝悦, ほか8名	
基礎から学べる材料力学	単著	2011年 9月	(森北出版株式会社)		

「機械工学系大学院材料力学入学試験問題集(2012年版)-問題とその解答集」	共著	2012年 5月	(NPO法人 固体の力学研究会)	畑俊明, 伊藤勝悦, 他 6 名	
「機械工学系大学院材料力学入学試験問題集(2013年版)-問題とその解答集」	共著	2013年 6月		畑俊明, 土田栄一郎, 伊藤勝悦, 他 5 名	
東京大学大学院: 材料力学入試問題と解答集	単著	2013年 6月	(NPO法人固体の力学研究会)		
Plane Strain and Plane Stress Problems in Thermoelasticity: in Encyclopedia of Thermal Stresses (Editor: R. B. Hetnarski)	単著	2013年11月	(Springer (Dordrecht)) Vol. 7		3921-3930頁
大学院材料力学入試問題集2014	共著	2014年 6月	(NPO法人固体の力学研究会)	畑 俊明, 伊藤勝悦, 土田栄一郎, 須見直文, 辻 知章, 小畑良洋, 石原正行, 河村隆介, 森本卓也	
論文					
Thermal stresses around two collinear interface cracks between a nonhomogeneous bonding layer and one of the two dissimilar elastic half-planes under uniform heat flux (査読付)	単著	2010年 4月	Journal of Thermal Stresses (Taylor & Francis, Philadelphia) 33		387-411頁

Dynamic stress intensity factors for three parallel cracks in an infinite plate subject to harmonic stress wave (査読付)	单著	2010年 7月	Engineering ( Scientific Research Publishing ) 2(7)		485-495頁
Dynamic stress intensity factors for two parallel interface cracks between a nonhomogeneous bonding layer and two dissimilar elastic half-planes subject to an impact load (査読付)	单著	2010年 8月	International Journal of Solids and Structures ( Elsevier, Oxford ) 47(16)		2155-2163頁
Effect of couple stresses on the stress intensity factors for two parallel cracks in an infinite elastic medium under tension (査読付)	单著	2012年 5月	Mathematical Problems in Engineering (Hindawi Publishing Corporation, New York) 2012		1-14頁
Stress intensity factors for two parallel interface cracks between a nonhomogeneous bonding layer and two dissimilar orthotropic half-planes under tension (査読付)	单著	2012年 6月	International Journal of Fracture (Springer, Dordrecht) 175(2)		187-192頁

Stress intensity factors for three cracks at the interfaces of a graded layer bonding two different materials (査読付)	单著	2013年 2月	Applied Mathematical Modelling (Elsevier, Oxford) 37(4)		2516-2530頁
Effect of couple-stresses on the Mode I dynamic stress intensity factors for two equal collinear cracks in an infinite elastic medium during passage of time-harmonic stress waves (査読付)	单著	2013年 5月	International Journal of Solids and Structures (Elsevier, Oxford) 50(10)		1597-1604頁
Effect of couple-stresses on the transient dynamic stress intensity factors for a crack in an infinite elastic medium under an impact stress wave (査読付)	单著	2013年 9月	I n t e r n a t i o n a l J o u r n a l o f F r a c t u r e (Springer, Dordrecht) 183(1)		99-104頁
Stress intensity factors around two coaxial cylindrical cracks in composite materials (査読付)	单著	2013年10月	Mechanics of Advanced Materials and Structures (Taylor & Francis, Philadelphia) 20(9)		721-729頁



Effect of couple-stresses on the stress intensity factors for a crack in an infinite elastic strip under tension (査読付)	単著	2013年11月	European Journal of Mechanics A/Solids (Gauthier-Villars/Elsevier, Paris) 42(11-12)		2013頁
Thermal stresses around two parallel interface cracks between a nonhomogeneous bonding layer and two dissimilar elastic half-planes under uniform heat flux (査読付)	単著	2014年 5月	Journal of Thermal Stresses (Taylor & Francis, Philadelphia) 37		749-770頁
その他					
「2個のき裂の動的応力拡大係数に及ぼすモーメント応力の影響について」	共同	2013年11月	日本機械学会材料力学カンファレンス(佐賀市)	阿部祐哉, 伊藤勝悦	
2個のき裂の動的応力拡大係数に及ぼすモーメント応力の影響について」	共同	2014年 7月	日本機械学会材料力学カンファレンス(福島)	阿部祐哉, 伊藤勝悦	
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1969年 9月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員				
2008年10月～現在に至る	「機械工学系大学院材料力学入試問題集-問題と解答集-」(毎年発行), (NPO法人固体の力学研究会) 副総括・出版責任委員				
2010年 2月～現在に至る	国際学術雑誌の編集顧問 Member of the Editorial Board: Journal of Engineering (Scientific Research Publishing, Irvine)				
2013年 4月～現在に至る	個人研究 界面に平行き裂を有する複合材の応力拡大係数について				
2013年 4月～現在に至る	個人研究 複数き裂を有する不均質材の動弾性問題				

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科	職名 教授	氏名 江上 正	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
学生による授業評価アンケートの活用		2008年 9月 1日 ～現在に至る	(授業科目：自動制御及び演習2) 平成20年度前記授業評価アンケート評価を受け、細かい説明まで省略することなく丁寧に説明するように授業運営の改善活動を行った。
2 作成した教科書、教材			
電気機器とサーボモータ		1997年 3月 ～現在に至る	機械工学科3, 4年次対象の講義「メカトロニクス」の教科書として執筆。 笹島春己, 江上正。電気機器の基本からパワーエレクトロニクス、およびメカトロニクスの一要素であるサーボモータまでわかり易く解説。〔主要項目〕直流機/同期機/変圧器/誘導機/パワーエレクトロニクス/サーボモータとその制御システム。
新版現代制御工学		2000年 4月 ～現在に至る	学部3年次対象の「自動制御及び演習1」、「自動制御及び演習2」、大学院対象の「制御工学特論1」、「制御工学特論2」の教科書として執筆。 土谷武士、江上正。フィードバック制御系を中心として古典制御理論から現代制御理論までの基礎を直流モータ制御を具体例として取り上げながら丁寧に解説。〔主要項目〕制御工学とは/数学的基礎/数式モデル/特性表現/安定性・安定度/フィードバック制御系/最適レギュレータ系/最適デジタルサーボ系/リニアブラシレスモータの最適デジタル位置決め制御/他。

基礎システム工学	2001年 3月 ～現在に至る	学部3年次対象の「自動制御及び演習1」、「自動制御及び演習2」の参考書として執筆。 土谷武士、江上正。制御の概念をイメージとして獲得してから、数式で制御理論の各論を理解するようにすることを最大の目標として執筆している。〔主要項目〕システム制御工学とは/フィードバック制御の具体例/フィードバック制御系が有効であるわけ/フィードバック制御系の構造/システムの表現/過渡応答と周波数応答による特性評価/安定性/PID制御およびフィードバック増幅器/フィードバック制御系の特徴・一般論/より広い分野でトータルシステム。			
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
機械工学科研究授業および意見交換会	2008年 6月19日 ～現在に至る	(授業科目：自動制御1) 参観教員4名からのアンケート結果では、「丁寧に授業を行っているので、学生は講義内容を理解できると思われる」との評価を受けた。一方、パワーポイントの文字の大きさや後ろで談笑している学生への対応などの改善意見があった。			
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
ロボットプロジェクト代表	2009年 4月 ～現在に至る	ロボコンなどへの参加を目的とした神奈川大学内でのロボットプロジェクトの代表			
神奈川大学宇宙エレベータープロジェクト代表	2010年 4月 ～現在に至る	宇宙エレベーター技術競技会への参加や宇宙エレベーターの啓蒙活動などを目的として立ち上げた神奈川大学宇宙エレベータープロジェクトの代表			
機械工学専攻大学院運営委員としての活動	2010年 4月 1日 ～2012年 3月31日				
機械工学科教育委員としての活動	2013年 4月 ～現在に至る				
II 研究活動					
著書・論文等の 名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
移動車両の可変速経路 制御	共著	2010年 5月	計測自動制御学会論文集 46(5)	江上正, 天野桂介, 西川昌宏	

3次元経路制御手法の提案 (査読付)	共著	2011年12月	日本機械学会論文集 77(784)	江上正, 福永彰彦	4581-4590頁
経路誤差平面内の誤差ベクトルを考慮した3次元経路制御 (査読付)	共著	2012年 9月	日本機械学会論文集 78(793)	江上正, 赤須達也, 東理清人	3152-3165頁
最短目標点探索を用いた経路制御手法のNCフライス盤への適用 (査読付)	共著	2012年12月	計測自動制御学会論文集 48(12)	江上正, 天野桂介	898-906頁
宇宙エレベーターに託す夢	単著	2013年 1月	ミットヨレポート(株式会社ミットヨ)		
交差点認識と経路制御を用いた電動車椅子の走行制御 (査読付)	共著	2013年 5月	システム制御情報学会 27(5)	飯島裕樹, 江上正	207-215頁
交差点マップを用いた電動車椅子の経路制御 (査読付)	共著	2015年 1月	システム制御情報学会論文誌(システム制御情報学会) 28(1)		12-21頁
その他					
予見補償を用いた3次元経路制御	共著	2010年 5月	第54回システム制御情報学会研究発表講演会 (京都市リサーチパーク) [F47-4]	福永彰彦, 守屋元道, 江上正	
ロボットハンドによる柔らかい対象物の把持	共著	2010年 6月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2010 2A1-F08	西川昌宏, 蓮井慧, 近藤謙次, 江上正	
宇宙エレベーター昇降実験機の開発	共著	2010年 6月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2010 1 A2-C03	池内亮, 津國哲郎, 西川昌宏, 江上正	

形態可変型ロボットハンドの自動着脱	共著	2010年 6月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2010 2A1-E23	宗岡里樹, 近藤謙次, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
レーザーレンジファインダを用いた移動体の位置推定	共著	2010年11月	第53回自動制御連合講演会 (高知城ホール) [No. 269]	金井隼人, 本多晃司, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
ロボットハンドによる柔らかい対象物の把持制御	共著	2010年11月	第53回自動制御連合講演会 (高知城ホール) [No. 411]	蓮井慧, 近藤謙次, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
予見仮想目標値を用いた3次元経路制御	共著	2010年11月	第53回自動制御連合講演会 (高知城ホール) [No. 410]	福永彰彦, 赤須達也, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
移動車両の可変速経路制御	共著	2010年11月	第53回自動制御連合講演会 (高知城ホール) [No. 338]	本多晃司, 天野桂介, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
すべりを考慮した車両の経路制御	共著	2011年 3月	第43回計測自動制御学会北海道支部学術講演会 (北海道大学) [No. A17]	本多晃司, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
レーザーレンジファインダを用いた移動体の位置推定	共著	2011年 3月	第43回計測自動制御学会北海道支部学術講演会 (北海道大学) [No. A18]	金井隼人, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
宇宙エレベーター屋内実験装置の開発	共著	2011年 3月	第43回計測自動制御学会北海道支部学術講演会 (北海道大学) [No. A10]	津國哲郎, 西川昌宏, <u>江上正</u>	
宇宙エレベーター昇降実験機の開発	共著	2011年 3月	第43回計測自動制御学会北海道支部学術講演会 (北海道大学) [No. A9]	池内亮, 西川昌宏, <u>江上正</u>	

摩擦錐を考慮したロボットハンドによる把持	共著	2011年 3月	第43回計測自動制御学会北海道支部学術講演会（北海道大学）[No. 13]	近藤謙次，蓮井慧，西川昌宏， <u>江上正</u>	
経路制御手法によるNCフライス盤の制御	共著	2011年 3月	第43回計測自動制御学会北海道支部学術講演会（北海道大学）[No. A12]	天野桂介，西川昌宏， <u>江上正</u>	
経路誤差平面内の制御を考慮した3次元経路制御	共著	2011年 3月	第43回計測自動制御学会北海道支部学術講演会（北海道大学）[No. A11]	赤須達也，福永彰彦，西川昌宏， <u>江上正</u>	
宮陵会大阪支部講演「宇宙エレベーターについて」	単独	2011年 6月	(大阪)		
シコー株式会社講演「予見制御と経路制御」	単独	2011年 9月	(上海)		
宇宙エレベーターの現状と可能性	単独	2012年 6月	1日神大生(神奈川大学)		
宇宙エレベーターで宇宙を目指そう	共同	2012年 7月	神奈川県中高生サイエンスキャリアプログラム(神奈川大学)		
形態可変型ロボットハンドおよび宇宙エレベーター昇降実験機	単著	2012年10月	ロボットイノベーション		
すべりを考慮した車両の経路制御	共著	2012年11月	第55回自動制御連合講演会(京都大学)(No. 2G304)	佐藤敬祐， <u>江上正</u>	
最適サーボ系の仮想目標値設計	共著	2012年11月	第55回自動制御連合講演会(京都大学)(No. 2J102)	束理 清人， <u>江上正</u>	
形態可変型ロボットハンドの指の数及び指先位置の最適化	共同	2013年 3月	第45回計測自動制御学会北海道支部学術講演会(北海道大学)	安藤啓太，西川昌宏， <u>江上正</u>	
すべりを考慮した車両の可変速予見経路制御	共同	2013年 5月	第57回システム制御情報学会研究発表講演会(兵庫県民会館)	佐藤敬祐， <u>江上正</u>	

ジャイロ効果を用いた宇宙エレベーター昇降実験機の姿勢制御	共同	2013年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2013(つくば国際会議場)	長島祥、長内亜里紗、伊藤泰隆、江上正	
交差点認識と経路制御を用いた電動車椅子の走行制御	共同	2013年 5月	第57回システム制御情報学会研究発表講演会(兵庫県民会館)	飯島裕樹、田中雅人、江上正	
交差点認識を用いた電動車椅子の経路制御	共同	2013年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2013(つくば国際会議場)	田中雅人、飯島裕樹、江上 正	
押付力調整機構を用いた宇宙エレベーター昇降実験機の試作と制御	共同	2013年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2013(つくば国際会議場)	鈴木雅和、江上 正	
大学教授インタビュー	単著	2013年 6月	HR(グラフィティ)(19)		
宇宙エレベーターの現状と可能性	単独	2013年 6月	1日神大生(神奈川大学)		
ジャイロ効果を用いた宇宙エレベーター昇降実験機の姿勢制御	共同	2013年11月	第56回自動制御連合講演会(新潟大学)	長島祥、長内亜里紗、江上正	
押付力調整機構を用いた宇宙エレベーター昇降実験機の試作と制御	共同	2013年11月	第56回自動制御連合講演会(新潟大学)	鈴木雅和、江上 正	
ジャイロ効果を用いた宇宙エレベーター昇降実験機の昇降安定化制御	共同	2014年 3月	第46回計測自動制御学会北海道支部学術講演会(北海道大学)	長島 祥、長内亜里紗、大場雄斗、江上 正	
ブレーキユニットを用いた宇宙エレベーター昇降実験機の下降制御	共同	2014年 3月	第46回計測自動制御学会北海道支部学術講演会(北海道大学)	大場雄斗、横田 諄、池内 亮、江上 正	
ユニット型宇宙エレベーター昇降実験機の試作と制御	共同	2014年 3月	第46回計測自動制御学会北海道支部学術講演会(北海道大学)	浦 卓也、江上 正	
押付力調整機構を用いた宇宙エレベーター昇降実験機の昇降安定化制御	共同	2014年 3月	第46回計測自動制御学会北海道支部学術講演会(北海道大学)	鈴木雅和、横田 諄、池内 亮、江上 正	

ジャイロユニットを用いた宇宙エレベーター昇降実験機の走行安定化制御	共同	2014年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2014(富山市総合体育館)	大場雄斗、長島 祥、江上 正	
ユニット型宇宙エレベーター昇降実験機の開発と制御	共同	2014年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2014(富山市総合体育館)	浦 卓也、江上 正	
レーザースキャナを用いたすべりを考慮した車両の経路制御	共同	2014年 5月	第58回システム制御情報学会研究発表講演会(京都テルサ)	渡邊孝之、佐藤敬祐、江上 正	
押付力調整ユニットを用いた宇宙エレベーター昇降実験機の走行安定化制御	共同	2014年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2014(富山市総合体育館)	横田 諄、鈴木雅和、江上 正	
宇宙エレベーターの現状と課題	単独	2014年 7月	兵庫県宮陵会総会(明石)		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1982年 4月～現在に至る		計測自動制御学会(国内学会)会員			
1982年 4月～現在に至る		電気学会(国内学会)会員			
1987年 6月～現在に至る		日本自動制御協会(現システム制御情報学会)(国内学会)会員			
1990年 4月～現在に至る		日本ロボット学会(国内学会)会員			
1992年 4月～現在に至る		日本機械学会(国内学会)会員			
1993年 4月～現在に至る		電気学会 論文査読委員			
1993年 4月～現在に至る		電気学会(国内学会)論文委員			
2000年～現在に至る		個人研究 メカニカルシステムの経路制御に関する研究			
2000年～現在に至る		個人研究 形態可変型ロボットハンドシステムの研究			
2001年 4月～現在に至る		IEEE(国際学会)会員			
2005年～現在に至る		個人研究(個人研究)移動車両の経路制御			
2005年～2010年		個人研究 3次元倒立振子の振り上げ安定化制御			
2005年～現在に至る		個人研究 電動車椅子の自動走行制御			
2009年～現在に至る		個人研究 宇宙エレベーター実験昇降機の開発			
2009年10月～現在に至る		宇宙エレベーター協会(国内学会)会員			
2011年 4月～現在に至る		宇宙エレベーター協会(国内学会)技術委員会委員			
2013年 4月～2014年 3月		企業からの受託研究(日本トムソン株式会社)リニアxyθテーブルに対する経路制御(研究代表者)			



2014年 4月～現在に至る

企業からの受託研究（日本トムソン株式会社）ナノリニアを用いたボール&プレート経路制御装置の試作と制御（研究代表者）

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科	職名 教授	氏名 中尾 陽一	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
配布教材の更新	2007年 9月 ～現在に至る	授業評価アンケートを受けて、自習用の練習問題を増やし、学生の自主学習による学力向上を図った	
SolidWorksによる実践的な設計教育の計画及び実施	2014年 9月 1日 ～2015年 1月31日	授業履修者の希望者に対して、SolidWorks認定試験 (CSWA) の補習を実施し認定試験を受験させた。その結果、24名の合格者を出した。	
SolidWorksによる認定試験の実施	2014年12月24日 ～現在に至る	学生の希望者に対して、SolidWorks認定試験のための教育を行い、学内において試験を実施 (初級, 上級) した。初級試験においては合格率75%を実現し、さらに上級試験についても5名の合格者を出した (2014年度)。	
2 作成した教科書、教材			
「工業力学演習」用教材	2002年 4月 ～現在に至る		
「工作機械」用教材	2005年 4月 ～現在に至る		
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
工学部優秀講義賞	2007年 9月 ～現在に至る		
2008年前期授業評価アンケート結果	2008年10月 ～現在に至る	(授業科目: 工作機械) 授業の説明については、従来わかりやすいと回答する学生が多い。このため、説明方法については、従来の方法を継続するように心がけている。また、今回新たに、配付資料に自習用の演習問題を追加した。さらに毎回、授業冒頭に小テストを実施し、その後、問題の解説を行うよことにより、学習効果の向上を図った。	
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
なし			
5 その他			
なし			
II 研究活動			

著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Modelling and characteristics of fluid-driven bi-directional motor for angular position-control system (査読付)	共著	2010年 4月	Proceedings of the Institution of Mechanical Engineers (英国機械学会論文集), Part C: Journal of Mechanical Engineering Science 224(C4)	Y. Nakao and M. Ishikawa	863-876頁
Fundamental Consideration on Design of Restrictor for Hydrostatic Bearing (査読付)	単著	2010年 6月	Proceedings of 10th International Conference of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology 1		380-383頁
Design of Rotary-Type Flow Control Valve for Control of Water-Driven Spindle (査読付)	共著	2010年10月	Proc. of ASME 2010 International Mechanical Congress and Exposition	Y. Nakao, H. Niimiya and T. Ohbayashi	
Angular Position-Control of Fluid-Driven Bi-Directional Motor (査読付)	共著	2010年11月	Proceedings of the Institution of Mechanical Engineers (英国機械学会論文集), Part C: Journal of Mechanical Engineering Science 224(C11)	Y. Nakao and M. Ishikawa	2350-2362頁

小型流体駆動スピンドルの回転速度制御用ロータリ形流量制御弁 (査読付)	共著	2011年 2月	日本機械学会論文集(C編) 77(774)	中尾, 新宮, 大林	514-526頁
Driving Performance of Water Driven Stage (査読付)	共著	2011年 4月	Proceedings of The 4th International Conference on Manufacturing Machine Design and Tribology	T. Sano, M. Nagashima, <u>Y. Nakao</u> and K. Suzuki	185-186頁
Design of feedback control system for water driven stage (査読付)	共著	2011年 5月	Proceedings of 11th International Conference of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology 1	<u>Y. Nakao</u> , M. Nagashima, T. Sano and K. Suzuki	335-338頁
Model Verification and Design of Speed Control System of Water Driven Stage (査読付)	共著	2011年 8月	Proc. of ASME 2011 International Design Engineering Technical Conferences CD-ROM	<u>Y. Nakao</u> , T. Sano, M. Nagashima and K. Suzuki	
Design of Speed Control System of Water Driven Stage (査読付)	共著	2011年10月	Proceedings of the 8th JFPS International Symposium on Fluid Power CD-ROM	T. Sano, M. Nagashima, <u>Y. Nakao</u> and K. Suzuki	
Development of Water Hydraulic Proportional Valves Driven by Positive Cam Mechanism (査読付)	共著	2011年10月	Proceedings of the 8th JFPS International Symposium on Fluid Power CD-ROM	K. Suzuki, S. Akazawa, T. Hatayama and <u>Y. Nakao</u>	

Development and modeling of water driven stage (査読付)	共著	2011年11月	Proc. of ASME 2011 International Mechanical Congress and Exposition CD-ROM	<u>Y. Nakao</u> , T. Sano, M. Nagashima and K. Suzuki	
Evaluation of dynamic characteristics of water driven stage (査読付)	共著	2012年 6月		<u>Y. Nakao</u> , T. Sano, S. Harada and K. Suzuki	
Development of Cam-Drive Type Proportional Valve for Water Hydraulics (査読付)	共著	2012年 7月	International Journal of Automation Technology 6(4)	Kenji Suzuki, Sho Akazawa, and <u>Yohichi Nakao</u>	450-456頁
Development of Spindle with Water Hydrostatic Bearings for Ultra Precision Machine Tools	共著	2012年10月	Proceedings of the International Conference of Manufacturing Technology Engineers 2012	<u>Y. Nakao</u> and K. Suzuki	
Design of Short-Pipe Restrictor of Hydrostatic Thrust Bearings (査読付)	共著	2012年11月		<u>Y. Nakao</u> , S. Nakatsugawa, M. Komori and K. Suzuki	
Development and control of water hydraulic semi-rotary actuator of quarter-turn type (査読付)	共著	2012年11月	The 5th International Conference on Positioning Technology	K. Suzuki, S. Akazawa, R. Torii, and <u>Y. Nakao</u>	

Feasibility study on a spindle supported by high stiffness water hydrostatic bearings for ultra-precision machine tool (査読付)	共著	2013年 5月	Proceedings of 13th International Conference of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology Vol. 1	Y. Nakao, K. Yamada and K. Suzuki	pp. 196-199頁
Design of angle control system of water hydraulic semi-rotary actuator of quarter-turn type using a proportional valve	共著	2013年11月	Proceedings of FLUCOME	K. Suzuki, S. Akazawa, and <u>Y. Nakao</u>	
Design of restrictors of water hydrostatic thrust bearings considering influence of initial table displacement (査読付)	共著	2013年11月	Proceedings of The 7th International Conference on Leading Edge Manufacturing in 21st Century	Naohiro Makino, Masataka Komori, Kenji Suzuki and <u>Yohichi Nakao</u>	
Design of spindle supported by high stiffness water hydrostatic bearing (査読付)	共著	2013年11月	Proc. of ASME 2013 International Mechanical Congress and Exposition	<u>Y. Nakao</u> , K. Yamada and K. Suzuki	
Characteristics of bearing stiffness of a spindle with high stiffness water hydrostatic thrust bearing for ultra-precision machine tool (査読付)	共著	2014年 6月	Proceedings of 14th International Conference of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology Vol.1		

Feasibility Study on Design of Spindle Supported by High-Stiffness Water Hydrostatic Thrust Bearing (査読付)	共著	2014年 8月	International Journal of Automation Technology	Yohichi Nakao, Kenji Suzuki, Kohei Yamada, and Kohei Nagasaka	
ウォータドライブステージの開発と速度制御 (査読付)	共著	2014年 8月	日本機械学会論文集(C編)	中尾陽一, 鈴木健児, 佐野利晃, 長島碧, 鳥居侑祐	
その他					
日本フルードパワーシステム学会, 水圧駆動システムの有効利用に関する研究委員会		2010年 9月	(東京)		
水圧比例弁の試作と静特性の測定	共著	2010年12月	日本フルードパワーシステム学会平成22年秋季講演会講演論文集	鈴木健児, 赤澤翔, 畑山敏毅, 中尾陽一	91-93頁
ウォータドライブステージの速度制御系の設計と評価	共著	2011年 3月	2010年度日本機械学会関東支部総会講演会	長島, 佐野, 中尾, 鈴木	33-34頁
静圧軸受における軸受絞り設計の一考察	共著	2011年 3月	2010年度日本機械学会関東支部総会講演会論文集	中津川, 中尾, 鈴木	39-40頁
カム駆動型水圧比例弁による水圧揺動アクチュエータの制御	共著	2011年 7月	第23回フルードパワーシステム国際見本市論文集	鈴木健児, 鳥居良介, 赤澤翔, 畑山敏毅, 中尾陽一	63-64頁
第23回国際フルードパワー国際見本市, 水圧セッションセミナー		2011年 7月	(東京)		
カム駆動型水圧用比例弁の動特性	共著	2011年 9月	2011年度日本機械学会年次大会講演論文集	赤澤, 鈴木, 中尾	

水圧駆動用90° 回転型アクチュエータの開発	共著	2011年 9月	2011年度日本機械学会年次大会講演論文集	鳥居, 鈴木, 中尾	
水静圧軸受の変位制御	共著	2011年 9月	2011年度日本機械学会年次大会講演論文集	中津川, 中尾, 鈴木	
アクアドライブシステムの超精密工作機械への応用	単著	2011年11月	油空圧技術(11)		33-39頁
ウォータードライブステージのステップ応答による動特性評価	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集	佐野利晃, 鈴木健児, 中尾陽一	207-208頁
カム駆動型水圧用比例弁の動特性の向上に関する研究	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集	赤澤翔, 鈴木健児, 中尾陽一	21-22頁
水圧駆動用270° 回転型揺動アクチュエータの設計	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集	鳥居良介, 鈴木健児, 中尾陽一	19-20頁
水圧駆動用270° 回転型揺動アクチュエータの試作	共著	2012年 3月	日本機械学会関西支部第87期総会講演会講演論文集	鳥居良介, 鈴木健児, 中尾陽一	11-13頁
水静圧回転テーブルの支持剛性の測定	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集	中津川翔太, 中尾陽一, 鈴木健児	225-226頁
水静圧軸受の変位の能動制御	共著	2012年 3月	日本機械学会関西支部第87期総会講演会講演論文集	中津川翔太, 鈴木健児, 中尾陽一	
ウォータードライブステージに組み込まれた水静圧軸受の剛性測定	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集	原田翔, 鈴木健児, 中尾陽一	



ウォータドライブステージの速度制御系設計 第一報 ウォータドライブステージのモデル化	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集	佐野利晃, 鈴木健児, 中尾陽一	
水圧比例弁を用いた水圧シリンダ制御系のモデル化	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集	畑山敏毅, 赤澤翔, 鈴木健児, 中尾陽一	
水圧駆動用90° 回転型アクチュエータの性能評価	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集	赤澤翔, 鳥居良介, 鈴木健児, 中尾陽一	
水静圧スラスト軸受の剛性測定	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集	小森正敬, 中津川翔太, 中尾陽一, 鈴木健児	
International Conference of Manufacturing Technology Engineers 2012		2012年10月	(Seoul)		
ウォータドライブステージの性能評価 (第一報 水静圧軸受の剛性測定)	共著	2012年10月	日本機械学会第9回生産加工・工作機械部門講演会講演論文集	原田翔, 鈴木健児, 中尾陽一	39-40頁
ウォータドライブステージの速度制御系設計 (第二報 比例弁による速度制御の試み)	共著	2012年10月	日本機械学会第9回生産加工・工作機械部門講演会講演論文集	佐野利晃, 鈴木健児, 中尾陽一	37-38頁
水静圧軸受の支持剛性を最大にする短管軸受絞りの設計問題	共著	2012年10月	日本機械学会第9回生産加工・工作機械部門講演会講演論文集	中尾陽一, 小森正敬, 牧野尚拓, 中津川翔太, 鈴木健児	41-42頁
日本フルードパワーシステム学会ウインターセミナー		2013年 2月	(東京)		

ウォータドライブステージの速度制御系設計 第三報：ステージのフィードバック速度制御系の性能評価	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集	佐野利晃, 鳥居侑祐, 鈴木健児, 中尾陽一	pp. 183-184頁
ウォータドライブ加工システムによるダイヤモンド切削の試み	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集	原田翔, 鈴木健児, 中尾陽一	pp. 35-36頁
ウォータドライブ加工システムの開発と性能評価	共著	2013年 3月	日本機械学会関東学生会第52回学生員卒業研究発表講演会論文集	樋口貴郁, 原田翔, 中尾陽一, 鈴木健児	pp. 595-596頁
水圧用比例弁を用いた90°回転型揺動アクチュエータの角速度制御のためのモデル化	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集	赤澤翔, 鈴木健児, 鳥居良介, 中尾陽一	pp. 501-502頁
水圧用比例弁を用いた水圧シリンダの位置決め	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集	畑山敏毅, 赤澤翔, 鈴木健児, 中尾陽一	pp. 497-498頁
水静圧スピンドルの設計	共著	2013年 3月	日本機械学会関東学生会第52回学生員卒業研究発表講演会論文集	山田晃平, 中尾陽一, 鈴木健児	pp. 587-588頁
水静圧スラスト軸受におけるリセス圧力と軸受剛性の測定	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集	小森正敬, 牧野尚拓, 中尾陽一, 鈴木健児	pp. 531-532頁
水静圧スラスト軸受の高剛性化のための軸受絞りの設計	共著	2013年 3月	日本機械学会関東学生会第52回学生員卒業研究発表講演会論文集	牧野尚拓, 小森正敬, 中尾陽一, 鈴木健児	pp. 553-554頁
ウォータドライブステージの速度制御系設計 第四報：速度制御に及ぼす負荷の影響	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集	鳥居侑祐, 佐野利晃, 中尾陽一, 鈴木健児	

ウォータドライブ加工システムの開発と性能評価 第一報：水の圧力脈動の影響	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集	樋口貴郁, 原田翔, 中尾陽一, 鈴木健児	
水静圧スラスト軸受の高剛性化のための軸受絞りの設計法	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集	牧野尚拓, 小森正敬, 中尾陽一, 鈴木健児	
高剛性水静圧スピンドルの設計	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集	山田晃平, 中尾陽一, 鈴木健児	
砥粒加工学会 研削・研磨盤の高度化専門委員会において「水静圧軸受を用いた精密機械システムの開発」について講演		2014年 6月	(横浜)		
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
	個人研究 ドリルバリの抑制に関する研究				
	個人研究 加工システムの計測・制御				
	個人研究 自由曲面加工システムの開発				
	個人研究 超精密スピンドルシステムの開発				
	個人研究 超精密工作機械用水駆動スピンドルシステムの開発				
1989年 4月～現在に至る	日本人工臓器学会(国内学会)会員				
1989年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員				
1992年 4月～現在に至る	精密工学会(国内学会)会員				
2002年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)2002年メカライフ編集委員会委員				
2003年 4月～現在に至る	精密工学会(国内学会)加工機械のマイクロ化分科会委員				
2004年～現在に至る	日本機械学会(国内学会)論文集校閲委員				
2005年 4月～現在に至る	精密工学会(国内学会)マイクロ生産機械専門委員会				
2005年 4月～現在に至る	精密工学会(国内学会)マイクロ生産機械専門委員会				
2007年 4月～現在に至る	日本フルードパワーシステム学会(国内学会)会員				
2007年 4月～現在に至る	競争的資金等の外部資金による研究(科学技術振興機構)枚葉式スピン洗浄装置用スピンドルの開発				
2008年11月～現在に至る	計測自動制御学会(国内学会)会員				
2009年 4月～2013年 3月	科学研究費補助金 1,100,000円 「基盤研究(C)」ウォータドライブ超精密加工システムの開発と加工環境制御下における水中超精密加工(研究代表者)				

2011年 4月～2012年 3月	その他の補助金・助成金（工作機械技術振興財団）2,000,000円 「試験研究助成」超精密加工用ウォータードライブステージの速度制御及びステージの熱的安定性評価（研究代表者）
2011年 4月～2012年 3月	日本機械学会(国内学会)生産加工・工作機械部門 第3企画委員会 幹事
2012年 4月～2014年 2月	その他の補助金・助成金（三豊科学技術振興協会）200,000円 「研究助成金」グリーンマシン対応型高剛性水静圧スピンドルの開発とナノ多結晶ダイヤモンドバイトによる高硬度材の高効率加工（研究代表者）
2012年 4月～現在に至る	日本機械学会 生産加工・工作機械部門 幹事(国内学会)会員
2012年 4月～現在に至る	日本機械学会 生産加工・工作機械部門 技術委員会 幹事(国内学会)会員
2012年 4月～現在に至る	日本機械学会 生産加工・工作機械部門 技術委員会幹事(国内学会)会員
2012年 4月～2014年 3月	日本機械学会関東支部商議員(国内学会)商議員
2013年 4月～現在に至る	The Korean Society of Manufacturing Technology Engineers(国際学会)Editor
2013年 4月～現在に至る	The Korean Society of Manufacturing Technology Engineers(国際学会)Editor of the Korean Society of Manufacturing Technology Engineers
2013年 4月～現在に至る	砥粒加工学会(国内学会)会員
2013年 4月～現在に至る	科学研究費補助金 5,000,000円 「基盤研究(C)」グリーンマシン対応水静圧スピンドル開発とナノ多結晶ダイヤモンドによる高硬度材切削（研究代表者）
2014年 1月～現在に至る	日本設計工学会(国内学会)会員
2014年 2月～現在に至る	The American Society of Mechanical Engineers(国際学会)会員
2014年 4月～現在に至る	砥粒加工学会 研削・研磨盤の高度化専門委員会 専門委員(国内学会)会員
2014年 4月～現在に至る	砥粒加工学会会誌編集委員(国内学会)会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科	職名 教授	氏名 中西 裕二	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
講義内での演習の増加（授業評価アンケート結果の反映）		2007年 4月 1日 ～現在に至る	これまでの学生による授業評価アンケートにおいて、力学系の科目では、難易度が高いとの評価が多かったため、2006年度からのカリキュラムの「流体力学及び演習I, II」, 「工業力学及び演習II」の中で演習を多く取り入れた講義内容に変更した。		
dotCampusを活用した授業の実践		2014年 4月 ～2014年 7月	【工学問題の解析法】においてdotCampusを活用し資料配付の事前配布を行った。		
2 作成した教科書、教材					
機械工学実験テーマ「円柱に働く抗力」用実験装置の導入とテキスト執筆		2008年 9月22日 ～現在に至る	流体力学に関する学生実験テーマの一つとして、物体に働く力の測定を提案し空力抵抗を測定できる装置を導入し、そのテキストを執筆した。講義科目で習得すべき運動量の法則や抗力の発生についての理解を深めさせることを目的とした。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
研究授業		2008年10月30日 ～現在に至る	研究授業を担当した。科目は「流体力学及び演習I」。参加した教員からは、板書や説明の分かりやすさなどについて評価された。		
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					

Development of a Turgo Impulse Type Simplified Turbine for Nano Hydropower	共著	2010年 7月	Proc. of Renewable Energy 2010	Y. Nakanishi, S. Iio, A. Kato, Y. Takahashi and T. Ikeda	0-Sh-3-4頁
Flow affected by jet interference in a Pelton turbine	共著	2014年 8月	Proceedings of Grand Renewable Energy 2014 0-Sh-5-4	Yuji Nakanishi and Minoru Kobayashi	
その他					
なし					

### Ⅲ 学会等および社会における主な活動

年月	内容
1988年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員
1993年10月～現在に至る	ターボ機械協会 会員
1994年 4月～現在に至る	ターボ機械協会(国内学会)会員
1994年 4月～現在に至る	個人研究 ペルトン水車内の流れの解析
1994年 4月～現在に至る	個人研究 渦法による非定常流れの解析
1994年 4月～現在に至る	国際水理学会(国際学会)会員
1994年 7月～現在に至る	International Association for Hydraulic Research 会員
2001年 4月～現在に至る	個人研究 粒子法による自由表面を伴う流れの解析
2002年 4月～現在に至る	電気学会 電気規格調査会 原動機部会(兼 IEC TC4国内委員会) 委員
2006年 7月～現在に至る	日本流体力学会(国内学会)会員
2007年 4月～現在に至る	個人研究 衝動水車内の流れの解析
2009年 4月～2013年 5月	ターボ機械協会 水力エネルギー活用技術分科会 主査
2009年 4月～現在に至る	ターボ機械協会水力機械委員会 委員
2009年 6月～2011年 3月	ターボ機械協会編集委員会委員 委員
2009年11月～2012年12月	電気共同研究会 水力発電所機器専門委員会 委員
2010年 2月～2012年 2月	電気学会 水車及びポンプ水車の性能換算法 標準特別委員会 委員長
2011年 6月～2012年 5月	ターボ機械協会(国内学会)企画担当理事
2012年 2月～現在に至る	電気学会 水車及びポンプ水車の性能換算法 改定検討委員会 委員長
2012年 4月～2013年 3月	日本機械学会 流体工学部門技術委員会講演会WG 幹事
2012年 6月～2013年 5月	ターボ機械協会(国内学会)編集担当理事
2012年 7月～現在に至る	電気学会 小規模水車標準特別委員会 委員
2012年 9月～現在に至る	再生可能エネルギー協議会 分科会12(中小水力・未利用エネルギー) リーダー
2013年 1月～現在に至る	電気協同研究会 水力発電所機器専門委員会(水力発電所付属設備の設計指針) 委員長
2013年 6月～現在に至る	ターボ機械協会 水力エネルギー分科会 主査

2014年 6月～現在に至る

ターボ機械協会(国内学会)総務担当理事

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
工学部機械工学科	教授	竹村 兼一	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例			
学生による学会での発表指導	1999年 3月12日 ～現在に至る	卒業研究の内容を、日本機械学会関東学生会の卒業研究発表講演会にて発表することにより、学生に対して学外での研究発表の経験を与えた。	
大学院生による国際会議での発表指導	2000年 3月 9日 ～現在に至る	米国デトロイトで開催された SAE(Society of Automotive Engineers)2000 World Congress において、大学院生に研究発表及びディスカッションを行う機会を与えた。また英語でのプレゼンテーションに関する指導を行った。	
学生による学会での発表指導	2003年 3月14日 ～現在に至る	卒業研究生3名に、日本機械学会関東学生会の卒業研究発表講演会にて発表する機会を与え、プレゼンテーションの指導を行った。	
学生による学会での発表指導	2003年 3月19日 ～現在に至る	第32回FRPシンポジウムにおいて、学生に研究発表を行う機会を与え、プレゼンテーションの指導を行なった。	
大学院生による学会での発表指導	2004年 7月23日 ～現在に至る	日本機械学会主催M&M2004 (秋田大学) にて炭素繊維強化複合材料の破壊靱性に関する研究発表を行った。	
大学院生による学会での発表指導	2004年 9月 8日 ～現在に至る	日本機械学会2004年度年次大会 (北海道大学) にて炭素繊維強化複合材料の曲げ強度に関する研究発表を行った。	
大学院生による学会での発表指導	2004年10月29日 ～現在に至る	日本複合材料学会第29回複合材料シンポジウムにて炭素繊維強化複合材料の界面特性に関する研究発表を行った。	
大学院生による国際会議論文の作成指導	2005年 4月14日 ～現在に至る	米国デトロイトで開催された SAE(Society of Automotive Engineers)2005 World Congress において、大学院生と共著で論文を作成し、外国語での論文作成指導を行った。この論文はAcceptされ、教員が発表を行った。	
大学院生による学会での発表指導	2005年 9月20日 ～現在に至る	日本機械学会2005年度年次大会での発表指導	
大学院生による学会での発表指導	2005年11月 5日 ～現在に至る	日本機械学会M&M2005 材料力学カンファレンスでの発表指導	
大学院生による学会での発表指導	2006年 3月16日 ～現在に至る	日本材料学会第35回FRPシンポジウムでの発表指導 (銭花圭君)	



大学院生による学会での発表指導	2006年 8月 4日 ～現在に至る	日本機械学会M&M2006 材料力学カンファレンスでの発表指導
大学院生による学会での発表指導	2006年 8月 5日 ～現在に至る	日本機械学会M&M2006 材料力学カンファレンス (安田佳史君)
大学院生による国際会議での発表指導	2006年 9月15日 ～現在に至る	Fourth Int. Workshop on Green Compositesでの発表指導 (斎藤淳人君)
大学院生による国際会議での発表指導	2006年 9月15日 ～現在に至る	Fourth Int. Workshop on Green Compositesでの発表指導 (嶺蔭雄一朗君)
大学院生による学会での発表指導	2007年 9月10日 ～現在に至る	日本機械学会2007年度年次大会 (斎藤淳仁君)
大学院生による学会での発表指導	2007年10月19日 ～現在に至る	日本複合材料学会第32回複合材料シンポジウム (嶺蔭雄一朗君)
大学院生による学会での発表指導	2008年 3月18日 ～現在に至る	日本材料学会JCOM-37 (斎藤淳仁君)
大学院生による学会での発表指導	2008年 5月25日 ～現在に至る	日本材料学会第57期学術講演会 (加藤木秀章君)
大学院生による学会での発表指導	2008年 8月 6日 ～現在に至る	日本機械学会2008年度年次大会 (加藤木秀章君)
大学院生による国際会議での発表指導	2008年 8月 8日 ～現在に至る	Fifth Int. Workshop on Green Composites (加藤木秀章君)
学生による授業評価アンケート結果の活用	2008年 9月 1日 ～現在に至る	(授業科目：材料力学及び演習2) 平成20年度前期授業評価アンケート評価を受け、授業の要点をわかりやすくするため、1回の授業で1項目の内容が完結するように改善活動を行った。
2 作成した教科書、教材		
教科書の執筆	2001年 3月27日 ～現在に至る	日刊工業新聞社から、共著で「標準材料の力学」を発行した。
教科書の執筆	2008年 4月 ～現在に至る	最新材料の力学, 培風館
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
なし		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
なし		
5 その他		
教員間連絡ネットワーク委員 (設計材力) 委員長	2004年 4月 1日 ～現在に至る	関連した科目の担当教員間で、教育内容を確認するためにネットワークを組織し、定期的に会議を行った。

機械工学科公募制推薦入試選考方法検討委員会委員長		2004年12月 1日 ～現在に至る	2006年公募制推薦入試に関連して、その選考方法を決定する。		
機械工学科教育委員		2008年 4月 1日 ～現在に至る			
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Mechanical Properties of Carbon Fiber Reinforced Plastics under Hot-Wet Environment (査読付)	共著	2010年 6月	Proc. of 8th International Conference on Fracture and Strength of Solids 2010	H. Katogi, <u>K. Takemura</u> and Y Shimamura	A050(6p)頁
Effect of Surface and Heat Treatments on Tensile Properties of Jute Fiber Reinforced Composites (査読付)	単著	2010年 7月	WIT Transactions on the Build Environment 112		167-175頁
Effect of Water Absorption and Thermal Fatigue on Static Tensile Property of Green Composite (査読付)	共著	2010年 9月	Proc. Sixth Int. Workshop on Green Composites 6	M. Sakiyama and <u>K. Takemura</u>	245-248頁
Effect of Water Absorption on Mechanical Properties of Kenaf Fiber Reinforced Green Composite (査 読付)	共著	2010年 9月	Proc. Sixth Int. Workshop on Green Composites 6	S. Takai, <u>K. Takemura</u> and H. Kim	256-258頁

Mechanical Properties of Green Composites with Bamboo Fiber: Effects of Extracting Methods, Surface Modification and Water Absorption (査読付)	共著	2010年 9月	Proc. Sixth Int. Workshop on Green Composites 6	H. Kim, K. Okubo, T. Fujii and <u>K. Takemura</u>	194-198頁
Molding Conditions and Mechanical Properties of Jute Fiber Reinforced Composite (査読付)	単著	2010年 9月	Proc. of 9th Advances in Fracture and Damage Mechanics 9		261-264頁
Static Tensile and Creep Properties of Jute Fiber Reinforced Green Composite (査読付)	共著	2010年 9月	Proc. Sixth Int. Workshop on Green Composites 6	Y. Takata and <u>K. Takemura</u>	259-260頁
Molding Conditions and Mechanical Properties of Jute Fiber Reinforced Composite (査読付)	単著	2011年 1月	Key Engineering Material 452-453		261-264頁
Effects of Thermal Cycling and Freezing after Water Absorption on Tensile Properties of Green Composite (査読付)	共著	2011年 4月	Advanced Materials Research 150-151	H. Kim, M. Sakiyama and <u>K. Takemura</u>	961-964頁
Influence of Water Absorption on Creep Behaviour of Carbon Fiber/Epoxy Laminates (査読付)	共著	2011年 6月	10	H. Kim and <u>K. Takemura</u>	

Mechanical Properties of Carbon Fiber Reinforced Plastics under Hot-Wet Environment (査読付)	共著	2011年 6月	Key Engineering Materials	H Katogi, <u>K Takemura</u> and Y Shimamura	
Effect of Surface modification on Flexural Properties of Jute Fiber Green Composite (査読付)	共著	2011年 8月	Proc. of the 18th International Conference on Composite Materials 18	H. J. Kim, S. Miyamoto, Y. Takada and <u>K. Takemura</u>	1-5 (CD-ROM) 頁
Effect of Matrix on Fatigue Behavior of Unidirectional Jute Spun Yarn Reinforced Composites (査読付)	共著	2011年10月	Proc. of Int. Symp. on Sustainable Composites	H. Katogi, Y. Shimamura, K. Tohgo, T. Fujii and <u>K. Takemura</u>	18-20頁
Effect of Surface Treatment on Creep Properties of Jute Fiber Reinforced Composites (査読付)	共著	2011年10月	Proc. of Int. Symp. on Sustainable Composites	Y. Takada and <u>K. Takemura</u>	33-35頁
Effects of Microfibrillated cellulose (MFC) Addition and Water Absorption on Mechanical Properties of Jute Fiber Reinforced Composites (査読付)	共著	2011年10月	Proc. of Int. Symp. on Sustainable Composites	S. Takai and <u>K. Takemura</u>	30-32頁

Effects of Water Absorption and Thermal Fatigue on Static Tensile Properties of Natural Fiber Composite (査読付)	共著	2011年10月	Proc. of the 3rd International Conference on Innovative Natural Fiber Composites for Industrial Applications	M. Sakiyama and <u>K. Takemura</u>	1-13頁
Improvement of Mechanical and Thermal Properties of CFRP Laminates using Micro-fibrillated Cellulose (査読付)	共著	2012年 4月	Journal of Modern Physics 6	H. Kim, T. Suzuki, <u>K. Takemura</u>	622-627頁
Effect of Matrix on Fatigue Strength of Unidirectional Jute Spun Yarn/Biodegradable Resin Composite (査読付)	共著	2012年 6月	Proc. of 15th European Conference on Composite Materials	H. Katogi, Y. Shimamura, K. Tohgo, T. Fujii and K. Takemura	1-6頁
Effect of Treatment using Silane Coupling Agent on Creep Properties of Jute Fiber Reinforced Composites (査読付)	共著	2012年 6月	WIT Transactions on the Build Environment 124	<u>K. Takemura</u> , Y. Takada and H. Katogi,	417-424頁

Effects of Microfibrillated Cellulose Addition and Water Absorption on Mechanical Properties of Jute/PLA Composites, WIT Transactions on the Build Environment, Vol.124, pp.387-394, (2012-6) (査読付)	共著	2012年 6月	WIT Transactions on the Build Environment 124	<u>K. Takemura</u> , S. Takai and H. Katogi,	387-394頁
Effect of Surface Treatment on Creep Property of Jute Fiber Reinforced Green Composite under Environmental Temperature, Key Engineering Materials	共著	2012年 8月	525-526	<u>Kenichi Takemura</u> , Satoshi Miyamoto and Hideaki Katogi	53-56頁
Interfacial Shear Strength of Carbon Fiber Reinforced Polypropylene, Key Engineering Materials	共著	2012年 8月	Key Engineering Materials 525-526	<u>K. Takemura</u> and H. Katogi	49-52頁
一方向ジュート紡績糸強化生分解性プラスチックの疲労特性に及ぼすマトリックスの影響	共著	2013年 1月	日本複合材料学会誌 39(1)	加藤木秀章, 島村佳伸, 東郷敬一郎, 藤井朋之, 竹村兼一	24-30頁

Effect of Surface Treatment on Flexural Creep Behavior of Plain Woven Jute Fiber Reinforced PLA (査読付)	共著	2013年 6月	Proc. of 9th International Conference on Fracture & Strength of Solids 9	Hideaki Katogi, Kenichi Takemura and Satoshi Miyamoto	1-7頁
Mechanical Properties of Carbonized Natural Fiber Reinforced Composite (査読付)	共著	2013年10月	Proc. of the 4th International Conference on Innovative Natural Fiber Composites for Industrial Applications 4	Y. Amemiya, H. Katogi and K. Takemura	1-6頁
Influence of fiber extraction and surface modification on mechanical properties of green composites with bamboo fiber (査読付)	共著	2013年12月	J. of Adhesion Science and Technology 27(12)	H. Kim, K. Okubo, T. Fujii and <u>K. Takemura</u>	1348- 1358頁
Effect of Carbon Milled Fiber Addition on Interlaminar Fracture Toughness of Carbon Fiber Reinforced Plastics (査読付)	共著	2014年 1月	Key Engineering Materials Vols. 577-578	H. Katogi and <u>K. Takemura</u>	77-80頁

Effect of Crystallinity on Mechanical Properties of Carbon Fiber Reinforced Polypropylene (査読付)	共著	2014年 1月	Key Engineering Materials Vols. 577-578	H. Katogi and <u>K. Takemura</u>	77-80頁
Effect of Surface Treatment on Tensile Property of Jute Fiber under Hot Environmental Temperature	共著	2014年 5月	Proc. of the 8th International Conference on Green Composites 8	R. Suzuki, H. Katogi and <u>K. Takemura</u>	137-139頁
Flexural and Creep Properties of Surface Treated Jute Fiber/PLA Composite (査読付)	共著	2014年 5月	Proc. of the 8th International Conference on Green Composites 8	H. Katogi and <u>K. Takemura</u>	72-75頁
The effect of crystallinity on the mechanical properties of plain woven carbon reinforced composites using polypropylene (査読付)	共著	2014年 6月	WIT Transactions on the Build Environment 137(1)	H. Katogi and <u>K. Takemura</u>	301-309頁
The mode I interlaminar fracture toughness of carbon fiber/epoxy resin composite with freezing after water absorption (査読付)	共著	2014年 6月	WIT Transactions on the Build Environment 137	H. Katogi and <u>K. Takemura</u>	327-334頁



ジュート単繊維の疲労特性とその疲労損傷過程（査読付）	共著	2015年 1月	日本複合材料学会誌, Vol. 41, No. 1, pp. 25-32, (2015-1) 41 (1)		25-32頁
その他					
グリーンコンポジットの吸水及び熱疲労が静的強度特性に及ぼす影響	共著	2010年 5月	日本材料学会第59期学術講演会講演論文集	崎山昌孝, 竹村兼一	325-326頁
Fifth International Conference on High Performance Structures and Materials		2010年 7月	(タリン (エストニア))		
ケナフ繊維強化グリーンコンポジットの曲げ及び衝撃特性に及ぼす吸水の影響	共著	2010年10月	本複合材料学会第35回複合材料シンポジウム講演論文集 35	高井俊介, 金孝鎮, 竹村兼一	111-112頁
ケナフ繊維強化グリーンコンポジットの曲げ及び衝撃特性に及ぼす吸水の影響	共著	2010年10月	ケナフ20周年記念会要旨集	金孝鎮, 竹村兼一	60-62頁
ジュート繊維強化グリーンコンポジットのクリープ特性に及ぼす表面処理の影響	共著	2010年10月	本複合材料学会第35回複合材料シンポジウム講演論文集 35	高田洋平, 金孝鎮, 竹村兼一	113-114頁
CFRPの曲げ強度特性に及ぼすMFC添加の影響		2010年12月	第2回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 2		9頁
グリーンコンポジットの吸水後冷却, 熱疲労が静的引張特性に及ぼす影響	共著	2011年 3月	第2回 日本複合材料合同会議講演論文集 2	崎山昌孝, 金孝鎮, 竹村兼一	

CFRPの曲げクリープ特性と破壊じん性に及ぼす吸水及び凍結の影響	共著	2011年 7月	日本機械学会M&M2011 材料力学カンファレンス講演論文集	清水裕太, 金孝鎮, <u>竹村兼一</u>	1-3 (CD-ROM) 頁
ジュート繊維強化複合材料の引張りクリープ特性に及ぼす表面処理の影響	共著	2011年 7月	日本機械学会M&M2011 材料力学カンファレンス講演論文集	高田 洋平, 金孝鎮, <u>竹村兼一</u>	1-3 (CD-ROM) 頁
ジュート繊維強化複合材料の機械的特性に及ぼすMFC添加及び吸水の影響	共著	2011年10月	日本複合材料学会第36回複合材料シンポジウム講演論文集	高井俊介, <u>竹村兼一</u>	88-89頁
CFRPのクリープ特性と破壊じん性に及ぼす吸水及び凍結の影響	共著	2011年11月	本材料学会第49回高温強度シンポジウム, 第15回破壊力学シンポジウム講演論文集	清水裕太, <u>竹村兼一</u> , 金孝鎮	197-199頁
CFRPの曲げ特性と破壊じん性に及ぼすMFC及びミルド炭素繊維添加の影響	共著	2011年11月	日本材料学会第49回高温強度シンポジウム, 第15回破壊力学シンポジウム講演論文集	鈴木憲, <u>竹村兼一</u> , 金孝鎮	193-196頁
炭素繊維強化ポリプロピレンの機械的特性に及ぼす結晶化度の影響	共著	2011年12月	第3回自動車用途コンボジットシンポジウム講演論文集	佐藤宏允, <u>竹村兼一</u> , 加藤木秀章,	p. 22頁
International Symposium on Sustainable Composites—第4回日中グリーンコンボ交流セミナー報告	共著	2012年 3月	材料 61(3)	加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	316頁
ジュート麻モノフィラメントの疲労特性	共著	2012年 3月	第3回 日本複合材料合同会議講演論文集	加藤木秀章, 植松和徳, 島村佳伸, 東郷敬一郎, 藤井朋之, <u>竹村兼一</u>	425-427頁

CFRPの機械的特性に及ぼすミルド炭素繊維添加の影響	共著	2012年 5月	日本材料学会第61期学術講演会講演論文集	鈴木憲, <u>竹村兼一</u> 、加藤木秀章	1-2頁
ジュート単繊維の疲労特性とその疲労機構	共著	2012年 6月	平成24年度繊維学会年次大会研究発表会講演論文集	加藤木秀章, 植松和徳, 島村佳伸, 東郷敬一郎, 藤井朋之, <u>竹村兼一</u>	206頁
CFRPのモード1層間破壊じん性に及ぼす吸水及び凍結の影響	共著	2012年 9月	日本機械学会M&M2012 材料力学カンファレンス講演論文集	清水裕太, <u>加藤木秀章</u> , 竹村兼一	1-3 (CD-ROM) 頁
Jute/PLA複合材料の曲げクリープ特性に及ぼす表面処理の影響	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集	宮本聡, <u>竹村兼一</u> 、加藤木秀章	1-3 (CD-ROM) 頁
ジュート/PLA複合材料の強度特性に及ぼす生分解の影響	共著	2012年 9月	日本材料学会2012年度JCOM若手シンポジウム講演予稿集	加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	1頁
カーボナイズドジュート繊維を用いたグリーンコンポジットの機械的特性	共著	2012年12月	第4回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 4	雨宮優, 加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	
炭素繊維強化熱可塑性樹脂の機械的特性に及ぼす結晶化度の影響	共著	2012年12月	第4回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 4	佐藤宏允, 加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	39-40頁
炭素繊維強化複合材料の層間破壊じん性に及ぼすカーボンミルドフアイバー添加の影響	共著	2012年12月	第4回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 4	鈴木憲, 加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	37-38頁
炭化ジュート繊維/PLA複合材料の機械的特性	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部第19期総会講演会 19	雨宮優, <u>竹村兼一</u> , 加藤木秀章	

炭素繊維強化複合材料のモード1層間破壊じん性に及ぼすカーボンミルドファイバー添加の影響	共著	2013年 3月	第4回 日本複合材料合同会議講演論文集 4	加藤木秀章, <u>竹村兼一</u> , 鈴木憲	1-3 (USB) 頁
カーボンミルドファイバーを添加したCFRPの曲げ特性及び層間破壊じん性	共著	2013年 8月	一般社団法人日本航空宇宙学会他共催第55回構造強度に関する講演会 55	加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	109-111頁
平織りジュート繊維/PLA複合材料の引張クリープ特性に及ぼすシラン処理の影響	共著	2013年 8月	日本材料学会2013年度JCOM若手シンポジウム講演予稿集	加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	14頁
ジュート繊維/PLA複合材料の引張強度特性に及ぼす炭化処理の影響	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集 (CD-ROM)	雨宮優, 加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	1-4頁
環境温度下におけるジュート単繊維の強度特性に及ぼす表面処理の影響, 日本複合材料学会第38回複合材料シンポジウム講演論文集, pp. 75-76 (鹿児島, 鹿児島大学, 2013-9-24or26, 発表は26日).	共著	2013年 9月	日本複合材料学会第38回複合材料シンポジウム講演論文集 38	鈴木諒, 加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	75-76頁
表面処理を施したジュートモノフィラメントの強度特性、	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集 (CD-ROM)	鈴木諒, 加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	1-3頁
カーボナイズドジュート繊維強化複合材料の引張り特性(京都, 同志社大学, 2013-10-26).	共著	2013年10月	第5回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 5	雨宮優, 加藤木秀章, <u>竹村兼一</u>	27頁

吸水後凍結させたCFRPの曲げ特性とモード1層間破壊じん性	共著	2013年10月	第5回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 5	田儀圭佑, 加藤木秀章, 竹村兼二	28頁
CF/MAPPの界面せん断強度に及ぼす吸水及び樹脂粒の影響	共著	2014年 2月	マテリアルライフ学会第18回春季研究発表会講演論文集 18	原智明, 加藤木秀章, 竹村兼一	3-4頁
吸水後のCFRPの曲げ特性に及ぼす熱サイクルの影響	共著	2014年 2月	マテリアルライフ学会第18回春季研究発表会講演論文集 18	飯島臨, 加藤木秀章, 竹村兼一	1-2頁
カーボンミルドファイバーを添加させた炭素繊維/エポキシ複合材料のモードI層間破壊じん性及びき裂進展速度	共著	2014年 5月	日本材料学会第63期学術講演会講演論文集 63	加藤木秀章, 竹村兼一	1-2頁
シラン処理を施した単繊維の引張特性に及ぼす環境温度の影響	共著	2014年 9月	日本材料学会2014年度JCOM若手シンポジウム講演予稿集	加藤木秀章, 竹村兼二、鈴木諒、	6頁
表面処理を施したジュート単繊維の引張特性に及ぼす環境温度の影響	共著	2014年 9月	日本複合材料学会第39回複合材料シンポジウム講演要旨集	鈴木諒, 加藤木秀章、竹村兼一	129-130頁
グリーンコンポジットの引張特性に及ぼす熱疲労の影響,	共著	2014年11月	第6回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 6	秋山元樹, 加藤木秀章, 竹村兼二	143頁
ジュートモノフィラメントの疲労強度に及ぼすアルカリ処理濃度の影響	共著	2014年11月	第6回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 6	瀬堀礼音, 加藤木秀章, 竹村兼二	147頁

吸水させた平織り炭素繊維強化複合材料の曲げ特性に及ぼす熱疲労の影響	共著	2014年11月	第6回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 6	飯島臨, 加藤木秀章, 竹村兼一	145-146頁
炭素繊維/熱可塑性樹脂の界面せん断強度に及ぼす吸水及び樹脂粒の影響	共著	2014年11月	第6回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 6	原智明, 加藤木秀章, 竹村兼一	149-150頁
超小型電気自動車用接合部材の試作	共著	2014年11月	第6回自動車用途コンポジットシンポジウム講演論文集 6	加藤木秀章, 竹村兼一, 林憲玉, 山崎徹,	155-156頁
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
	国内共同研究 天然繊維強化複合材料の強度特性				
	国内共同研究 複合材料のクリープ特性				
1992年 7月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員				
1994年 4月～現在に至る	国内共同研究 (同志社大学工学部機械系学科の藤井透研究室)架橋ゴム粒子を用いたCFRPの高じん性化に関する研究				
1994年 4月～現在に至る	国内共同研究 (同志社大学工学部機械系学科の藤井透研究室)架橋ゴム粒子を用いたCFRPの高じん性化に関する研究				
1997年 4月～現在に至る	日本材料学会(国内学会)会員				
1997年 4月～現在に至る	日本複合材料学会(国内学会)会員				
1998年 4月～現在に至る	複合材料界面科学研究会 会員				
2000年 7月～現在に至る	Member of International Advisory Board for ICCE 運営委員				
2003年 4月～現在に至る	日本材料学会(国内学会)複合材料部門委員会内グリーンコンポジットWGメンバー				
2003年 4月～現在に至る	日本材料学会(国内学会)複合材料部門委員会委員				
2004年 1月～現在に至る	Member of Local Committee for International Workshop on Green Composites 運営委員				
2005年 4月～現在に至る	個人研究 グリーンコンポジットの強度特性				
2005年 4月～現在に至る	個人研究 高分子系複合材料の疲労特性・クリープ特性・き裂進展挙動				
2008年11月～現在に至る	新聞記事掲載 執筆				
2009年 4月～現在に至る	個人研究 エポキシ母材のMFC添加によるCFRPの静的, 衝撃および疲労特性の向上				

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
工学部機械工学科	教授	山崎 徹	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
他大学との研究交流	2002年 5月 ～現在に至る	卒業研究生の意欲向上を目的に、他大学の研究室と研究交流を行っている。お互いの研究内容についてプレゼンテーション、ディスカッションを行い、良い刺激を受け、卒業研究への取り組み姿勢が改善されている。	
Tablet PCとProjectorを用いた、穴埋め形式の講義	2004年 4月 ～現在に至る	機械力学I, 機械力学II, 工業力学および演習II, 計算機解析, 工学問題の解析法, コンピュータリテラシー, 機械力学および演習I, 機械力学および演習II, 機械力学特論I, 機械力学特論II, 基礎プログラミング, プログラミング	
M1およびB3生向けの就活塾の企画運営	2010年10月 ～現在に至る		
学生の企画運営による学童教室の実施	2013年10月 ～現在に至る		
2 作成した教科書、教材			
実用理工学入門講座「基礎からの機械力学」, 日新出版	2004年 4月 1日 ～現在に至る		
「制振工学ハンドブック」(コロナ社, 分担執筆)の輪講での活用	2008年 4月 ～現在に至る		
「機械音響工学」(森北出版)の出版・大学院講義での活用	2010年11月30日 ～現在に至る		
「数学演習Ⅰ」の演習問題集の作成	2014年 2月 1日 ～現在に至る	2014年度からのカリキュラムで新設された演習科目「数学演習Ⅰ」の演習内容を立案し, 演習問題集を作成した。	
「数学演習Ⅱ」の演習問題集の作成	2014年 8月 1日 ～2015年 1月10日		
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
なし			
4 実務の経験を有する者についての特記事項			

日刊工業新聞社 “技術者”のための振動騒音の低減対策プロセス～モーターなどをいじらずに構造を変えて低騒音に～	2008年 4月14日 ～現在に至る				
日立製作所「設計者のための低振動・静音化技術」講師	2008年 6月 ～現在に至る				
日立製作所 専門技術研修「実務者のための振動・騒音」講師	2009年 6月 ～現在に至る				
自動車技術会関東支部講演会 「実験SEA解析入門」講師	2010年 2月 ～2012年 2月				
日本電産 社内研修 講師	2013年 8月				
日本機械学会講習会：IDCAE概念に基づくものづくり設計教育（第三弾）：機械のデザインのためのIDCAE 講師	2014年 6月				
5 その他					
国家公務員採用I種試験（理工I）試験専門委員	2007年 7月 ～2010年 6月				
2014年度開始，新カリキュラムの作成	2012年 4月 ～2014年 3月				
機械工学科教育委員	2012年 4月 ～2014年 3月				
機械工学科カリキュラム検討委員会委員長としての活動	2012年 4月 1日 ～2014年 3月31日	2014年度から実施のカリキュラムに関する検討委員会の委員長として，カリキュラム，教育課程表などを作成した。			
日本機械学会 イノベーションセンター 計算力学技術者資格認定事業委員会 委員	2013年 4月 ～現在に至る				
日本機械学会 計算力学技術者資格認定事業委員会 振動分野WG 委員	2013年 4月 ～現在に至る				
日本機械学会Dynamics and Design Conference 2013にて「NPOロボティック普及促進センターの取り組み（神奈川大学×就活塾×学童×ロボット教室＝未来志向の地域連携）」を発表	2013年 8月				
工学部教育委員長	2014年 4月 ～現在に至る				
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					



機械音響工学	共著	2010年11月	(森北出版)	大野進一	
シミュレーション辞典	共著	2012年 2月	(コロナ社)	日本シミュレーション学会編	
論文					
任意の接続角度を有するはりの面外振動のSEAモデルに及ぼす面内振動の影響 (査読付)	共著	2010年 6月	日本機械学会 76(766)	黒田勝彦, <u>山崎徹</u> , 鞍谷文保	1462-1469頁
Determination of A Force Applying Position on plate for realizing Vortex-typed Structural Intensity	共著	2010年 7月	International Congress on Sound and Vibration Proceedings of 15th International Congress on Sound and Vibration	N. Numata, <u>T. Yamazaki</u>	286. pdf頁
Passive control of structural intensity for reducing structure-borne sound on compound plate structure	共著	2010年 8月	International Congress on Acoustics Proceedings of 20th International Congress on Acoustics	Y. MURAKAMI, N. NUMATA, <u>T. YAMAZAKI</u>	p572. pdf頁
EPSシステムの設計支援用簡易ステアリングシミュレータの開発 (査読付)	共著	2010年 9月	日本機械学会 76(769)	小嶋英一, 王朝久, 西川昌宏, 金城秀一, 森野大介, <u>山崎徹</u>	2308-231頁
過渡SEAによる一様平板構造物の衝撃応答解析の実験検証法 (査読付)	共著	2011年 4月	日本機械学会論文集 77(776)	<u>山崎 徹</u> , Maksyutov STANISLAV	1201-1212頁
エネルギー解析による機械製品の実稼動時の入力パワーの推定 (査読付)	共著	2011年 5月	日本機械学会論文集 77(777)	黒田勝彦, <u>山崎徹</u> , 橋本崇史	1737-1747頁

平板の曲げ振動インテンシティのモード展開 (査読付)	共著	2011年 8月	日本機械学会論文集 77(780)	沼田臨, <u>山崎徹</u>	2971-2981頁
Estimation of Input Power to Structure in Machine Operation Using Energy Analysis (査読付)	共著	2011年12月	Journal of System Design and Dynamics 5(8)	Katsuhiko KURODA, <u>Toru YAMAZAKI</u> , Takashi HASHIMOTO	1582-1592頁
Influence of In-Plane Vibration on SEA Model for Flexural Vibration on Plate Structures (査読付)	共著	2012年 3月	Journal of System Design and Dynamics 6(2)	Katsuhiko KURODA, <u>Toru YAMAZAKI</u> , Fumiyasu KURATANI	227-239頁
振動エネルギー流れを考慮した低騒音構造設計に向けた新たな指針の提案 (査読付)	共著	2012年 4月	日本機械学会論文集 78(788)	沼田臨, 村上雄太, <u>山崎徹</u>	1072-1084頁
振動エネルギー伝搬解析によるヴァイオリン構造の考察 (査読付)	共著	2012年 5月	日本機械学会論文集 78(789)	山崎徹, 曾根崇正, 橋本崇史, 黒田勝彦	988-992頁
振動伝達パワー抑制のための振動インテンシティに基づく加振点選択法	共著	2012年 7月	日本機械学会論文集C編 78(791)	沼田臨	2355-2368頁
A Study on Comparison between Input Powers and Contribution Rates from Statistical Energy Analysis and Transfer Path Analysis on a Mechanical Structure	共著	2013年	Journal of System Design and Dynamics 7(4)	Katsuhiko KURODA	504-515頁

Application of Bergeron method for instantaneous longitudinal vibration analysis	共著	2013年	Acoustical Science and Technology 34(5)	Kenji Takahashi, Tomoatsu Ino, Toru Yamazaki	361-363頁
Application of Bergeron method for instantaneous longitudinal vibration analysis	共著	2013年	Acoustical Science and Technology 34(5)	Kenji Takahashi, Tomoatsu Ino	361-363頁
Structural Optimization of Subsystems to Realize Desired SEA Parameters	共著	2013年	Journal of System Design and Dynamics 7(4)	Katsuhiko KURODA, Fumiyasu KURATANI	539-551頁
Vibration Analysis Based on Time-Frequency Analysis with Digital Filter	共著	2013年	Journal of System Design and Dynamics 7(4)	Yoshiaki ITOH, Naoto YAMAGUCHI	441-455頁
ステアリングシミュレータによる操舵フィードリング向上制御の検討(査読付)	共著	2013年 2月	日本機械学会論文集 79(798)	西川昌宏, 森野大介, 小嶋英一, 山崎徹	215-224頁
SEAとTPAによる機械構造物の入力パワーと伝達寄与に関する一考察	共著	2013年 3月	日本機械学会論文集C編 79(799)	黒田勝彦, 山崎徹	495-506頁
所望のSEAパラメータを実現する要素形状の適正化	共著	2013年 4月	日本機械学会論文集C編 79(800)	黒田勝彦, 山崎徹	1012-1023頁
デジタルフィルタによる時間一周波数分析を用いた振動解析に関する基礎的検討	共著	2013年 5月	日本機械学会論文集C編 79(801)	伊東圭昌, 山口尚人, 山崎徹	1633-1646頁

曲率を有する導波路における負の群速度を利用した振動低減手法（査読付）	共著	2013年 5月	日本機械学会論文集C編 79(801)	松村雄一，古屋耕平，可児徳宏， 和氣充幸	1516-1525頁
その他					
ACTRAN 音響解析フォーラム2010		2010年 6月	(東京)		
2011 JAPAN HyperWorks テクノロジーカンファレンス		2011年 6月	(東京)		
自動車技術会流体技術部門委員会（特別講演（構造振動の高周波領域の応答特性と統計的エネルギー解析法(SEA)））		2012年 4月	(東京)		
自動車技術会シンポジウム 講演（振動音響エネルギー伝搬に着目した最適設計）		2012年12月	(東京)		
可視化情報シンポジウム2013 ワークショップセッション「楽器・音響機器の可視化」 講演「ヴァイオリンの振動伝搬の可視化とそこから学ぶ機械の静穏化」		2013年 7月	(東京)		
自動車技術会シンポジウム「自動車開発を支える最新の空力技術」 講演（EV/HEVも含めた車内騒音予測技術と低減技術の開発～車内空力音伝達メカニズムの検討～）		2014年 3月	(東京)		

日本機械学会講習会： 1DCAE概念に基づくものづくり設計教育（第三弾）：機械のデザインのための1DCAE 「基礎：音振動の1DCAE	2014年 6月	(東京)		
III 学会等および社会における主な活動				
年月	内容			
1993年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員			
1996年～現在に至る	自動車技術会 会員			
1997年 6月～現在に至る	自動車技術会(国内学会)会員			
1999年 4月～2015年 3月	企業からの受託研究 (いすゞ中央研究所)500,000円 自動車のSEAモデルの構築			
2000年 4月～現在に至る	日本音響学会(国内学会)会員			
2000年 4月～現在に至る	日本騒音制御工学会(国内学会)会員			
2005年 3月～現在に至る	日本フルードパワーシステム学会(国内学会)会員			
2005年 4月～2015年 3月	個人研究 エネルギーフロー解析に関する研究			
2007年 4月～現在に至る	個人研究 ヴァイオリンの振動伝搬解析			
2007年 6月～現在に至る	日立製作所「設計者のための低振動・静音化技術」 講師			
2007年11月～現在に至る	小野測器 実験SEA解析の基礎 講師			
2008年 1月～2012年 3月	国際音響振動協会 (IIAV)(国際学会)会員			
2008年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)校閲委員			
2008年 4月～現在に至る	自動車技術会(国内学会)振動騒音部門委員会 委員			
2008年 4月～現在に至る	自動車技術会振動騒音委員会 委員			
2009年 4月～2012年 3月	日本機械学会(国内学会)機械力学・計測制御部門計算力学技術者(振動分野) 検討委員会委員			
2009年 6月～現在に至る	日立製作所専門技術研修「実務者のための振動・騒音」(振動エネルギーの伝搬解析) 講師			
2009年11月～現在に至る	個人研究 三次元周波数分析による非線形振動系の同定			
2010年 4月～現在に至る	その他の補助金・助成金(三菱自動車工業)エネルギー伝搬解析に関する検討(研究代表者)			
2010年 4月～現在に至る	個人研究 三次元周波数分析を用いた減衰評価法の開発			
2010年 4月～現在に至る	個人研究 振動伝達パワーの抑制と促進による固体音低減コンセプト			
2010年 4月～現在に至る	個人研究 振動音響エネルギーモデルによる機械製品の低振動低騒音化			
2010年 4月～現在に至る	個人研究 楽器から学ぶ機械製品の静穏化			
2010年 4月～2012年 3月	日本機械学会(国内学会)RC-D10自動車を中心とした振動-騒音解析技術に関する研究分科会委員, 幹事			
2010年 4月～2012年 3月	日本機械学会RC-D10「自動車を中心とした振動-騒音解析技術に関する研究分科会」 幹事			
2010年 4月～2011年 3月	科学研究費補助金 1,300,000円 「基盤研究(C)」エネルギーフロー解析による静穏構造設計手法の開発(研究代表者)			
2011年 4月～現在に至る	その他の補助金・助成金(ブリヂストン)自動車タイヤに関する検討(研究代表者)			

2011年 4月～2012年 3月	日本機械学会(国内学会)機械力学・計測制御部門運営委員
2011年 4月～現在に至る	自動車技術会(国内学会)論文集校閲委員
2011年10月～2012年 3月	日本機械学会(国内学会)Special Issue on D&D2010(Journal of System Design and Dynamics) 編修委員
2011年10月～2012年10月	日本機械学会(国内学会)D&D2012実行委員会幹事
2011年10月～2012年 3月	日本音響学会(国内学会)2012年春季研究発表会実行委員会副委員長
2011年12月～2012年 3月	日本機械学会(国内学会)環境工学部門「ノート特集号」編集委員
2012年 4月～2014年 3月	国内共同研究 (クロスウェル)新しい心電波形処理に関する検討 (研究代表者)
2012年 4月～2013年 3月	国内共同研究 (静科)新しい防音材に関する検討 (研究代表者)
2012年 4月～2013年 3月	日本機械学会(国内学会)第90期機械力学・計測制御部門幹事, 総務委員会委員長
2012年 4月～2014年 3月	日本機械学会(国内学会)RC-D14試作レス実現のための振動・騒音CAE技術の高度化に関する研究分科会委員
2012年 4月～2013年 3月	日本機械学会(国内学会)計算力学技術者認定専門委員会振動分野WG委員
2012年 4月～2013年 3月	日本機械学会(国内学会)計算力学技術者認定専門委員会振動分野小委員会試験問題作成WG委員
2012年 4月～2014年 3月	機関内共同研究 (神奈川大学)人・環境にやさしい機微な材料でのロボット開発 (研究代表者)
2012年 4月～現在に至る	自動車技術会(国内学会)流体技術部門委員会 委員
2013年 1月～2013年 2月	関東経済産業局 戦略的基盤技術高度化支援事業評価 ピアレビューア
2013年 2月～2015年 3月	かわさきロボット競技大会20周年記念事業実行委員会 委員長
2013年 4月～現在に至る	企業からの受託研究 (デンソー)振動エネルギー伝搬解析モデルに関する検討 (研究代表者)
2013年 4月～2014年 3月	企業からの受託研究 (日産ライトトラック)EPSシミュレータによるHPS操舵感模擬 (研究代表者)
2013年 4月～2014年 3月	国内共同研究 (ゼオシステム)尿流量計測器の開発支援 (研究代表者)
2013年 4月～2014年 3月	国内共同研究 (トヨタ自動車)ステアリングホイール振動の解析 (研究代表者)
2013年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)計算力学技術者資格認定事業委員会振動分野WG委員
2013年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)イノベーションセンター 計算力学技術者資格認定事業委員会 委員
2013年 4月～現在に至る	日本機械学会 イノベーションセンター 計算力学技術者資格認定事業委員会 委員
2013年 4月～現在に至る	日本機械学会 計算力学技術者資格認定事業委員会 振動分野WG 委員
2013年 4月～現在に至る	科学研究費補助金 (日本学術振興会)1,500,000円 「科学研究費補助金 基盤研究(C)」ヴァイオリンから学ぶ機械製品の静穏化 (研究代表者)
2013年 4月～現在に至る	自動車技術会(国内学会)タイヤ騒音特設委員会 幹事
2014年 4月～2015年 3月	日本音響学会(国内学会)編集委員会 査読委員
2014年12月～現在に至る	次世代音振基盤技術研究会(国内学会)会員
2014年12月～現在に至る	次世代音振基盤技術研究会(国内学会)理事
2015年 2月～現在に至る	土木学会(国内学会)会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
工学部機械工学科	助教	鈴木 健児	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
なし			
2 作成した教科書、教材			
空間リンク機構の逆運動学計算用ファイルの作成 (機械工学実験II, 機械要素)	2003年 4月 1日 ～現在に至る	工学部機械工学科の3年次必修科目の「機械工学実験II」(二部機械工学科での科目名は「機械工学実験」)の実験項目「空間リンク機構」において、逆運動学の計算を支援するための表計算ファイルを作成し、計算時間の短縮を図った。従来は電卓による計算処理に時間がかかり、実験の本質的な内容に充てられる時間が短かったが、このファイルを使用することによって計算が瞬時に終了するため、考察及び検討するための時間が大幅に増大した。	
テキストの作成および実験項目の新設 (機械工学実験II, 機械要素)	2003年 4月28日 ～現在に至る	工学部機械工学科の3年次必修科目の「機械工学実験II」(二部機械工学科での科目名は「機械工学実験」)で使用されるテキストを全面改訂する作業において、「機械要素」を執筆した。新たな実験項目として、「空間リンク機構」を設定した。これは、ロボットアームの順運動学および逆運動学を理解するための基礎的な実験である。写真や模式図を多用し、それに対応する数式展開を完全に記述して、学生の理解が深まるよう工夫した。(平成15年4月28日～)	
空間リンク機構制御プログラムの改良 (機械工学実験II, 機械要素)	2004年 4月 1日 ～現在に至る	工学部機械工学科の3年次必修科目の「機械工学実験II」(二部機械工学科での科目名は「機械工学実験」)の実験項目「空間リンク機構」において、ロボットアームの運動を制御するためのプログラムを改良した。従来は単純なOn/Off制御だったため所望の位置精度が得られなかったが、プログラム上でPWM制御を行うことによって移動速度の調整が可能となり、運動の位置精度及び再現性が飛躍的に改善された。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
2014年度「神奈川大学教育貢献表彰」グッドティーチャー賞		2014年10月15日 ～2014年10月15日	
4 実務の経験を有する者についての特記事項			

なし					
5 その他					
機械工学科学生生活活性化委員会における活動		2002年 4月 8日 ～現在に至る		機械工学科の学生を活性化させ、学生に活躍の場を与えるため、模型製作コンテストを企画した。これは、自作のゴム動力模型による走行競技や自作のリモコン模型による対戦球技を行うコンテストである。これにより、機械工学の原点でもある「もの作り」を体験できる。また、学生に創意工夫を促し、学生の主体的な知的活動を推進できるため、受動的な講義や実習だけでは得られない知識を体験によって修得させることができる。	
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
アクアドライブ技術の 進展 (日本フルードパ ワーシステム学会創立 40周年出版)	共著	2011年 4月	(日本フルードパワーシ ステム学会)	鈴木健児ほか11名	
論文					
On utilization of internal leakage through clearance between sliding parts in water hydraulic valves (査 読付)	単著	2010年 8月	Proc. the 1st China-Japan joint workshop on fluid power, Lanzhou, China		32-36頁
Driving performance of water driven stage (査読付)	共著	2011年 4月	Proc. 4th Intl. Conf. on Manufacturing Machine Design and Tribology, Gamagori	T. Sano, M. Nagashima, Y. Nakao and <u>K. Suzuki</u>	185-186頁



Design of feedback control system for water driven stage (査読付)	共著	2011年 5月	Proc. 11th Intl. Conf. of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology, Como 1	Y. Nakao, M. Nagashima, T. Sano and <u>K. Suzuki</u>	335-338頁
Model verification and design of speed control system of water driven Stage (査読付)	共著	2011年 8月	Proc. ASME 2011 Intl. Design Engineering Technical Conf., CD-ROM, Washington DC	Y. Nakao, T. Sano, M. Nagashima and <u>K. Suzuki</u>	
Stiffness of the elastic system in a servo-valve torque motor (査読付)	共著	2011年 8月	Proc. Instn Mech Engrs, Part C: J. Mech. Eng. Sci 225 (C8)	E. Urata and <u>K. Suzuki</u>	1963-1972頁
Design of speed control system of water driven stage (査読付)	共著	2011年10月	Proc. 8th JFPS Intl. Symp. on Fluid Power, Okinawa	T. Sano, M. Nagashima, Y. Nakao, and <u>K. Suzuki</u>	564-570頁
Development of water hydraulic proportional valves driven by positive cam mechanism (査読付)	共著	2011年10月	Proc. 8th JFPS Intl. Symp. on Fluid Power, Okinawa	<u>K. Suzuki</u> , S. Akazawa, T. Hatayama, and Y. Nakao	550-555頁
Development and modeling of water driven stage (査読付)	共著	2011年11月	Proc. of ASME 2011 International Mechanical Congress and Exposition, CD-ROM, Denver	Y. Nakao, T. Sano, M. Nagashima, and <u>K. Suzuki</u>	
Evaluation of dynamic characteristics of water driven stage (査読付)	共著	2012年 6月	Proc. of 12th Intl. Conf. of the European Society for Precision Engineering and Nanotechnology 1	Y. Nakao, T. Sano, S. Harada, and <u>K. Suzuki</u>	384-387頁

Development of cam-drive type proportional valve for water hydraulics (査読付)	共著	2012年 7月	Intl. Journal of Automation Technology 6(4)	<u>K. Suzuki</u> , S. Akazawa, and Y. Nakao	450-456頁
Development of spindle with water hydrostatic bearings for ultra precision machine tools (査読付)	共著	2012年10月	Proc. Intl. Conf. of Manufacturing Technology Engineers 2012, Seoul	Y. Nakao and <u>K. Suzuki</u>	33-36頁
Design of short-pipe restrictor of hydrostatic thrust bearings (査読付)	共著	2012年11月	Proc. of ASME 2012 Intl. Mechanical Congress and Exposition, CD-ROM, Houston	Y. Nakao, S. Nakatsugawa, M. Komori and <u>K. Suzuki</u>	
Development and control of water hydraulic semi-rotary actuator of quarter-turn type (査読付)	共著	2012年11月	Proc. the 5th Intl. Conf. on Positioning Technology, Kaohsiung, Taiwan	<u>K. Suzuki</u> , S. Akazawa, R. Torii, and Y. Nakao	37-40頁
Feasibility study on a spindle supported by high stiffness water hydrostatic bearings for ultra-precision machine tool (査読付)	共著	2013年 5月	Proc. 13th Intl. Conf. of the European Society for Precision Engineering & Nanotechnology, Berlin 1	Y. Nakao, K. Yamada and <u>K. Suzuki</u>	196-199頁

Design of angle control system of water hydraulic semi-rotary actuator of quarter-turn type using a proportional valve (査読付)	共著	2013年11月	Proc. the 12th Intl. Conf. on Fluid Control, Measurement, and Visualization (FLUCOME 2013), Nara	<u>K. Suzuki</u> , S. Akazawa and Y. Nakao	
Design of restrictors of water hydrostatic thrust bearings considering influence of initial table displacement (査読付)	共著	2013年11月	Proc. Intl. Conf. on Leading Edge Manufacturing in 21st Century, Matsushima	N. Makino, M. Komori, <u>K. Suzuki</u> and Y. Nakao	493-498頁
Design of spindle supported by high stiffness water hydrostatic thrust bearing (査読付)	共著	2013年11月	ASME 2013 IMECE (International Mechanical Engineering Congress & Exposition), San Diego	Y. Nakao, K. Yamada and <u>K. Suzuki</u>	
Characteristics of bearing stiffness of a spindle with high stiffness water hydrostatic thrust bearing for ultra-precision machine tool (査読付)	共著	2014年 6月	Proc. 14th Intl. Conf. of the European Society for Precision Engineering & Nanotechnology, Dubrovnik	Y. Nakao, K. Yamada, K. Nagasaka and <u>K. Suzuki</u>	
Design of speed control system of water driven stage (Influence of external load on table speed) (査読付)	共著	2014年 7月	Proc. 15th Intl. Conf. on Precision Engineering, Kanazawa	Y. Torii, Y. Nakao and <u>K. Suzuki</u>	792-795頁

Design study of spindle supported by high stiffness water hydrostatic thrust bearings (査読付)	共著	2014年 7月	Proc. 15th Intl. Conf. on Precision Engineering, Kanazawa	K. Yamada, K. Nagasaka, <u>K. Suzuki</u> and Y. Nakao	747-748頁
Feasibility Study on Design of Spindle Supported by High-Stiffness Water Hydrostatic Thrust Bearing (査読付)	共著	2014年 7月	Int. Journal of Automation Technology 8(4)	Y. Nakao, <u>K. Suzuki</u> , K. Yamada and K. Nagasaka	530-538頁
Rotational motion accuracy of water driven spindle (1st. report: Axial motion accuracy) (査読付)	共著	2014年 7月	Proc. 15th Intl. Conf. on Precision Engineering, Kanazawa	T. Higuchi, <u>K. Suzuki</u> and Y. Nakao	745-746頁
ウォータードライブステージの開発と速度制御 (査読付)	共著	2014年 7月	日本機械学会論文集 80(815)	中尾陽一, 鈴木健児, 佐野利晃, 長島碧, 鳥居侑祐	
Development of vane-type water hydraulic oscillating motor of three-quarter turn type (査読付)	共著	2014年10月	Proc. the 9th JFPS Intl. Symposium on Fluid Power, Matsue	<u>K. Suzuki</u> , R. Torii, and Y. Nakao	
その他					
水圧用流量調整弁の圧力補償弁に作用する流体力の補償	単著	2010年 5月	日本フルードパワーシステム学会平成22年春季講演会講演論文集, 東京		61-63頁
水圧用比例弁の開発及び静特性の測定	単独	2010年 6月	日本フルードパワーシステム学会・水圧駆動システムの有効利用に関する研究委員会		
作動流体‘水’の基礎	単著	2010年 9月	油空圧技術 49(9)		11-15頁

ウォータードライブステージの速度制御系の設計と評価	共著	2010年12月	日本機械学会関東支部第17期総会講演会講演論文集, 横浜	長島碧, 佐野利晃, 中尾陽一, 鈴木健児	91-93頁
水圧用比例弁の試作と静特性の測定	共著	2010年12月	日本フルードパワーシステム学会平成22年秋季講演会講演論文集, 別府	鈴木健児, 赤澤翔, 畑山敏毅, 中尾陽一	91-93頁
静圧軸受における軸受絞り設計の一考察	共著	2011年 3月	日本機械学会関東支部第17期総会講演会講演論文集, 横浜	中津川翔太, 中尾陽一, 鈴木健児	39-40頁
カム駆動型水圧比例弁による水圧揺動アクチュエータの制御	共著	2011年 7月	第23回フルードパワーシステム国際見本市論文集, 東京	鈴木健児, 鳥居良介, 赤澤翔, 畑山敏毅, 中尾陽一	63-64頁
カム駆動型水圧用比例弁の動特性	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年次大会DVD-ROM論文集, 東京	赤澤翔, 鈴木健児, 中尾陽一	
水圧駆動用90° 回転型アクチュエータの開発	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年次大会DVD-ROM論文集, 東京	鳥居良介, 鈴木健児, 中尾陽一	
水静圧軸受の変位制御	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年次大会DVD-ROM論文集, 東京	中津川翔太, 中尾陽一, 鈴木健児	
ウォータードライブステージのステップ応答による動特性評価	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集, 習志野	佐野利晃, 鈴木健児, 中尾陽一	207-208頁
カム駆動型水圧用比例弁の動特性の向上に関する研究	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集, 習志野	赤澤翔, 鈴木健児, 中尾陽一	21-22頁

水圧駆動用270° 回転型揺動アクチュエータの設計	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集, 習志野	鳥居良介, 鈴木健児, 中尾陽一	19-20頁
水圧駆動用270° 回転型揺動アクチュエータの試作	共著	2012年 3月	日本機械学会関西支部第87期総会講演会講演論文集, 吹田	鳥居良介, 鈴木健児, 中尾陽一	13-11頁
水静圧回転テーブルの支持剛性の測定	共著	2012年 3月	日本機械学会関東支部第18期総会講演会講演論文集, 習志野	中津川翔太, 中尾陽一, 鈴木健児	225-226頁
水静圧軸受の変位の能動制御	共著	2012年 3月	日本機械学会関西支部第87期総会講演会講演論文集, 吹田	中津川翔太, 鈴木健児, 中尾陽一	12-10頁
第2回フルードパワーに関する日中共同ワークショップ	単著	2012年 7月	フルードパワーシステム43(4)		255-257頁
平成23年度の水圧分野研究活動の動向	単著	2012年 8月	フルードパワーシステム電子出版緑陰特集号43(E1)		E15-E20頁
ウォータードライブステージに組み込まれた水静圧軸受の剛性測定	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集, 金沢	原田翔, 鈴木健児, 中尾陽一	G130013. pdf頁
ウォータードライブステージの速度制御系設計 第一報 ウォータドライブステージのモデル化	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集, 金沢	佐野利晃, 鈴木健児, 中尾陽一	G130014. pdf頁
水圧比例弁を用いた水圧シリンダ制御系のモデル化	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集, 金沢	畑山敏毅, 赤澤翔, 鈴木健児, 中尾陽一	J113026. pdf頁
水圧駆動用90° 回転型アクチュエータの性能評価	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集, 金沢	赤澤翔, 鳥居良介, 鈴木健児, 中尾陽一	J113025. pdf頁

水静圧スラスト軸受の剛性測定	共著	2012年 9月	日本機械学会2012年度年次大会講演論文集, 金沢	小森正敬, 中津川翔太, 中尾陽一, 鈴木健児	G130015. pdf頁
ウォータードライブステージの性能評価 (第一報 水静圧軸受の剛性測定)	共著	2012年10月	日本機械学会第9回生産加工・工作機械部門講演会講演論文集, 由利本荘	原田翔, 鈴木健児, 中尾陽一	39-40頁
ウォータードライブステージの速度制御系設計 (第二報 比例弁による速度制御の試み)	共著	2012年10月	日本機械学会第9回生産加工・工作機械部門講演会講演論文集, 由利本荘	佐野利晃, 鈴木健児, 中尾陽一	37-38頁
水静圧軸受の支持剛性を最大にする短管軸受絞りの設計問題	共著	2012年10月	日本機械学会第9回生産加工・工作機械部門講演会講演論文集, 由利本荘	中尾陽一, 小森正敬, 牧野尚拓, 中津川翔太, 鈴木健児	41-42頁
水静圧軸受の最適設計による小型超精密工作機械用テーブルの性能向上に関する研究	共著	2012年11月	第15回国際工作機械技術者会議論文集, 東京	中尾陽一, 原田翔, 佐野利晃, 小森正敬, 牧野尚拓, 鈴木健児	24-25頁
ウォータードライブステージの速度制御系設計 第三報: ステージのフィードバック速度制御系の性能評価	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集, 八王子	佐野利晃, 鳥居侑祐, 鈴木健児, 中尾陽一	183-184頁
ウォータードライブ加工システムによるダイヤモンド切削の試み	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集, 八王子	原田翔, 鈴木健児, 中尾陽一	35-36頁
水圧用比例弁を用いた90°回転型揺動アクチュエータの角速度制御のためのモデル化	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集, 八王子	赤澤翔, 鈴木健児, 鳥居良介, 中尾陽一	501-502頁
水圧用比例弁を用いた水圧シリンダの位置決め	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集, 八王子	畑山敏毅, 赤澤翔, 鈴木健児, 中尾陽一	497-498頁

水静圧スラスト軸受におけるリセス圧力と軸受剛性の測定	共著	2013年 3月	日本機械学会関東支部19期総会講演会講演論文集, 八王子	小森正敬, 牧野尚拓, 中尾陽一, 鈴木健児	531-532頁
ウォータドライブステージの速度制御系設計 第四報: 速度制御に及ぼす負荷の影響	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集, 岡山		G131013. pdf頁
ウォータドライブ加工システムの開発と性能評価 第一報: 水の圧力脈動の影響	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集, 岡山	樋口貴郁, 原田翔, 中尾陽一, 鈴木健児	S131013. pdf頁
ダイヤモンド旋削用小型ウォータドライブステージの速度制御	共著	2013年 9月	2013年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集, 吹田	中尾陽一, 鳥居侑祐, 鈴木健児	113-114頁
水静圧スラスト軸受の高剛性化のための軸受絞りの設計法	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集, 岡山	牧野尚拓, 小森正敬, 中尾陽一, 鈴木健児	G101082. pdf頁
高剛性水静圧スピンドルの設計	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会講演論文集, 岡山	山田晃平, 中尾陽一, 鈴木健児	S131012. pdf頁
ウォータドライブステージの応答性向上のための速度制御系設計	共著	2014年 3月	日本機械学会関東支部第20期総会・講演会講演論文集, 小金井市	鳥居侑祐, 鈴木健児, 中尾陽一	20921. pdf頁
ウォータドライブスピンドルの軸方向の回転精度測定	共著	2014年 3月	日本機械学会関東支部第20期総会・講演会講演論文集, 小金井市	樋口貴郁, 鈴木健児, 中尾陽一	21103. pdf頁
比例弁による片側式水静圧軸受の変位制御	共著	2014年 3月	日本機械学会北陸信越支部第51期総会・講演会講演論文集, 射水市	小森正敬, 牧野尚拓, 鈴木健児, 中尾陽一	0S050503. pdf頁



水静圧スピンドルのスラスト軸受剛性の測定	共著	2014年 3月	日本機械学会関東支部第20期総会・講演会講演論文集, 小金井市	山田晃平, 長坂康平, 鈴木健児, 中尾陽一	20405. pdf頁
流体駆動スピンドルの軸方向の回転精度測定	共著	2014年 3月	日本機械学会関東支部第20期総会・講演会講演論文集, 小金井市	熊田汰一, 広瀬一之, 鈴木健児, 中尾陽一	21104. pdf頁
高速スピンドルのための水静圧スラスト軸受設計に関する基礎的検討	共著	2014年 3月	日本機械学会関東支部第20期総会・講演会講演論文集, 小金井市	王子雄貴, 鈴木健児, 中尾陽一	21105. pdf頁
水圧駆動用ベーン型270°揺動モータの開発および性能評価	共著	2014年 5月	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会2014講演論文集, 富山市	鈴木健児, 鳥居良介, 中尾陽一	1A1-F06. pdf頁
水静圧スピンドルのスラスト軸受剛性に及ぼす水圧によるスピンドル変形の影響	共著	2014年 9月	日本機械学会2014年度年次大会講演論文集, 東京	長坂康平, 山田晃平, 林晃生, 鈴木健児, 中尾陽一	S1310103. pdf頁
IFPEX2014における水圧分野の技術動向	単著	2015年 1月	フルードパワーシステム46(1)		14-16頁
水圧用ロータリー型サーボ弁の設計	共著	2015年 3月	日本機械学会中国四国支部第53期総会・講演会講演論文集CD-ROM, 東広島市	鈴木健児, 米澤龍也	講演番号307頁
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1998年～現在に至る	個人研究 水圧用リリーフ弁に関する研究				
1998年～現在に至る	個人研究 水圧用静圧軸受に関する研究				
1998年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員				
2001年 8月～現在に至る	日本フルードパワーシステム学会(国内学会)会員				
2004年～現在に至る	個人研究 水圧用流量調整弁に関する研究				
2005年～現在に至る	個人研究 水圧用減圧弁に関する研究				

2009年 4月～2011年 3月	日本フルードパワーシステム学会 水圧駆動システムの有効利用に関する研究委員会 委員
2009年 7月～現在に至る	日本フルードパワーシステム学会 企画委員会 委員
2010年～現在に至る	個人研究 水圧用比例弁に関する研究
2011年 4月～現在に至る	個人研究 水圧揺動アクチュエータに関する研究 (研究代表者)
2011年 4月～2014年 3月	科学研究費補助金 (科学研究費補助金)4,200,000円 「基盤研究(C)」急斜面における作業機械の移動機構に用いる水圧駆動式脚機構の開発とその制御 (研究代表者)
2013年 4月～現在に至る	日本設計工学会(国内学会)会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 准教授	氏名 笹田 昌弘		大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
せん断加工特性に及ぼす材料拘束の影響(第2報, 予加工の影響) (査読付)	共著	2010年 7月	日本機械学会論文集C編 76(767)	青木勇, 笹田昌弘, 中村高志	1844-1849頁
Influence of Sheet Metal Constraint on Punch Deflection in Shearing (査読付)	共著	2010年 9月	Steel Research International 81(9)	Masahiro Sasada, Isamu Aoki	1034-1037頁

Influence of the Blank Holding Force on the Punch Deflection in Shearing (査読付)	共著	2011年 9月	Proceedings of the 10th International Conference on Technology of Plasticity	Masahiro Sasada, Isamu Aoki	596-600頁
Effect of Punch length on Punch Deflection in Double-sided Shearing with Unbalanced Blankholding Force (査読付)	単著	2012年 9月	Proceedings of the 14th International Conference on Metal Forming		407-410頁
せん断加工における被加工材料の変形に関する研究 (クリアランス及び被加工材料直径の影響) (査読付)	共著	2012年11月	日本機械学会論文集C編 78(795)	笹田昌弘, 佐藤不思議, 青木勇	3768-3775頁
Influence of the punch penetration depth in half punching on the cut edge after shaving (査読付)	共著	2014年 9月	Key Engineering Materials 622-623	Masahiro Sasada, Yusuke Kamiichi, Takayuki Kikuchi	1081-1086頁
Measurement of rollover in double-sided shearing using image processing and influence of clearance (査読付)	共著	2014年10月	Procedia Engineering 81	Masahiro Sasada, Taiki Togashi	1139-1144頁
その他					
かす上がり発生の要因について	共著	2010年10月	プレス技術 48(10)	青木勇, 笹田昌弘	23-27頁

リベット接合における予加工穴形状が及ぼす材料変形への影響	共著	2011年 3月	日本機械学会九州支部講演論文集No. 118-1,	笹田昌弘, 座間秀和, 出野翼	287-288頁
平押し法によるかえりなしせん断製品の寸法精度に関する研究	共著	2011年 3月	日本機械学会東海支部第60期総会講演会講演論文集 (CD-ROM) 講演番号552	青木勇, 笹田昌弘, 内藤侑貴, 松井亨	
打抜き加工によるパイロット穴の変形に関する研究	共著	2013年11月	第64回塑性加工連合講演会講演論文集	丸木隆史, 笹田昌弘	pp. 311-312頁
画像処理を利用した平行複刃型せん断におけるだれに関する研究	共著	2013年11月	第64回塑性加工連合講演会講演論文集	富樫大希, 笹田昌弘	pp. 315-316頁
平押し法における材料拘束が切口面に及ぼす影響	共著	2014年11月	第65回塑性加工連合講演会講演論文集	齊藤彬, 笹田昌弘	249-250頁

### III 学会等および社会における主な活動

年月	内容
1995年 7月～現在に至る	社団法人 自動車技術会(国内学会)会員
1996年 1月～現在に至る	社団法人 日本機械学会(国内学会)会員
2000年 4月～現在に至る	社団法人 日本塑性加工学会(国内学会)会員
2000年11月～現在に至る	社団法人 精密工学会(国内学会)会員
2002年 4月～現在に至る	個人研究 微細せん断加工の有限要素解析
2005年 2月～現在に至る	アメリカ機械学会(国際学会)会員
2005年 4月～現在に至る	個人研究 微細せん断加工における工具変形に関する研究
2010年 4月～2011年 3月	その他の補助金・助成金 (財団法人 高橋産業経済研究財団)1,000,000円 「助成」リベット締結の有限要素解析 (研究代表者)
2010年 6月～2011年 3月	国内共同研究 (有限会社メカノトランスフォーマ)圧電アクチュエータ機械出力測定評価技術の基礎および応用に関する研究
2012年 6月～現在に至る	社団法人 日本塑性加工学会(国内学会)講演会運営委員会委員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
工学部機械工学科	教授	林 憲玉	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
卒業論文及び修士論文指導,		2011年 4月 ～2014年 6月	国際会議にて研究論文を発表し、Best Conference Paper Award (2012年)、Student paper award finalist (2012年)、Student Paper Award (2013年) を受賞した。
2 作成した教科書、教材			
なし			
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
優秀講演賞		2004年 3月 ～現在に至る	10回学生会員卒業研究発表講演会, 精密工学会
Best Paper Award Finalist		2006年 5月 ～現在に至る	IEEE ICRA
2008年度アンケート結果		2008年 7月 ～現在に至る	(授業科目: 機構及びロボット工学) 「授業は全体として満足な内容であったかと思いませんか」に関しては、40.5%の学生が「強く思う」及び「そう思う」と回答した。「授業の内容に興味もしくは関心が持てましたか」においては、67.6%の学生が「強く思う」と「そう思う」のいずれかに回答した。教員に、授業に取り組む熱意を感じましたか」においては、78.4%の学生が「強く思う」及び「そう思う」との評価を得た。
Student paper award finalist		2012年10月 ～現在に至る	卒業研究を12th International Conference on Control, Automation and Systemsにて発表し、賞を受賞した。
Best Conference Paper Award		2012年11月 ～現在に至る	卒業研究をInternational Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligenceにて発表し、賞を受賞した。
2013年度グッドティーチャー賞		2013年10月 ～現在に至る	輪講、卒業研究などについて高く評価された。
Student Paper Award		2013年10月 ～現在に至る	卒業研究をInternational Conference on Control, Automation and Systemsにて発表し、賞を受賞した。
4 実務の経験を有する者についての特記事項			

神奈川県内の企業と大学の連携について		2011年10月 ～2014年 6月	神奈川県内の中小企業、県研究所、機械工学科教員と学生と年2回交流を行い、教育研究の連携および就職などについて議論を深めている。		
5 その他					
機械工学科カリキュラム検討委員会		2011年 4月 ～2014年 3月	教員の教授内容、方法の改善と向上への取り組み、シラバスの作成、効果的なカリキュラムについて検討し、継続的な改善活動を行っている。		
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
Robotics Research	共著	2011年 1月	(Springer-Verlag) ISBN-9783642147425		
Biped Robots	共著	2011年 2月	(INTECH) ISBN 978-953-307-216-6		
論文					
Avoidance Behavior from External Forces for Biped Vehicle (査読付)	共著	2010年 5月	2010 IEEE International Conference on Robotics and Automation pp. 4715-4720	Kenji Hashimoto, Terumasa Sawato, Akihiro Hayashi, Yuki Yoshimura, Teppei Asano, Kentaro Hattori, Yusuke Sugahara, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Realization of Biped Walking on Uneven Terrain by New Foot Mechanism Capable of Detecting Ground Surface (査読付)	共著	2010年 5月	2010 IEEE International Conference on Robotics and Automation pp. 5167-5172	Hyun-jin Kang, Kenji Hashimoto, Hideki Kondo, Kentaro Hattori, Kosuke Nishikawa, Yuichiro Hama, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi, Keisuke Suga and Keisuke Kato	
Development of New Biped Foot Mechanism Mimicking Human's Foot Arch Structure (査読付)	共著	2010年 7月	18th CISM-IFTOMM Symposium on Robot Design pp. 249-256	Kenji Hashimoto, Yuki Takezaki, Kentaro Hattori, Hideki Kondo, Takamichi Takashima, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	

Simulation of a Humanoid Robot walking gait on Moon Surface (査読付)	共著	2010年 7月	18th CISM-IFTOMM Symposium on Robot Design, and Control (RoManSy2010) pp. 241-248	Aiman Musa M. Omer, Hun-ok Lim, and Atsuo Takanishi	
A Study of Function of the Human's Foot Arch Structure Using Biped Humanoid Robot (査読付)	共著	2010年10月	2010 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems pp. 2206-2211	Kenji Hashimoto, Yuki Takezaki, Kentaro Hattori, Hideki Kondo, Takamichi Takashima, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Mechanism and Control of Coaxial Double Contra-Rotation Flying Robot (査読付)	共著	2010年10月	2010 International Conference on Control, Automation and System 2010 pp. 1109-1114	Hun-ok Lim, Shoji Machida	
Online Walking Pattern Generation for Biped Walking (査読付)	共著	2010年10月	2010 International Conference on Control, Automation and Systems pp. 1816-1821	Hun-ok Lim, T. Yoshida	
Simulation Study of a Bipedal Robot Jumping Motion Approach on Moon Gravity (査読付)	共著	2010年12月	Aiman Musa M. Omer, Hun-ok Lim, and Atsuo Takanishi pp. 218-222	Aiman Musa M. Omer, Hun-ok Lim, and Atsuo Takanishi	
Disturbance Compensation Control for Biped Vehicle (査読付)	共著	2011年 2月	Advanced Robotics Vol. 25(No. 3, pp. 407-426)	Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Realization of Quick Turn of Biped Humanoid Robot by Using Slipping Motion with Both Feet (査読付)	共著	2011年 5月	2011 IEEE International Conference on Robotics and Automation pp. 2041-2046	Kenji Hashimoto, Yuki Yoshimura, Hideki Kondo, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	



Stretched Knee Walking with Novel Inverse Kinematics for Humanoid Robots (査読付)	共著	2011年 9月	2011 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems pp. 3221-3226	Przemyslaw Kryczka, Kenji Hashimoto, Hideki Kondo, Aiman Omer, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Unified Multi-task Inverse Kinematics for Humanoid Robots (査読付)	共著	2011年 9月	日本ロボット学会第29回 学術講演会予稿集 3Q2-3	Przemyslaw Kryczka, Kenji Hashimoto, Hideki Kondo, Aiman Musua M. Omar, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi	
Development of Collision Force Suppression Mechanism for Human-Friendly Robot (査読付)	共著	2011年10月	International Conference on Control, Automation and Systems pp. 665-670	Kazuya Shimamoto, Naoki Takeuchi and Hun-ok Lim	
Development of In-Pipe Robot Capable of Coping with Various Diameters (査読付)	共著	2011年10月	International Conference on Control, Automation and Systems pp. 1076-1081	Kaname Sato, Taku Ohki and Hun-ok Lim	
Development of Seahorse Robot Capable of Expressing Happiness, Sadness and Anger (査読付)	共著	2011年10月	International Conference on Control, Automation and Systems pp. 659-664	Keisuke Sayama, Yuki Suzuki and Hun-ok Lim	
Mechanism and Control of Four Rotor Flying Robot (査読付)	共著	2011年10月	International Conference on Control, Automation and Systems pp. 1152-1157	Shohei Noda, Shozi Machida and Hun-ok Lim	
Mechanisms of Biped Humanoid Robot and Online Walking Pattern Generation (査読付)	共著	2011年10月	International Conference on Control, Automation and Systems pp. 1117-1122	Kouhei Yamada, Keisuke Sayama, Tetsuya Yoshida, and Hun-ok Lim	

Initial Study of Bipedal Robot Locomotion Approach on Different Gravity Levels (査読付)	共著	2011年12月	2011 IEEE/SICE International Symposium on System Integration pp. 802-807	Aiman Musa M. Omer, Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
A Decision Making for a Robot Based on Simple Interaction with Human, (査読付)	共著	2012年 5月	International Conference on KES Intelligent Interactive Multimedia Systems and Services pp.1-10	H. Masuta, Y. Tamura, Hun-ok Lim	
A Decision Making for a Robot Based on Simple Interaction with Human	共著	2012年 5月	The 5th International Conference on Intelligent Interactive Multimedia Systems and Services pp.1-10	Hiroyuki Masuta, Yasut Tamura and Hun-ok Lim	
Biped Walking Stabilization Based on Gait Analysis	共著	2012年 5月	2012 IEEE International Conference on Robotics and Automation pp. 154-159	Kenji Hashimoto, Yuki Takezaki, Hiromitsu Motohashi, Takuya Otani, Tatsuhiro Kishi, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
A Direct Perception for Decision Making of A Service Robot (査読付)	共著	2012年 6月	2012 IEEE WORLD CONGRESS ON COMPUTATIONAL INTELLIGENCE, ID:E-530 pp. 3484-3489	Hiroyuki Masuta, Yasuto Tamura and Hun-ok Lim	
Biped Walking Stabilization on Soft Ground Based on Gait Analysis (査読付)	共著	2012年 6月	The fourth IEEE RAS/EMBS International Conference on Biomedical Robotics and Biomechanics pp. 669-674	Hyun-jin Kang, Kenji Hashimoto, Kosuke Nishikawa, Egidio Falotico, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi, Cecilia Laschi, Paolo Dario and Alain Berthoz	

Implementation of a Human Model for Head Stabilization on a Humanoid Platform (査読付)	共著	2012年 6月	The fourth IEEE RAS/EMBS International Conference on Biomedical Robotics and Biomechanics pp. 669-674	Przemyslaw Kryczka, Egidio Falotico, Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi, Cecilia Laschi, Paolo Dario and Alain Berthoz	
Overload Protection Mechanism for 6-axis Force/Torque Sensor (査読付)	共著	2012年 6月	19th CISM-IFTOMM Symposium on Robot Design	Kenji Hashimoto, Teppei Asano, Yuki Yoshimura, Yusuke Sugahara, Hun-Ok Lim and Atsuo Takanishi	
Human-Robot Interaction Based on Frankl Psychology for a Partner Robot (査読付)	共著	2012年 8月	SICE Annual Conference 2012 pp. 79-84	Hiroyuki Masuta, Tsuyoshi Onishi and Hun-ok Lim	
A robotic implementation of a bio-inspired head motion stabilization model on a humanoid platform (査読付)	共著	2012年10月	2012 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems pp. 2076-2081	Przemyslaw Kryczka, Egidio Falotico, Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi, Cecilia Laschi, Paolo Dario and Alain Berthoz	
Development of Koala Robot Capable of Expressing Various Kinds of Feelings (査読付)	共著	2012年10月	Proceedings of 12th International Conference on Control, Automation and Systems pp. 424-429	Fuminori Souma, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
New In-Pipe Robot Capable of Coping with Various Diameters (査読付)	共著	2012年10月	International Conference on Control, Automation and Systems pp. 151-156	Sari Yabe, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
Realization of Biped Walking on Soft Ground with Stabilization Control Based on Gait Analysis (査読付)	共著	2012年10月	2012 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems, Vilamoura, Algarve, Portuga pp. 2064-2069	Kenji Hashimoto, Hyun-jin Kang, Masashi Nakamura, Egidio Falotico, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi, Cecilia Laschi, Paolo Dario and Alain Berthoz	

Development of Adjustable Stiffness Mechanism for Bipedal Walking Robot (査読付)	共著	2012年11月	The 2nd IFToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science Paper No. 117	Aiman Omer, Taufik Sulaiman, Reza Ghorbani, Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim, and Atsuo Takanishi	
Development of Manipulator with Collision Force Suppression Mechanism (査読付)	共著	2012年11月	International Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligence pp. 389-394	Kazuya Shimamoto, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
Development of One-Legged Jumping Robot with Artificial Musculoskeletal System (査読付)	共著	2012年11月	International Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligence pp. 608-613	Keisuke Sayama, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
Teleoperated Control of a Mobile Robot Using Tablet Device for Reflecting Human Intention (査読付)	共著	2012年11月	The 6th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems, and the 13th International Symposium on Advanced Intelligent Systems pp. 610-614	Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	

The Fuzzy Position Control for the Four Rotor Flying Robot (査読付)	共著	2012年11月	The 6th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems, and the 13th International Symposium on Advanced Intelligent Systems The 6th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems, and the 13th International	Shohei Noda, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
Whole Body Motion Pattern Generation for Biped Humanoid Robots (査読付)	共著	2012年11月	International Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligence pp. 142-147	Kouhei Yamada, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
Walking Stabilization Based on Gait Analysis for Biped Humanoid Robot (査読付)	共著	2013年 3月	Advanced Robotics Vol. 27(No. 7, pp. 541-551)	Kenji Hashimoto, Yuki Takezaki, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
New Shank Mechanism for Humanoid Robot Mimicking Human-like Walking in Horizontal and Frontal Plane (査読付)	共著	2013年 5月	Proceedings of the 2013 IEEE International Conference on Robotics and Automation pp. 659-664	10. Takuya Otani, Akihiro Iizuka, Daiki Takamoto, Hiromitsu Motohashi, Tatsuhiro Kishi, Przemyslaw Kryczka, Nobutsuna Endo, Lorenzo Jamone, Kenji Hashimoto, Takamichi Takashima, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	

Self-Organized Map based Learning System for Estimating the Specific Task by Simple Instructions (査読付)	共著	2013年 5月	Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics Vol.17 (No. 3, pp. 450-458)	Hiroyuki Masuta, Yasuto Tamura, Hun-ok Lim	
Shoes-wearable Foot Mechanism Mimicking Characteristics of Human's Foot Arch and Skin (査読付)	共著	2013年 5月	Proceedings of the 2013 IEEE International Conference on Robotics and Automation pp. 678-683	Kenji Hashimoto, Hiromitsu Motohashi, Takamichi Takashima, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Human Balance Control during Walking on Compliant Ground (査読付)	共著	2013年 6月	Proceedings of the 2nd Joint World Congress ISPRG / Gait & Mental Function P3-0-238	Kenji Hashimoto, Egidio Falotico, Atsuo Takanishi, Cecilia Laschi, Paolo Dario and Alain Berthoz	
Walking despite the Passive Compliance: Techniques for Using Conventional Pattern Generators to Control Intrinsically Compliant Humanoid Robots (査読付)	共著	2013年 7月	Proceedings of the 16th International Conference on Climbing and Walking Robots, pp. 487-494	Przemyslaw Kryczka, Kenji Hashimoto, Atsuo Takanishi, Hun-ok Lim, Peter Kormushev, Nikos G. Tsagarakis and Darwin G. Caldwell	
Fault Diagnosis of Mobile Robot based on Short-Term Prediction using Neural Network (査読付)	共著	2013年 9月	Proceedings of SICE ANNUAL CONFERENCE 2013 pp.1300-1305	Shinichiro Makino, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	

Direct Perception for Intelligent Robot to Grasp an Unknown Object (査読付)	共著	2013年10月	Proceedings of the 3rd International Workshop on Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics SS1-3	Hiroyuki Masuata and Hun-ok Lim	
Hybrid gait pattern generator capable of rapid and dynamically consistent pattern regeneration (査読付)	共著	2013年10月	Proceedings of the 10th International Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligence (URAI2013) pp. 475-480	Przemyslaw Kryczka, Petar Kormushev, Kenji Hashimoto, Hun-Ok Lim, Nikos G. Tsagarakis, Darwin G. Caldwell and Atsuo Takanishi	
Mechanism of One-Legged Jumping Robot With Artificial Musculoskeletal System (査読付)	共著	2013年10月	Proceedings of the 13th International Conference on Control, Automation and Systems pp. 869-874	Hideki Iijima, Keisuke Sayama, Hiroyuki Masuta, Atsuo Takanishi and Hun-ok Lim	
Stability Control and Pattern Generation for Biped Humanoid Robot (査読付)	共著	2013年10月	Proceedings of the 13th International Conference on Control, Automation and Systems pp. 910-915	Yuki Kamogawa, Kouhei Yamada, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
Expressions of Emotions of Koala Robot Based on Laban Movement Analysis (査読付)	共著	2013年11月	Proceedings of the 14th International Symposium on Advanced Intelligent Systems pp. T3c-4	Fuminori Souma, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	
Flight Control of Quad-rotor Flying Robot (査読付)	共著	2013年11月	Proceedings of the 14th International Symposium on Advanced Intelligent Systems pp. T5c-3	Mizuki Sato, Hiroyuki Masuta and Hun-ok Lim	

Passive Collision Force Suppression Mechanism for Robot Manipulator (査読付)	共著	2013年11月	IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems pp. 280-285	Yoshiaki Ono, Kazuya Shimamoto, Takuma Nogawa, Hiroyuki Masuta, and Hun-ok Lim	
Towards Dynamically Consistent Real-time Gait Pattern Generation for Full-size Humanoid Robots	共著	2013年12月	Proceedings of the 2013 IEEE International Conference on Robotics and Biomimetics (ROBIO 2013) pp. 1408-1413	Przemyslaw Kryczka, Yukitoshi Minami Shiguematsu, Petar Kormushev, Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Foot Placement Modification for a Biped Humanoid Robot with Narrow Feet (査読付)	共著	2014年 1月	The Scientific World Journal Vol. 2014, Article ID 259570 (9 pages)	Kenji Hashimoto, Kentaro Hattori, Takuya Otani, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
距離画像を用いた未知物体認識のための網膜モデルに基づく面検出 (査読付)	共著	2014年 1月	日本ロボット学会誌 Vol. 32 (No. 1)	増田寛之, 林憲玉	64-73頁
フランク心理学に基づくパートナーロボットの知的インタラクション (査読付)	共著	2014年 2月	日本知能情報フuzzy学会誌	増田寛之, 松尾優成, 林憲玉	
Simplified Plane Detection Method in 3D space for Unknown Object Detection (査読付)	共著	2014年 3月	The International Workshop on Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 2014 RS2-2	Hiroyuki Masta, Shinichiro Makino and Hun-ok Lim	



Hopping Robot Using Pelvic Movement and Leg Elasticity (査読付)	共著	2014年 6月	Proceedings of 2014 XX CISM-IFTOMM Symposium on Theory and Practical of Robots and Manipulators (ROMANSY 2014) pp. 235-243	Takuya Otani, Kazuhiro Uryu, Masaaki Yahara, Akihiro Iizuka, Shinya Hamamoto, Shunsuke Miyamae, Kenji Hashimoto, Matthieu Destephe, Masanori Sakaguchi, Yasuo Kawakami, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Terrain-Adaptive Biped Walking Control Using Three-point Contact Foot Mechanism Detectable Ground Surface (査読付)	共著	2014年 6月	Proceedings of 2014 XX CISM-IFTOMM Symposium on Theory and Practical of Robots and Manipulators (ROMANSY 2014) pp. 255-263	Kenji Hashimoto, Hyun-jin Kang, Hiromitsu Motohashi, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
Robot-human interaction to encourage voluntary action (査読付)	共著	2014年 7月	2014 IEEE International Conference on Fuzzy Systems (FUZZ-IEEE)	H. Masuta, Y. Matsuo, N. Kubota, Hun-ok Lim	1006-1012頁
3D Plane Detection for Robot Perception applying Particle Swarm Optimization (査読付)	共著	2014年 8月	World Automation Congress (WAC2014) EDAS Paper Number 1569917625	Hiroyuki Masta, Shinichiro Makino, Atsuo Takanishi and Hun-ok Lim	
Heel-contact Toe-off Walking Model Based on the Linear Inverted Pendulum (査読付)	共著	2014年 8月	Proceedings of the 5th IEEE/RAS-EMBS International Conference on Biomedical Robotics and Biomechatro pp. 221-226	Yukitoshi Minami, Przemyslaw Kryczka, Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi	

Object Detection based on Saliency Map using Reference Image Containing Complex Background (査読付)	共著	2014年 8月	World Automation Congress (WAC2014) EDAS Paper Number 1569926373	Yasuto Tamura, Hiroyuki Masuta, Atsuo Takanishi, Hun-ok Lim	
PSO を用いた 3次元面検出による未知物体の検出	共著	2014年 9月	第30回ファジィシステムシンポジウム講演論文集	牧野 慎一郎, 増田 寛之, 林 憲玉	
Study of Bipedal Robot Walking Motion in Low Gravity: Investigation and Analysis," International Journal of Advanced Robotic Systems (査読付)	共著	2014年 9月	International Journal of Advanced Robotic Systems 11:139 (14 pages)	Aiman Omer, Kenji Hashimoto, Hun-ok Lim and Atsuo Takanishi	
タブレット指令に基づいて目的地へ到達する自律移動ロボットのシステム開発	共著	2014年11月	2014年度精密工学会北陸信越支部講演概要集	増田 寛之, 林 憲玉	c23頁
作業ロボットのための面検出に基づく作業空間認識手法	共著	2014年11月	2014年度精密工学会北陸信越支部講演概要集	牧野 慎一郎, 増田 寛之, 林 憲玉	c22頁
3次元距離画像センサを用いた平面検出に基づく未知物体検出	共著	2014年12月	第15回 公益社団法人 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2014)	牧野 慎一郎, 増田 寛之, 林 憲玉	983-988頁
Design and Analysis of Electric Micro Vehicle with Tubular Frame Structure	共著	2014年12月	15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS 2014)	Ichirota Kanai, Naoki Fujinami, Hun-ok Lim	Paper Number 212頁

Development of Human-Friendly Robot's Waist with Passive Collision Force Suppression Mechanism (査読付)	共著	2014年12月	15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS 2014)	Koki Matsumoto, Yoshiaki Ono, Hun-ok Lim	Paper Number 206頁
Development of Tendon-Driven Robotic Hand for Biped Humanoid Robot (査読付)	共著	2014年12月		Yuki Kamogawa, Youhei Kuwahara, Atsuo Takanishi, Hun-ok Lim	Paper Number 117頁
Object Recognition based on Inhibition-of-Return Control using Particle Filter (査読付)	共著	2014年12月	15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS 2014)	Yasuto Tamura, Hun-ok Lim	Paper Number 246頁
Unknown object extraction based on plane detection in 3D space (査読付)	共著	2014年12月	2014 IEEE Symposium on Robotic Intelligence In Informationally Structured Space (RiISS)	H. Masuta, S. Makino, Hun-ok Lim, T. Motoyoshi, K. Koyanagi, T. Oshima	135-141頁
距離画像センサを用いた未知物体把持のための直接知覚	共著	2014年12月	第15回 公益社団法人 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2014)	増田寛之, 牧野慎一郎, 大島, 小柳, 本吉, 林 憲玉	2232-2237頁
その他					
人体運動シミュレータとしての2足ヒューマノイドロボットの開発 (第11報: 両足の滑りを利用した高速な旋回運動の実現)	共著	2010年 6月	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2010 2A2-D23	橋本健二, 吉村勇希, 近藤秀樹, 林憲玉, 高西淳夫	

Simulation Based Study of a Bipedal Robot Forward Jumping Motion Approach on Moon Gravity	共著	2010年 9月	日本ロボット学会第28回 学術講演会予稿集 2D2-3	Aiman Musa M. Omer, Hun-ok Lim, and Atsuo Takanishi	
Simulation Based Study of a Bipedal Robot Forward Jumping Motion Approach on Moon Gravity	共著	2010年 9月	The 28th Annual Conference of the Robotics Society of Japan 2D2-3	Aiman Musa M. Omer, Hun-ok Lim, and Atsuo Takanishi	
人体運動シミュレータ としての2足ヒューマ ノイドロボットの開発 (第12報：下肢協調 型適応動作による路面 に応じた歩行)	共著	2010年 9月	日本ロボット学会第28回 学術講演会予稿集 2D2-2	近藤秀樹, 濱雄一郎, 橋本健二 , 林憲玉, 高西淳夫	
人体運動シミュレータ としての2足ヒューマ ノイドロボットの開発 (第12報：下肢協調 型適応動作による路面 に応じた歩行)	共著	2010年 9月	日本ロボット学会第28回 学術講演会予稿集 2D2-2	近藤秀樹, 濱雄一郎, 橋本健二 , 林憲玉, 高西淳夫	
2足歩行ロボットの軟 弱路面での歩行実現に 向けた基礎的研究	共著	2010年 9月	日本ロボット学会第28回 学術講演会予稿集 2D2-1	姜賢珍, 橋本健二, 吉村勇希, 近藤秀樹, 林憲玉, 高西淳夫	
2足歩行ロボットの軟 弱路面での歩行実現に 向けた基礎的研究	共著	2010年 9月	日本ロボット学会第28回 学術講演会予稿集 2D2-1	姜賢珍, 橋本健二, 吉村勇希, 近藤秀樹, 林憲玉, 高西淳夫	
3点型路面検知足部機 構を用いた2足歩行ロ ボットの不整地適応歩 行の実現	共著	2010年 9月	日本ロボット学会第28回 学術講演会予稿集 2D1-6	姜賢珍, 中村真志, 本橋弘光, 小田中浩平, 橋本健二, 西川浩 介, 近藤秀樹, 林憲玉, 高西淳 夫, 菅敬介, 加藤恵輔	

3点型路面検知足部機構を用いた2足歩行ロボットの不整地適応歩行の実現	共著	2010年 9月	日本ロボット学会第28回 学術講演会予稿集 2D1-6	姜賢珍, 中村真志, 本橋弘光, 小田中浩平, 橋本健二, 西川浩 介, 近藤秀樹, 林憲玉, 高西淳 夫, 菅敬介, 加藤恵輔	
ロボットは人間と共存 できるか	単独	2010年10月	(Hong-Ik University, Seoul)		
ヒト足部の足裏せん断 弾性特性の測定	共著	2010年11月	第31回バイオメカニズム 学術講演会予稿集 1A2-4, pp. 35-38	本橋弘光, 橋本健二, 吉村勇希 , 竹崎裕記, 近藤秀樹, 高嶋孝 倫, 林憲玉, 高西淳夫	
脚部にパラレルリンク 機構を用いた2足ロコ モータの開発 (第20 報: 足部6軸力覚セン サの過負荷保護機構)	共著	2011年 5月	日本機械学会ロボティク ス・メカトロニクス講演 会2011 2A2-D06	橋本健二, 浅野哲平, 吉村勇希 , 菅原雄介, 林憲玉, 高西淳夫	
Unified Multi-task Inverse Kinematics for Humanoid Robots	共著	2011年 9月	日本ロボット学会第29回 学術講演会予稿集 3Q2-3	Przemyslaw Kryczka, Kenji Hashimoto, Hideki Kondo, Aiman Musua M. Omar, Hun-ok Lim, Atsuo Takanishi	
パーソナルモータビー クルの機構と制御則の 開発	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年 次大会DVD-ROM論文集 G150015	野田翔平, 太田佳之, 林憲玉	
ファジィ制御を適用し た4ロータフライング ロボットの制御	共著	2011年 9月	第27回ファジィシステム シンポジウム講演論文集 pp. 1237-1242	野田翔平, 増田寛之, 林憲玉	
予見制御による2足歩 行ロボットの上体補償 軌道の算出	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年次大 会DVD-ROM論文集 , G150013	山田孝平, 田島健介, 林憲玉	
人体運動シミュレータ としての2足ヒューマ ノイドロボットの開発 (第14報: 水平面にお ける人間の歩行の模擬 が可能な下腿機構)	共著	2011年 9月	日本ロボット学会第29回 学術講演会予稿集 1J2-3	高本大己, 橋本健二, 近藤秀樹 , 竹崎裕記, 高嶋孝倫, 林憲玉 , 高西淳夫	
人体運動シミュレータ としての2足ヒューマ ノイドロボットの開発	共著	2011年 9月	日本ロボット学会第29回 学術講演会予稿集 1J2-2	橋本健二, 竹崎裕記, 本橋弘光 , 高本大己, 林憲玉, 高西淳夫	

喜びと哀しみ, 怒りを表現するタツノオトシゴ型ロボットの開発	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年次大会DVD-ROM論文集 G150014	佐山恵亮, 鈴木雄貴, 林憲玉	
多関節型管内移動ロボットの開発	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年次大会DVD-ROM論文集 G150022	佐藤要, 大木拓, 林憲玉	
管内移動ロボットの開発	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年次大会DVD-ROM論文集 G150021	市川達也, 大木拓, 林憲玉	
電磁クラッチを用いた衝撃緩和機構の開発	共著	2011年 9月	日本機械学会2011年度年次大会DVD-ROM論文集 G150023	島本和弥, 砂川雅彦, 林憲玉	
フランク心理学に基づいたロボットインタラクション	共著	2011年12月	第12回システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) pp. 380-381	大西剛, 増田寛之, 林憲玉	
人の操作意図に基づいた移動ロボットの遠隔操作	共著	2011年12月	第12回システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) pp. 1272-1273	増田寛之, 保坂祐生, 林憲玉	
4ロータフライングロボットの開発	共著	2012年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会'12講演論文集 pp. 2A2-L10	町田昇司, 野田翔平, 増田寛之, 林憲玉	
コア型ロボットの開発と親しみやすさに関する検討	共著	2012年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会'12講演論文集 pp. 1A1-P05	増田寛之, 田中邦樹, 金子昇平, 林憲玉	
予見制御によるオンライン歩行パターン生成アルゴリズム	共著	2012年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会'12講演論文集 pp. 1A2-002	吉田哲哉, 山田孝平, 増田寛之, 林憲玉	
受動的な衝撃緩和機構の開発-第一報:機構の開発-	共著	2012年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会'12講演論文集 pp. 1A1-T10	島本和弥, 相馬史典, 増田寛之, 林憲玉	

受動的な衝撃緩和機構の開発-第二報:緩和機構を持つアーム-	共著	2012年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会'12講演論文集 pp. 1A1-T11	島本和弥, 相馬史典, 増田寛之, 林憲玉	
管直径適応型管内移動ロボットの開発	共著	2012年 5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会'12講演論文集 pp. 1A1-H08	市川達也, 佐藤要, 増田寛之, 林憲玉	
人間とロボットとの共存	単独	2012年 6月	(神奈川大学)		
受動的な衝撃緩和機構の開発	共著	2012年 8月	日本知能情報フエジイ学会-第13回HSS研究会論文集 HSS-13-7	島本和弥, 増田寛之, 林憲玉	
サービスロボットのためのSOMを用いた片づけタスクの推定	共著	2012年 9月	日本ロボット学会第30回記念学術講演会 RSJ2012AC1H2-4	田村泰人, 増田寛之, 林憲玉	
人体運動シミュレータとしての2足ヒューマノイドロボットの開発 (第15報:歩行解析に基づく軟弱路面歩行安定化制御と軟弱路面での歩行実現)	共著	2012年 9月	日本ロボット学会第30回記念学術講演会 4K1-5	橋本健二, 姜賢珍, 中村真志, 西川浩介, Egidio Falotico, Cecilia Laschi, Paolo Dario, Alain Berthoz, 林憲玉, 高西淳夫	
人体運動シミュレータとしての2足ヒューマノイドロボットの開発 (第16報:水平面と前額面における人間の歩行運動が模擬可能な下腿機構)	共著	2012年 9月	日本ロボット学会第30回記念学術講演会	飯塚晃弘, 高本大己, 大谷拓也, 本橋弘光, Przemyslaw KRYCZKA, 遠藤信綱, 橋本健二, 高嶋孝倫, 林憲玉, 高西淳夫	
受動的な衝撃緩和機構を持つマニピュレータの開発	共著	2012年 9月	日本ロボット学会第30回記念学術講演会予稿集 DVD-ROM 201-5	島本和弥, 増田寛之, 林憲玉	

自律的な行動を促すためのフランク心理学に基づいたロボットインタラクション	共著	2012年 9月	第28回ファジィシステムシンポジウム 講演論文集 pp. 942-947	増田寛之, 林憲玉	
距離画像からの面検出に基づく未知物体の知覚	共著	2012年 9月	日本ロボット学会第30回記念学術講演会 RSJ2012AC2J2-4	増田寛之, 林憲玉	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第1報: 骨盤運動と脚弾性を活用した走行モデルの考案)	共著	2013年 5月	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会2013 2A1-104	大谷拓也, 八原昌亨, 瓜生和寛, 橋本健二, 阪口正律, 川上泰雄, 林憲玉, 高西淳夫	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第2報: 骨盤運動と脚弾性を活用した跳躍運動の実現)	共著	2013年 6月	日本IFTtoMM会議シンポジウム前刷集(第19回) pp. 51-54	八原昌亨, 大谷拓也, 瓜生和寛, 飯塚晃弘, 岸竜弘, 遠藤信綱, 橋本健二, 阪口正律, 川上泰雄, 林憲玉, 高西淳夫	
2足ヒューマノイドロボットの歩行安定化制御及びパターン生成	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会 G151014	鴨川雄樹, 山田孝平, 増田寛之, 林憲玉	
4ロータフライングロボットの風が吹く環境に適応するホバリング制御	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会 G151021	佐藤瑞樹, 野田翔平, 増田寛之, 林憲玉	
SOMを用いた食器状態分類と片づけタスクの推定	共著	2013年 9月	第31回日本ロボット学会学術講演会 RSJ2013AC1I2-05	田村泰人, 増田寛之, 林憲玉	
モジュール構成を適用した超小型電気自動車の開発	共著	2013年 9月	第31回日本ロボット学会学術講演会 DVD-ROM論文集, RSJ2013AC3N3-05/JSAE 20134686	藤波直希, 相馬史典, 増田寛之, 林憲玉, 高山英一	



人体運動シミュレータとしての2足ヒューマノイドロボットの開発 (第17報:歩行中の視線安定を維持する頭部姿勢安定化モデル)	共著	2013年 9月	日本ロボット学会第31回 記念学術講演会 1C1-01	Przemyslaw Kryczka, 南重松行紀, 大谷拓也, 橋本健二, Egidio Falotico, Cecilia Laschi, Paolo Dario, Alain Berthoz	
人体運動シミュレータとしての2足ヒューマノイドロボットの開発 (第17報:歩行中の視線安定を維持する頭部姿勢安定化モデル)	共著	2013年 9月	日本ロボット学会第31回 記念学術講演会 1C1-01	Przemyslaw Kryczka, 南重松行紀, 大谷拓也, 橋本健二, Egidio Falotico, Cecilia Laschi, Paolo Dario, Alain Berthoz, 林憲玉, 高西淳夫	
受動的な衝撃緩和機構及び空気緩和材を搭載したマニピュレータの開発	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会 G151033	小野慶昭, 島本和弥, 野川琢磨, 増田寛之, 林憲玉	
受動的な衝撃緩和機構及び空気緩和材を搭載したマニピュレータの開発	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会 G151033	小野慶昭, 島本和弥, 野川琢磨, 増田寛之, 林憲玉	
地域の学童の親子を対象に学生の就活体験を兼ねたロボット教育の実践	共著	2013年 9月	第31回日本ロボット学会 学術講演会 RSJ2013AC2R2-08	増田寛之, 小林賢一, 伊東圭昌, 名倉英紀, 中山舞美, 林憲玉, 山崎徹	
未知物体把持における直接的な知覚感覚	共著	2013年 9月	第31回日本ロボット学会 学術講演会 RSJ2013AC1I3-05	増田寛之, 牧野慎一郎, 林憲玉	
直立からの跳躍, 着地が可能な一脚ジャンピングロボットの開発	共著	2013年 9月	日本機械学会 2013年度年次大会 G151013	飯島秀樹, 佐山恵亮, 増田寛之, 林憲玉	
自発的な行動を促すためのロボットインタラクション	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会 J165021	増田寛之, 松尾優成, 林憲玉	
超小型電気自動車のためのチューブラーフレーム設計と解析	共著	2013年 9月	日本機械学会2013年度年次大会 G101064	藤波直希, 増田寛之, 林憲玉, 高山英一	

骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第3報:板ばねを用いた弾性可変機構を持つ回転関節脚)	共著	2013年 9月	日本ロボット学会第31回 記念学術講演会 1C1-02	瓜生和寛, 大谷拓也, 八原昌亨, 飯塚晃弘, 濱元伸也, デステ フ マチュー, 橋本健二, 保原浩 明, 阪口正律, 川上泰雄, 林憲 玉, 高西淳夫	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第3報:板ばねを用いた弾性可変機構を持つ回転関節脚)	共著	2013年 9月	日本ロボット学会第31回 記念学術講演会 1C1-02	瓜生和寛, 大谷拓也, 八原昌亨, 飯塚晃弘, 濱元伸也, デステ フ マチュー, 橋本健二, 保原浩 明, 阪口正律, 川上泰雄, 林憲 玉, 高西淳夫	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第4報:骨盤回旋運動を利用した走行制御)	共著	2013年 9月	日本ロボット学会第31回 記念学術講演会 1C1-03	大谷拓也, 飯塚晃弘, 八原昌亨, 瓜生和寛, 橋本健二, 林憲玉, 高西淳夫	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第4報:骨盤回旋運動を利用した走行制御)	共著	2013年 9月	日本ロボット学会第31回 記念学術講演会 1C1-03	大谷拓也, 飯塚晃弘, 八原昌亨, 瓜生和寛, 橋本健二, 林憲玉, 高西淳夫	
4.1kgのペイロードを 搭載可能な4ロータフ ライングロボットの開 発	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 2A1-F01	佐藤瑞樹, 吉澤俊, 林憲玉	
Saliency Mapを用いた 複雑背景における物体 検出手法の開発	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 1P1-U03	田村泰人, 増田寛之, 林憲玉	
人の視知覚に基づく簡 略型面検出による物体 検出	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 1P1-U06	牧野慎一郎, 増田寛之, 林憲玉	

人工筋肉を用いたジャンピングロボットの開発	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics P3A1-E07	飯島秀樹, 小室勇貴, 酒井慶次郎, 林憲玉, 高西淳夫	
受動的な衝撃緩和機構を搭載した人間共存型ロボットの腰部の開発	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 3A1-H05	松本晃希, 小野慶昭, 林憲玉	
安全性と軽量化の両立を目指した超小型モビリティの設計と解析	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 2A2-A06	金井一郎太, 藤波直希, 増田寛之, 林憲玉	
管内環境認識が可能な管直径対応型移動ロボットの開発	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 2A1-D08	小野慶昭, 佐藤要, 杉本信也, 林憲玉	
腱駆動機構を用いたヒューマノイドロボットハンドの開発	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 3P1-E07	鴨川雄樹, 桑原陽平, 林憲玉	
超小型電気自動車の走行安定を目指した姿勢制御	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics 2A1-E08	藤波直希, 相馬史典, 増田寛之, 林憲玉	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第5報:人間の骨盤動揺と多関節脚の関節弾性を模擬した跳躍ロボット)	共著	2014年 5月	日本IFTtoMM会議シンポジウム前刷集(第20回) pp. 36-41	大谷拓也, 八原昌亨, 瓜生和寛, 飯塚晃弘, 濱元伸也, 宮前俊介, 橋本健二, 阪口正律, 川上泰雄, 林憲玉, 高西淳夫	

PSOを用いた3次元面検出による未知物体の検出	共著	2014年 9月	30th Fuzzy System Symposium (FSS2014) TA2-4	牧野慎一郎, 増田寛之, 林憲玉	
ヒト足部の機械的特性を模擬した着靴可能な足部機構の開発	共著	2014年 9月	第32回日本ロボット学会 学術講演会予稿集 1M3-05	橋本健二, 本橋弘光, 吉村勇希, 林憲玉, 高西淳夫	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第6報: 走行運動を目指した腰部関節の強度強化)	共著	2014年 9月	第32回日本ロボット学会 学術講演会予稿集 1B1-01	宮前俊介, 大谷拓也, 飯塚晃弘, 濱元伸也, 八原昌亨, 橋本健二, 阪口正律, 川上泰雄, 林憲玉, 高西淳夫	
骨盤運動に着目した2足走行ロボットの開発 (第7報: 着地時間推定を用いた連続跳躍の実現)	共著	2014年 9月	第32回日本ロボット学会 学術講演会予稿集 1B1-02	大谷拓也, 飯塚晃弘, 宮前俊介, 濱元伸也, 八原昌亨, 橋本健二, 林憲玉, 高西淳夫	
III 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1999年 3月～現在に至る		IEEE(国内学会)会員			
1999年 3月～現在に至る		日本ロボット学会(国内学会)会員			
1999年 3月～現在に至る		日本機械学会(国内学会)会員			
1999年 3月～現在に至る		計測自動制御学会(国内学会)会員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 エンターテイメントロボットの研究			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 ヒューマノイドロボットの研究			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 医療、福祉システムの研究			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 対人安全性に関する研究			
2009年 3月～2011年 3月		工学院大学外部評価委員(国内学会)外部評価委員			
2010年 1月～現在に至る		International Journal of Humanoid Robotics(国際学会)Associate Editor			
2010年 1月～現在に至る		International Journal of Humanoid Robotics(国際学会)Associate Editor			
2010年 1月～現在に至る		Marquis Who's Who in the World(国際学会)Registered			
2011年 1月～現在に至る		Marquis Who's Who in Science and Engineering(国際学会)Registered			
2011年 4月～2013年 3月		日本機械学会関東支部(国内学会) 商議員			
2012年 4月～現在に至る		ISRN Robotics(国際学会)Editor			
2012年 4月～現在に至る		ISRN Robotics(国際学会)Editor			
2012年 4月～2014年 3月		その他の補助金・助成金 (神奈川大学)6,000,000円 人・環境にやさしい機微な材料でのロボット開発 (研究分担者)			
2012年 4月～2013年 3月		その他の補助金・助成金 (高山自動車)500,000円 次世代小型電気自動車システムの研究開発 (研究代表者)			

2012年 4月～2015年 3月	科学研究費補助金 20,000,000円 「基盤研究（B）」三次元歩行解析に基づく2足歩行ロボットの運動制御系モデル構築と福祉用具の定量評価, 基盤研究（B）（研究分担者）
2012年 7月～2012年 7月	テクノトランスファー in かわさき 2012
2012年10月～2012年10月	ロボット・イノベーション2012
2013年 4月～2015年 3月	その他の補助金・助成金（神奈川大学）6,000,000円 小型電気自動車のためのCFRPボディと車両制御の融合技術開発（研究代表者）
2013年11月～2013年11月	INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2013
2014年 5月～現在に至る	関東工学教育協会(国内学会)会員
2014年 5月～現在に至る	関東工学教育協会(国内学会)理事

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 特別助手	氏名 加藤木 秀章		大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Mechanical Properties of Carbon Fiber Reinforced Plastics under Hot-wet Environment	共著	2010年12月	Key Engineering Materials Vols. 462-463, pp. 207-21 2	Hideaki Katogi, Kenichi Takemura and Yoshinobu Shimamura	
一方向ジュート繊維強 化PLAの疲労特性とそ の疲労機構	共著	2011年11月	複合材料学会誌	加藤木秀章、島村佳伸、東郷敬 一郎、藤井朋之	

Fatigue Behavior of Unidirectional Jute Spun Yarn Reinforced PLA (査読付)	共著	2012年 1月	Advanced Composite Materials 21(1)	Hideaki Katogi, Yoshinobu shimamura, Keiichiro Tohgo and Tomoyuki Fujii	1-10頁
Effect of Treatment Using Silane Coupling Agent on Creep Properties of Jute Fiber Reinforced Composites (査読付)	共著	2012年 6月	WIT Transactions on the Built Environment 124	Kenichi Takemura, Yohei Takada and Hideaki Katogi	417-424頁
Effects of Microfibrillated Cellulose Addition and Water Absorption on Mechanical Properties of Jute/PLA Composites (査読付)	共著	2012年 6月	WIT Transactions on the Built Environment 124	Kenichi Takemura, Shunsuke Takai and Hideaki Katogi	387-394頁
Effect of Surface Treatment on Creep Property of Jute Fiber Reinforced Green Composite under Environmental Temperature (査読付)	共著	2012年11月	Key Engineering Materials 525-526	K. Takemura, S. Miyamoto and H. Katogi	53-56頁
Interfacial Shear Strength of Carbon Fiber Reinforced Polypropylene (査読付)	共著	2012年11月	Key Engineering Materials 525-526	K. Takemura and H. Katogi	49-52頁
一方向ジュート紡績糸強化生分解性樹脂の疲労特性に及ぼすマトリックスの影響 (査読付)	共著	2013年 1月	日本複合材料学会誌 39(1)	加藤木秀章, 島村佳伸, 東郷敬一郎, 藤井朋之, 竹村兼一	24-30頁

Effect of Carbon Milled Addition on Interlaminar Fracture Toughness of Carbon Fiber Reinforced Plastics (査読付)	共著	2013年 9月	Key Engineering Materials 577-578	H. Katogi and K. Takemura	73-76頁
Effect of Crystallinity on Mechanical Properties of Carbon Fiber Reinforced Polypropylene (査読付)	共著	2013年 9月	Key Engineering Materials 577-578	H. Katogi and K. Takemura	77-80頁
The effect of crystallinity on the mechanical properties of plain woven carbon reinforced composites using polypropylene (査読付)	共著	2014年 6月	WIT Transaction on the Built Environment 128	H. Katogi and K. Takemura	9頁
The mode I interlaminar fracture toughness of carbon fiber/epoxy resin composite with freezing after water absorption (査読付)	共著	2014年 6月	WIT Transaction on the Built Environmen 128	H. Katogi and K. Takemura	8頁
その他					



一方向ジュート紡績糸 プリフォームを用いた ジュート紡績糸/PLA複 合材料の製作とその疲 労特性	共著	2010年 6月	第21回プラスチック成形 加工学会年次大会講演論 文集 pp. 217-218、東京	加藤木秀章、島村佳伸、東郷敬 一郎、藤井朋之	
(国際会議) Mechanical Properties of Carbon Fiber Reinforced Plastics under Hot-Wet Environment	共著	2010年 6月	8th International Conference on Fracture&Strength of Solids 2010 A050 (CD-ROM), Kuala lumpur, Malaysia	Hideaki Katogi, Kenichi Takemura and Yoshinobu Shimamura	
(国際会議) Fatigue Property and Mechanism of Unidirectional Jute Spun Yarn Reinforced PLA	共著	2010年 8月	Proceeding of the Sixth International Workshop on Green Composites pp. 132-134, Gumi, Korea	Hideaki Katogi, Yoshinobu Shimamura, Keiichiro Tohgo and Tomoyuki Fujii	
(国際会議) Fatigue Behavior of Unidirectional Jute Spun Yarn Reinforced PLA	共著	2010年10月	5th International Conference on Fatigue of Composites pp. 300-309, Nanjing, Chi na.	Hideaki Katogi, Yoshinobu Shimamura, Keiichiro Tohgo and Tomoyuki Fujii	
一方向ジュート紡績糸 強化PLAの疲労挙動	共著	2010年11月	日本機械学会 第18回機 械材料・材料加工技術講 演会講演論文集 (CD-ROM )、富山	加藤木秀章、島村佳伸、東郷敬 一郎、藤井朋之	
一方向ジュート紡績糸 強化生分解性樹脂の疲 労特性	共著	2011年 3月	第2回日本複合材料合同 会議講演論文集 (USB) 、東京	加藤木秀章、島村佳伸、東郷敬 一郎、藤井朋之	

(国際会議) Fatigue Behavior of Unidirectional Jute Spun Yarn Reinforced Biodegradable Resin	共著	2011年 8月	18th International Conference of Composite Materials, Jeju Island, Korea	Hideaki Katogi, Yoshinobu Shimamura, Keiichiro Tohgo and Tomoyuki Fujii	
FRP CON-EX 2011受賞のニュース	共著	2011年11月	プラスチック産業資源新聞 平成23年11月15日, 2-3面		
International Symposium on Sustainable Composites-第4回日中グリーンコンポ交流セミナー-報告(査読付)	共著	2012年 3月	日本材料学会誌 61(3)	加藤木秀章, 竹村兼一	316頁
「6th international conference on high performance structure and materials, 15th European conference on composite materials」に参加して	単著	2013年 8月	スズキ財団, 財団ニュース (第39号)		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
2009年 5月～2011年 9月	日本材料学会 学生会員				
2009年 5月～現在に至る	日本材料学会(国内学会)会員				
2009年 5月～2011年 9月	日本複合材料学会 学生会員				
2009年 5月～現在に至る	日本複合材料学会(国内学会)会員				
2009年10月～現在に至る	日本機械学会 正員				
2009年10月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員				
2012年 2月～現在に至る	繊維学会(国内学会)会員				
2012年 4月～2013年 3月	機関内共同研究(神奈川大学共同研究奨励助成)人・環境にやさしい機微な材料でのロボット開発				

2012年 6月～2012年 6月	その他の補助金・助成金（公益財団法人 スズキ財団）290,000円 平成24年度研究者海外研修助成（研究代表者）
2013年 3月～2014年 9月	科学研究費補助金 5,330,000円 「基盤研究(C)」炭素繊維強化プラスチックの超高サイクル疲労の迅速評価手法の開発（研究分担者）
2013年 4月～現在に至る	機関内共同研究（神奈川大学工学研究所共同研究A）小型電気自動車のためのCFRPボディと車両制御の融合技術開発
2013年 6月～2013年12月	国内共同研究（DIC株式会社）炭素繊維強化プラスチックの靱性評価に関する共同研究
2013年10月～現在に至る	マテリアルライフ学会(国内学会)会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科	職名 准教授	氏名 寺島 岳史	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
異なる年次学生間の合同輪講		2013年10月 1日 ～2014年 3月31日	機械工学輪講(3年生)と研究室輪講(4年生)を合同で行った。4年生は教えるために自己努力を、3年生にとっては世代間を越えた縦のつながりを構築することができた。年代的に横の繋がりだけでなく縦の繋がりを得ることができ、相乗的に良い効果が得られた。		
2 作成した教科書、教材					
「工業力学1」の教材、資料作成		2013年 4月 5日 ～2013年 7月 1日	「工業力学1」の教材、資料を作成した。		
「工業力学2」の教材、資料作成		2013年 9月 1日 ～2014年 2月 1日			
「機械材料」の教材、資料作成		2014年 4月 1日 ～2014年 7月 1日			
「機械材料特論」の教材、資料作成		2014年 4月 1日 ～2014年 7月 1日			
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
高大連携特別講義		2014年10月28日 ～2014年10月28日	次世代機械材料「金属ガラス」について特別講義を行った。		
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					

論文					
Composite Coating Containing WC/12Co Cermet-Fe-based Metallic Glass Deposited by High-Velocity Oxygen Fuel Spraying	共著	2010年 4月	Journal of alloys and compounds, Vol.504S	<u>T. Terajima</u> , F. Takeuchi, K. Nakata, S. Adacgu, K. Nakashima, T. Igarashi	S288-S291頁
Laser Direct Joining of Glassy Metal $Zr_{55}Al_{10}Ni_{5}Cu_{30}$ to Engineering Plastic Polyethylene Terephthalate	共著	2010年 6月	Materials Transactions, Vol. 51, No. 8	Y. Kawahito, Y. Niwa, <u>T. Terajima</u> , S. Katayama	1433-1436頁
Cu-based metallic glass surfacemodified with Cu for soldering	共著	2010年11月	International Symposium of Visualization in joining and Welding Science through Advanced Measurements and simulation 2010, Osaka, Japan	<u>T. Terajima</u> , H. Kimura and A. Inoue	
Cu-based metallic glass surfacemodified with Cu for soldering	共著	2010年11月	Transactions of JWRI (Proc. Visual-JW 2010), Vol. 39	<u>T. Terashima</u> , H. Kimura, A. Inoue	310-311頁
Cu-Zr based bulk amorphous alloy surface-metallized with Cu	共著	2011年 3月	The 4th International Workshop on Plasma Application and Hybrid Functionally Materials, Melbourne, Australia	<u>T. Terajima</u> , H. Kimura and A. Inoue	

Cu-Zr based bulk amorphous alloy surface-metallized with Cu	共著	2011年 3月	Frontier of Applied Plasma Technology, Vol. 4, No. 2	T. Terajima, H. Kimura, A. Inoue	103-107頁
結晶金属/金属ガラスクラッド材料の開発と界面の微細構造解析	共著	2011年 3月	6大学連携プロジェクト公開討論会、東京	寺島岳史、木村久道、井上明久	
Cu薄膜溶着Cu-Zr系金属ガラスの開発とはんだぬれ性	共著	2011年 5月	高温学会誌、Vol. 37, No. 3	寺島岳史、木村久道、井上明久	123-128頁
Surface Metallization on Bulk Amorphous Alloy	単著	2011年 6月	Joint Conf. of the 5th int. Conf. on the Science and Technology for Advanced Ceramics (STAC5) and the 2nd Int. Conf. on Advanced Materials Development and Integration of Novel Structured Metallic and Inorganic Materials (AMD112), Yokohama, Japan		
Surface-metallization with Cu on Cu-Zr-based Metallic Glass	単著	2011年 6月	ISMANAM2011, Gijon, Spain		
Development of Cu-clad Metallic Glass for Soldering	単著	2011年 8月	Thermec' 2011, Quebec City, Canada		
Cu-Zr based bulk amorphous alloy surface-metallized with Cu	共著	2011年 9月	Proceedings of 18th Annual Meeting of IAPS International Workshop2011	T. Terajima, H. Kimura, A. Inoue	111-112頁

Development of Surface-metallized Metallic Glass	単著	2011年 9月	The 18th International Symposium on Applied Plasma Science, Hakone, Japan		
Development of Cu-Clad Metallic Glass for Soldering	単著	2011年11月	Materials Science Forum, Vol. 706-709		1343-1347頁
Surface Metallization of Bulk Metallic Glass	単著	2011年11月	Eco-Mates2011, Osaka, Japan		
Cu metallization of the Surface of Cu-Zr-based Metallic Glass	単著	2012年 8月	Journal of Alloys and Compounds, Vol. 563S		113-116頁
次世代機械材料「金属ガラス」の特性と加工	単著	2013年10月	神奈川大学工学研究所 (36)		22-31頁
その他					
Buttwelding of Mg-Cu-Gd Bulk Metallic Glass using a High-brightness Fiber Laser	共著	2010年 6月	Trans. JWRI, Vol. 39. 61-64(2010)	T. Terajima, H. Kimura, A. Inoue	
金属ガラスに対するCu薄膜溶着技術の開発とはんだのぬれ性改善	共著	2010年 9月	日本金属学会2010年秋期大会、札幌	寺島岳史、中田一博、木村久道、井上明久	
Cu/Cu-Zr系金属ガラスクラッド材料の開発	共著	2011年 5月	日本材料学会第60回通常総会、大阪	寺島岳史、木村久道、井上明久	
金属ガラスの接合・加工技術	単著	2011年 7月	高温学会誌、Vol. 37. 166-173 (2011)		
Cuメタライズ金属ガラスの開発	単著	2011年10月	第55回日本学術会議材料工学連合後援会、京都		

Cuメタライズ金属ガラスの開発	単著	2012年 3月	第2回6大学連携連携プロジェクト公開討論会、大阪		
平成23年度高温学会論文賞受賞	共著	2012年 3月			
Cu薄膜溶着Cu-Zr系金属ガラスの開発とはんだぬれ性	共著	2012年 5月	平成24年度スマートプロセス学会春季総合学術講演会、大阪	寺島岳史、木村久道、井上明久	
Cu-Zr系金属ガラスのCuによる表面改質とハンダのぬれ特性	共著	2012年12月	高温学会2010年秋期大会、札幌	寺島岳史、木村久道、井上明久	
次世代機械材料「金属ガラス」	単著	2014年 8月	日本機械学会誌「メカトップ関東」（日本機械学会誌）1148巻付録		8頁

### III 学会等および社会における主な活動

年月	内容
2001年 4月～2014年 3月	高分子学会(国内学会)会員
2002年 4月～現在に至る	応用物理学会(国内学会)会員
2005年 4月～現在に至る	溶接学会(国内学会)会員
2007年 4月～現在に至る	日本金属学会(国内学会)会員
2008年 4月～現在に至る	スマートプロセス学会(国内学会)会員
2008年 4月～現在に至る	日本材料学会(国内学会)会員
2009年 4月～現在に至る	プラズマ応用科学会(国内学会)会員
2010年 4月～2011年 4月	その他の補助金・助成金（（公財）マツダ財団）1,000,000円 「日本助成—科学技術振興関係」 「金属ガラスに対するCu薄膜溶着技術の開発とはんだ接合への応用」（研究代表者）
2010年 4月～2013年 3月	国内共同研究（文科省：特異構造金属・無機融合高機能材料開発プロジェクト）金属ガラスの表面処理による接合性の改善
2010年 4月～2012年 3月	科学研究費補助金 4,020,000円 「2010-2011年度日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究（B）」負膨張材料の複合化による膨張係数がゼロのバルク金属ガラス創製および加工性評価の研究（研究代表者）
2011年 4月～現在に至る	スマートプロセス学会(国内学会)評議員
2011年 4月～2013年 4月	日本材料科学会金属ガラス部門委員会 庶務幹事
2011年 8月～2013年 6月	日本材料学会(国内学会)金属ガラス部門委員会庶務幹事
2011年 9月～現在に至る	スマートプロセス学会 評議委員



2012年 4月～2014年 3月	個人研究 金属ガラスの産業応用
2012年 4月～現在に至る	科学研究費補助金 4,680,000円 「2012-2013年度日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B)」液中アークを用いたアモルファス合金ナノ粒子の合成と触媒への応用の研究 (研究代表者)
2012年 6月～2013年 6月	その他の補助金・助成金 ( (公財) 京都技術科学センター) 1,100,000円 「研究助成」 「液中アークを利用したアモルファス合金ナノ粒子の作製と触媒への展開」 (研究代表者)
2013年 4月～現在に至る	自己紹介、研究内容のweb発信
2014年 3月 7日～現在に至る	日本機械学会メカトップ関東編集委員会 編集委員
2014年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 特別助手	氏名 中村 弘毅		大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
独立成分分析法を用いた 車両振動の解析	共著	2010年 5月	機械学会論文集C編76 (765)、1163-1170	中村弘毅、中野公彦	

Driver Risk Perception and Physiological State During Car-following Experiments Using a Driving Simulator	共著	2010年10月	International Journal of Intelligent Transportation DOI: 10.1007/s13177-010-0019-4 Springer	Hiroki Nakamura, Shigeyuki Yamabe, Kimihiko Nakano, Daisuke Yamaguchi, Yoshihiro Suda	
パラレルファクタ分析法を用いた光ファイバセンサ出力の検出	共著	2012年 5月	日本機械学会論文集 (C編)、 2012-5、 78巻 789号、 1410-1419	中野公彦、大橋壘、岡部洋二、嶋崎守、中村弘毅、渡辺尚子	
その他					
Estimation Method of Vertical Track Irregularity Using Independent Component Analysis Experimental review using an actual bogie.	共著	2010年 8月	10th Motion&Vibration Conference, Tokyo Proceedings CD-ROM	Hiroki Nakamura, Kimihiko Nakano, Masanori Otori	
VIBRATION ANALYSIS OF RAILWAY VEHICLES USING INDEPENDENT COMPONENT ANALYSIS	共著	2010年10月	13th MINI Conference on. VEHICLE SYSTEM DYNAMICS, IDENTIFICATION AND ANOMALIES, Budapest proceedings	Hiroki Nakamura, Kimihiko Nakano, Masanori Otori	
Driver risk perception and physiological state during automatic platooning experiment using a driving simulator	共著	2011年 5月	Korea-Japanese Joint Symposium on Dynamics and Control, 釜山	Hiroki Nakamura, Shigeyuki Yamabe, Kimihiko Nakano, Daisuke Yamaguchi, Yoshihiro Suda	

Estimation of Road Irregularities with vertical acceleration of a car body using Independent Component Analysis	共著	2011年 8月	The 22nd IAVSD Symposium on dynamics of vehicles on roads and tracks, Manchester Proceedings CD-ROM	Hiroki Nakamura, Kimihiko Nakano, Rui Ohashi	
Is Grip Strength Related to Neuromuscular Admittance during Steering Wheel Control?	共著	2011年10月	IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics 2011: Alaska Proceedings USB	Hiroaki Nakamura, David A. Abbink, Mark Mulder	
運転者緊張度とステアリングリップ力の相関に関する考察 (特集 東日本大震災とITS)	共著	2012年 3月	生産研究 64 (2)、269-272、東京大学生産技術研究所	中村弘毅、中野公彦、方芳、鄭仁成、大堀真敬	
力覚支援操舵システムを用いた運転精度の向上に関する考察	共著	2012年 5月	自動車技術会2012年春季大会、横浜 予稿集 269-20125271	中村弘毅、方芳、中野公彦、鄭仁成、大堀真敬、川原禎弘、高木隆史	
路面状態推定のための独立成分分析の応用	共著	2012年 9月	Dynamics and Design Conference 2012, 横浜予稿集USBメモリ	中村弘毅、中野公彦	
ROAD PROFILE ESTIMATION FROM CAR BODY VIBRATION USING INDEPENDENT COMPONENT ANALYSIS	共著	2012年10月	11th Motion&Vibration Conference, Florida (Proceedings CD-ROM)	Hiroki Nakamura, Kimihiko Nakano, Yasuhiro Uchiyama, Shoji Kakiyama	
ステアリングアドミタンス計測による運転者緊張度の推定	共著	2012年10月	自動車技術会2012年秋季大会、大阪予稿集 57-20125639	中村弘毅、中野公彦、鄭仁成、大堀真敬	

ステアリング操作量を用いた運転者の状態推定	共著	2012年12月	第21回交通・物流部門大会講演論文集、No. 12-79	中村弘毅、中野公彦	205-209頁
高速道路合流支援装置利用時の運転者緊張度評価	共著	2012年12月	第11回ITSシンポジウム2012	中村弘毅、中野公彦、萩原武司、大石秀雄、大堀真敬、佐久間皓平	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
2008年 9月～現在に至る		日本機械学会 会員			
2008年 9月～現在に至る		自動車技術会 会員			
2008年 9月～現在に至る		自動車技術会 全日本学生フォーミュラ大会運営スタッフ（通訳・スチュワート）			
2009年 9月～現在に至る		自動車技術会 全日本学生フォーミュラ大会運営スタッフ（通訳・スチュワート）			
2011年 4月～現在に至る		科学研究費補助金 700,000円 「平成23年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金 特別研究員奨励賞）」人と機械の統合的な状態監視に関する研究（研究代表者）			
2011年 9月～現在に至る		自動車技術会 全日本学生フォーミュラ大会運営スタッフ（通訳・スチュワート）			
2012年 4月～現在に至る		科学研究費補助金 600,000円 「平成24年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金 特別研究員奨励賞）」人と機械の統合的な状態監視に関する研究（研究代表者）			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 准教授	氏名 伊東 弘行		大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Phenomena in Oscillating Downward Propagating Flames Induced by External Laser Irradiation	共著	2010年 5月	Experimental Thermal and Fluid Science, Vol. 34, Issue8	J. S. Park, O. Fujita, T. Honko. Y. Yamada, <u>H. Ito</u> , Y. Nakamura	1290-1294頁

Ignition of Electrical Cable Insulation with Short-term Excess Electric Current in Microgravity	共著	2011年	Proc. Combustion Institute Vol. 33, Issue1	O. Fujita, T. Kyono, Y. Kido, <u>H. Ito</u> , Y. Nakamura	2617-2623頁
Transition of Flat Flames to Turbulent Motion Induced by External Laser Irradiation	共著	2011年	Proc. Combustion Institute Vol. 33, Issue1	J. S. Park, O. Fujita, Y. Nakamura, <u>H. Ito</u>	1105-1112頁
Observation of Flame Spreading over Electric Wire under Reduced Gravity Condition Given by Parabolic Flight and Drop Tower Experiments	共著	2011年 2月	Trans. JSASS Space Tech. Japan Vol. 8, Issue27	O. Onishi, O. Fujita, K. Agata, H. Takeuchi, Y. Nakamura, <u>H. Ito</u> , M. Kikuchi	19-24頁
Ignition Behavior of Bio-coke (Highly Densified Biomass Fuel) in High-Temperature Air Flows	共著	2011年 3月	Journal of Thermal Science and Technology, Vol. 6, No. 1	<u>H. Ito</u> , Y. Sakai, T. Ida, Y. Nakamura, O. Fujita	111-122頁
高圧縮固体バイオマス燃料の燃焼利用 : Combustion of Highly Densified Solid Biomass Fuel	共著	2011年 5月	日本燃焼学会誌、第153巻、164号	伊東弘行、酒井雄人、井田民男、藤田修	1-6頁
固体バイオマスの燃焼研究 - 高圧縮バイオマスブリケットの燃焼特性 - (査読付)	共著	2012年 3月	日本スマートプロセス学会誌 1(2)		36-43頁

固体バイオマス燃料の 燃焼利用：Combustion of Highly Densified Solid Biomass Fuel	共著	2012年 3月	日本スマートプロセス学 会誌、第1巻 第2号	伊東弘行、酒井雄人、中原毅朗 、井田民男、藤田修	36-43頁
Ignition Limit of Short-term Overloaded Electric Wire in Microgravity	共著	2012年 7月	Proc. Combustion Institute Vol.34	Y. Takano, O. Fujita, N. Shigeta, Y .Nakamura, <u>H. Ito</u>	
Study on Unsteady Molten Insulation Volume Change during Flame Spreading over Wire Insulation in Microgravity	共著	2012年 7月	Proc. Combustion Institute Vol.34	S. Takahashi, H. Takeuchi, <u>H. Ito</u> , Y. Nakamura, O. Fujita	
Investigation of Applying DC Electric Field Effect on Carbon Nanotube Synthesis	共著	2012年10月	Asia-Pacific Journal of Chemical Engineering, 10. 1002/apj, 1687	K. Masunaga, <u>H. Ito</u> , O. Fujita	
Ignition Limit of Short-term Overloaded Electric Wire in Microgravity (査読付)	共著	2013年 1月	Proceedings of the Combustion Institute 34(2)		2665-2673頁
Study on Unsteady Molten Insulation Volume Change during Flame Spreading over Wire Insulation in Microgravity (査読付 )	共著	2013年 1月	Proceedings of the Combustion Institute 34(2)		2657-2664頁
Investigation of Applying DC Electric Field Effect on Carbon Nanotube Synthesis (査読付)	共著	2013年 3月	Asia-Pacific Journal of Chemical Engineering 8(2)		246-253頁



Extinction Limits of Spreading Flames over Wires in Microgravity (査読付)	共著	2013年 4月	Combustion and Flame Vol.160 (Issue9)		1900-1902頁
Extinction Limits of Spreading Flames over Wires in Microgravity (査読付)	共著	2013年 4月	Combustion and Flame 160 (9)		1900-1902頁
高密度バイオマスブリケットの着火燃焼特性 ～バイオマスのエネルギー利用に向けて～	共著	2013年11月	神奈川大学工学研究所 所報 36		16-21頁
Interaction Between Propagation Speed and Flame Structure in Downward Cellular Propagating Flame in a Combustion Tube with CO2 Laser Irradiation (査読付)	共著	2014年10月	Combustion Science and Technology 186		1434-1446頁
Study on One-dimensional Steady Combustion of Highly Desulfurized Biomass Briquette (Bio-coke) in Air Flow (査読付)	共著	2015年 1月	Proceedings of the Combustion Institute 35 (2)		2415-2422頁
その他					
Study of Flame Spread of Electric Wires	共著	2010年 4月	Sixth International Seminar on Fire and Explosion Hazards Leeds 2010	Y. Nakamura, K. Azumaya, K. Wakatsuki, <u>H. Ito</u> , O. Fujita	38-2頁

低圧環境下における電気ケーブル延焼現象に関するモデリング	共著	2010年 5月	平成22年度日本火災学会研究発表会概要集	中村祐二、東谷圭祐、若月薫、巖上純也、伊藤弘行、藤田修	84-85頁
微小重力場における電線被覆燃え拡がり現象に与える輻射影響の検討	共著	2010年 5月	平成22年度日本火災学会研究発表会概要集	竹内広行、大西陽介、藤田修、中村祐二、伊藤弘行、菊池政雄	81-81頁
溶融重力場の電線被覆材の挙動の非定常性についての考察	共著	2010年 5月	平成22年度日本火災学会研究発表会概要集	巖上純也、中村祐二、東谷圭祐、若月薫、伊藤弘行、藤田修	82-83頁
電線被覆の短時間過電流着火現象に要する最小着火エネルギー	共著	2010年 5月	平成22年度日本火災学会研究発表会概要集	藤田修、京野嵩、城戸泰裕、中村祐二、伊藤弘行	78-79頁
高温空気流中におけるバイオコークス燃料の着火挙動	共著	2010年 5月	平成22年度高温学会 春季総合学術講演会	伊東弘行、酒井雄人、藤田修、中村祐二、井田民男	25-26頁
(特許) カーボンナノチューブ燃料生成方法	共著	2010年 6月	特願2008-302024		
カーボンナノチューブ生成への直流電場付与の効果	共著	2010年 9月	機械学会2010年度年次大会講演論文集V01.3	増永広太、大西暁、伊東弘行、中村祐二、藤田修	209-210頁
電線被覆材ポリエチレンの燃焼量に対する周囲雰囲気圧力変化の影響	共著	2010年10月	熱工学カンファレンス2010講演論文集No. 10-25	巖上純也、中村祐二、若月薫、伊東弘行、藤田修	93-94頁
高温空気流中に置かれたバイオコークス燃料の着火および燃焼挙動	共著	2010年10月	熱工学カンファレンス2010講演論文集No. 10-25	伊東弘行、酒井雄人、藤田修、中村祐二、井田民男	319-320頁
Minimum Ignition Energy of Overloaded Electric Wire in Microgravity	共著	2010年11月	8th Japan-Chine-Korea Workshop on Microgravity Sciences for Asian Microgravity Pre-Symposium	O. Fujita, T. Kyono, H. Ito, Y. Nakamura	11頁

Novel approach of space fire research:utilizing low pressure to simulate flame spreading in reduced gravity	共著	2010年11月	8th Japan-China-Korea Workshop on Microgravity Sciences for Asian Microgravity Pre-Symposium	J. Isakami, Y. Nakamura, K. Wakatsuki, <u>H. Ito</u> , O. Fujita	16頁
単層カーボンナノチューブ燃焼合成法への電場付与の効果	共著	2010年11月	機械学会北海道支部第49回講演会	大西堯、増永広太、藤田修、中村祐二、 <u>伊東弘行</u>	67-68頁
An active induction of transition from hydrodynamic to primary acoustic instability by CO2 laser irradiation method	共著	2010年12月	Proc. 10th Asia-Pacific Conference on Combustion (10th ASPACC)	J. S. Park, O. Fujita, <u>H. Ito</u> , Y. Nakamura	230-235頁
カーボンナノチューブ生成に対する直流電場付与の効果ー触媒活性向上効果に関する考察ー	共著	2010年12月	第48回燃焼シンポジウム講演論文集	増永広太、大西暁、 <u>伊東弘行</u> 、中村祐二、藤田修	120-121頁
加熱条件がバイオコーキスの熱分解ガス特性に及ぼす影響	共著	2010年12月	第48回燃焼シンポジウム講演論文集	酒井雄人、藤田修、 <u>伊東弘行</u> 、中村祐二、井田民男、若月薫	44-45頁
微小重力場における導線被覆上燃え拡がり火炎中の熔融被覆材形状の非定常性に及ぼす周囲空気流速の影響	共著	2010年12月	第48回燃焼シンポジウム講演論文集	竹内広行、大西陽介、藤田修、中村祐二、 <u>伊東弘行</u> 、菊池政雄	530-531頁
微小重力場における電線被覆の短時間通電後着火現象に関する検討	共著	2010年12月	第48回燃焼シンポジウム講演論文集	高納義和、藤田修、京野嵩、中村祐二、 <u>伊東弘行</u>	532-533頁

Combustion of Bio-coke (Highly Densified Biomass Fuel) Block in High-temperature Air Flow	共著	2011年 3月	Pric. ASME/JSME 8th Thermal Engineering Joint Conference (AJTE2011), AJTEC2011-44145, on CD	H. Ito, Y. Sakai, T. Ida, Y. Nakamura, O. Fujita	
バイオコークス燃料の熱分解ガス放出特性に関する検討	共著	2011年 9月	機械学会2011年度年次大会講演論文集、on CD (G060034)	伊東弘行、酒井雄人、井田民男、若月薫、藤田修	
Ignition Limit of Overloaded Electric Wire in Microgravity	共著	2011年10月	5th IAASS (International Association for the Advancement of Space Safety) Conference, on CD (SP-699)	Y. Takano, O. Fujita, H. Ito, Y. Nakamura	
バイオコークス燃料の加熱にともなうガス放出挙動に関する検討	共著	2011年10月	熱工学カンファレンス 2011講演論文集	伊東弘行、酒井雄人、井田民男、若月薫、藤田修	383-384頁
カーボンナノチューブ生成プロセスにおける直流電場付与の金属触媒への影響	共著	2011年12月	第49回燃焼シンポジウム講演論文集	増永広太、大西暁、伊東弘行、中村祐二、藤田修	448-449頁
レーザー照射による曲率を与えた予混合火炎の非定常変形挙動に関する研究	共著	2011年12月	第49回燃焼シンポジウム講演論文集	高木一成、J. S. Park, 伊東弘行、中村祐二、藤田修	24-25頁
一様空气中に置かれたバイオコークス端面燃焼の観察	共著	2011年12月	第49回燃焼シンポジウム講演論文集	中原毅朗、伊東弘行、井田民男、藤田修	476-477頁
微小重力場における電線の過電流による着火の下限酸素濃度に関する実験的研究	共著	2011年12月	第49回燃焼シンポジウム講演論文集	重田尚樹、高納義和、V. Jajoo, 伊東弘行、藤田修	274-275頁

微小重力場における電線の過電流による着火の限界条件に関する数値的研究	共著	2011年12月	第49回燃焼シンポジウム講演論文集	高納義和、重田尚樹、中村祐二、伊東弘行、藤田修	276-277頁
Effects of DC Electric Field on Catalytic Activity in Carbon Nanotube Synthesis	共著	2012年 1月	The 14th Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCCHE2012), 228 (On USB)	K. Masunaga, A. Onishi, <u>H. Ito</u> , O. Fujita	
バイオコークスブロックの着火および燃焼に関する検討	共著	2012年 1月	第7回バイオマス科学会議発表論文集	伊東弘行、中原毅朗、酒井雄人、井田民男、藤田修	150-151頁
Study on Opposed Flow Flame Spread over Polyethelene Insulated Wire in Microgravity-Behavior of Molten Insulation in Flames-	共著	2012年 3月	8th JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference, GST04-4 (On USB)	S. Takahashi, H. Takeuchi, <u>H. Ito</u> , Y. Nakamura, O. Fujita	
(特許) 成型固体バイオマス燃料の燃焼装置	共著	2012年 9月	特願2011-027133		
セルローズ熱分解における非平衡Arプラズマ供給の影響	共著	2012年11月	熱工学カンファレンス2012講演論文集	伊東弘行、根生航、神原信志、藤田修	477-478頁
微小重力場における電線被覆の過電流連続通電による着火限界	共著	2012年11月	第26回日本マイクログラフィティ応用学会講演会(九州)講演論文集21A02	重田尚樹、伊東弘行、藤田修	

Transient Deformation of Downwards Propagating Cellular Structure Flame in a Combustion Tube with External Laser Irradiation	共著	2012年12月	第50回燃焼シンポジウム 論文集	K. Aguilara, Y. Taniyama, <u>H. Ito</u> , O. Fujita	214-215頁
一様空気流中に置かれたバイオークス端面燃焼の定常性に関する検討	共著	2012年12月	第50回燃焼シンポジウム 講演論文集	中原毅朗、 <u>伊東弘行</u> 、藤田修	108-109頁
外部レーザ加熱を伴う管内下方伝播火炎に対する音響振動の影響	共著	2012年12月	第50回燃焼シンポジウム 講演論文集	谷山由和、 <u>伊東弘行</u> 、藤田修	116-117頁
微小重力場における電線被覆上燃え広がり火炎の消炎限界を支配する因子	共著	2012年12月	第50回燃焼シンポジウム 講演論文集	高橋修平、 <u>伊東弘行</u> 、中村祐二、藤田修	284-285頁
微小重力環境における噴流拡散火炎からの輻射とすす生成に関する研究	共著	2012年12月	第50回燃焼シンポジウム 講演論文集	七澤治彦、篠塚秀和、 <u>伊東弘行</u> 、藤田修	280-281頁
微小重力下で電線被覆上を燃え広がる火炎の消炎限界に被覆厚さが与える影響	共著	2013年 2月	「第10回HASTIC学術講演会」兼「第22回短時間無重力利用に関する講演会」講演論文集		7-8頁

Competition between Buoyancy Effects and Propagation Speed on Flame Structure in Downward Cellular Propagating Flame in a Combustion Tube with Time Controlled CO2 Laser Irradiation (査読付)	共著	2013年 5月	Proc. 9th Asia-Pacific Conference on Combustion (9th ASPACC)		187頁
固体バイオマスの燃焼研究－高圧縮バイオマスブリケットの燃焼特性－ 平成25年度 スマートプロセス学会 春季総合学術講演会		2013年 5月	(大阪大学)		
リチウムイオン電池用電解液燃焼における消炎現象の観察	共著	2013年 6月	平成25年度日本火災学会研究発表会概要集		164-165頁
Effect of Conductor on Spreading Flames over Wire in Microgravity	共著	2013年 7月	43rd International Conference on Environmental Systems		AIAA 2013-3388. 頁
Ignition limit of electric wire insulation with continuous excess current in several microgravity periods	共著	2013年 7月	43rd International Conference on Environmental Systems		AIAA 2013-3387. 頁

Interaction between Propagation Speed and Flame Structure in Downward Cellular Propagating Flame in a Combustion Tube with CO2 Laser Irradiation (査読付)	共著	2013年 7月	24th International Colloquium on the Dynamics of Explosions and Reactive Systems (ICDERS2013)		No.132 on CD頁
セルロース熱分解への非平衡プラズマ供給条件の影響	共著	2013年10月	熱工学カンファレンス 2013講演論文集		61-62頁
低温域におけるセルロース熱分解への非平衡 Arプラズマ供給の影響	共著	2014年11月	熱工学カンファレンス 2014講演論文集 F212 on USB.		
木質バイオマスプリケット加熱における熱拡散への密度および水分の影響	共著	2014年11月	熱工学カンファレンス 2014講演論文集 I142 on USB.		
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1985年 4月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員				
2003年 4月～現在に至る	日本燃焼学会(国内学会)会員				
2005年 4月～現在に至る	ASPACC 論文校閲委員				
2006年 4月～現在に至る	科学研究費補助金 8,970,000円 「科学研究費補助金基盤研究 (B) (一般)」レーザー加熱法を用いた火炎面曲率制御による火災不安定現象の研究 (研究分担者)				
2007年 5月～現在に至る	Editor in Fire Research Section, Progress in Scale Modeling, International Committee of Scale Modeling				
2008年 1月～現在に至る	Combustion Institute 論文校閲委員				
2008年 4月～2011年 3月	科学研究費補助金 4,350,000円 「平成20年度科学研究費補助金基盤研究 (C)」火炎プラズマを用いたカーボンナノチューブ生成促進メカニズムの解明 (研究代表者)				
2008年 7月～現在に至る	財団法人スズキ財団研究者海外研修助成金260千円 海外研修 (国際燃焼シンポジウム出席)				
2010年 1月～現在に至る	Combustion Institute 論文校閲委員				
2010年 4月～2011年 3月	国内共同研究 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙環境利用科学委員会研究チーム公募)450,000円 微小重力環境を利用した材料気相合成・気相燃焼研究チーム				
2011年 4月～2014年 3月	科学研究費補助金 4,550,000円 「平成23年度科学研究費補助金基盤研究 (C)」非平衡プラズマを利用したバイオマス由来軽質石油代替材料の選択的合成に関する研究 (研究代表者)				



2011年11月～現在に至る	日本エネルギー学会(国内学会)バイオマス部門会員
2012年 1月～現在に至る	Combustion Institute 論文校閲委員
2012年 4月～2013年 3月	JAXA宇宙環境利用科学委員会研究チーム(気相燃焼および材料気相合成) 幹事
2012年 4月～2013年 3月	JAXA宇宙環境利用科学委員会研究チーム(気相燃焼および材料気相合成) 幹事
2012年 4月～2013年 3月	国内共同研究(独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙環境利用科学委員会研究チーム公募)200,000円 微小重力環境を利用した気相燃焼および材料気相合成研究チーム
2012年 4月～2013年 3月	日本機械学会 論文校閲委員
2012年 4月～2014年 3月	日本機械学会 論文校閲委員
2012年 6月～現在に至る	Asia-Pacific Journal of Chemical Engineering Reviewer
2013年 4月～2014年 4月	JAXA宇宙環境利用科学委員会研究チーム(気相燃焼および材料気相合成) 幹事
2014年 1月～現在に至る	Combustion Institute 論文校閲委員
2014年 2月～現在に至る	日本設計工学会(国内学会)会員
2014年 3月～現在に至る	日本機械学会 関東支部神奈川ブロック第21期商議員
2014年 3月～2015年 2月	日本機械学会関東支部神奈川ブロック 第21期商議員
2014年 4月～現在に至る	科学研究費補助金 3,200,000円 「平成26年度 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)」圧密化固体バイオマス燃料の新規燃焼利用方式の開発(研究代表者)

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 特別助教	氏名 船見 祐揮		大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Hybrid Rocket Performance Prediction with Coupling Method of CFD and Thermal Conduction Calculation	共著	2012年 8月	Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan, Vol.10, No.ists28, pp.Pa_71-Pa_76.	Y. Funami, T. Shimada.	

Validation of Integral Method for Numerical Prediction of Hybrid Rocket Internal Ballistics	共著	2013年 7月	Journal of Fluid Science and Technology, Vol.8, No.2, pp.172-185.	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	
Numerical Evaluation of Hybrid Rocket Internal Ballistics with Thermal Radiation Effect	共著	2014年 5月	Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan, Vol.12, No. ists29, pp.Pa_21-Pa_30.	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	
その他					
LES Model of Flow and Combustion in Hybrid Rocket Engine	共著	2010年 5月	Space Propulsion 2010	K. Ishiko, <u>Y. Funami</u> , T. Shimada, V. Novozhilov, C. Byrne.	
Regression Modeling of Paraffin-Based Hybrid Rocket Fuels for Internal Ballistics Simulation	共著	2010年 7月	46th AIAA/ASME /SAE/ASEE Joint Propulsion Conference & Exhibit	<u>Y. Funami</u> , V. Novozhilov, I. Nakagawa, T. Shimada.	
Combustion Flow Simulation with the Melt Layer Effect of Paraffin-Based Fuel	共著	2010年11月	7th International Conference on Flow Dynamics	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	
IAC2010派遣体験記	単著	2010年11月	A Publication of Japanese Rocket Society, Rocket News, No. 543, pp.3-4.		
パラフィン系燃料における溶融層の効果を考慮した境界層燃焼の数値解析	共著	2010年11月	第54回宇宙科学技術連合講演会	<u>船見祐揮</u> , 嶋田徹.	

空と宇宙展、国立科学博物館にて開催	単著	2010年12月	A Publication of Japanese Rocket Society, Rocket News, No. 544, pp.3-4.		
ハイブリッドロケット内部弾道特性評価技術の発展経緯と課題	共著	2011年 1月	平成22年度宇宙輸送シンポジウム	船見祐揮, 嶋田徹.	
火炎からの熱フィードバックを考慮した境界層燃焼の数値シミュレーション	共著	2011年 3月	第51回航空原動機・宇宙推進講演会	船見祐揮, 嶋田徹.	
Challenges of Next-Generation Hybrid Rockets	共著	2011年 6月	28th International Symposium on Space Technology and Science	T. Shimada, K. Kitagawa, K. Ishiko, M. Motoe, <u>Y. Funami</u>	
Hybrid Rocket Performance Prediction with Coupling Method of CFD and Thermal Conduction Calculation	単著	2011年 6月	28th International Symposium on Space Technology and Science		
第28回宇宙技術および科学の国際シンポジウム沖縄大会開催	単著	2011年 6月	A Publication of Japanese Rocket Society, Rocket News, No. 550, p.2.		
Challenges in Evaluating Internal Ballistics of Hybrid Rocket Engine	共著	2011年 7月	4th European Conference for Aerospace Sciences	T. Shimada, K. Ishiko, M. Motoe, <u>Y. Funami</u> , V. Novozhilov.	
Some Issues on Hybrid Rocket Internal Ballistics Evaluation	共著	2011年11月	8th International Conference on Flow Dynamics	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	

ハイブリッドロケットの内部弾道特性評価における課題	共著	2011年11月	第55回宇宙科学技術連合講演会	嶋田徹, 石向桂一, 本江幹朗, 船見祐揮, V. Novozhilov.	
一次元解析モデルによるハイブリッドロケットの後退速度・圧力履歴の予測	共著	2012年 1月	平成23年度宇宙輸送シンポジウム	船見祐揮, 嶋田徹.	
On Assessment of Numerical Methods for Diffusion-Combustion Flow with Fast Chemistry	共著	2012年 7月	ICNPAA 2012 World Congress: 9th International Conference on Mathematical Problems in Engineering, Aerospace and Sciences	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	
Validation with Experiments on Simplified Numerical Prediction of Hybrid Rocket Internal Ballistics	共著	2012年 7月	ICNPAA 2012 World Congress: 9th International Conference on Mathematical Problems in Engineering, Aerospace and Sciences	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	
Validation of Integral Method for Numerical Prediction of Hybrid Rocket Internal Ballistics	共著	2012年 9月	9th International Conference on Flow Dynamics	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	
29th ISTS 参加報告	単著	2013年 6月	A Publication of Japanese Rocket Society, Rocket News, No. 574, pp. 2-3.		

Numerical Evaluation of Hybrid Rocket Internal Ballistics with Thermal Radiation Effect	共著	2013年 6月	29th International Symposium on Space Technology and Science	<u>Y. Funami</u> , T. Shimada.	
ハイブリッドロケット内部弾道特性評価のための熱・流体モデル	共著	2013年10月	第57回宇宙科学技術連合講演会	<u>船見祐揮</u> , 嶋田徹.	
Combined Analysis of Reactive Flow and Heat Transfer for Hybrid Rocket Design Engineering	共著	2014年 7月	AIAA Propulsion and Energy Forum and Exposition 2014	<u>Yuki Funami</u> , Toru Shimada	
III 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
2009年 4月～現在に至る		日本航空宇宙学会(国内学会)会員			
2009年 4月～2011年 3月		日本航空宇宙学会 会誌編集委員会 学生編集委員			
2010年 6月～現在に至る		アメリカ航空宇宙学会(国際学会)会員			
2010年10月～現在に至る		日本ロケット協会(国内学会)会員			
2011年12月～現在に至る		日本燃焼学会(国内学会)会員			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科	職名 特別助教	氏名 梅本 和希	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Operator-based Non-linear Control System Design for Unstable Plants with Input Saturation	共著	2011年 3月	International Journal of Advanced Mechatronic Systems, Vol. 3 (NO. 4)	Kazuki Umemoto, Mingcong Deng	297-303, 2011頁

Tracking Control and Error Analysis for Nonlinear Plants using Robust Right Coprime Factorization	共著	2013年10月	International Journal of Advanced Mechatronic Systems	Kazuki Umemoto, Mingcong Deng and Fumitoshi Matsuno	
スライディングモード制御によるマルチロータ型UAVのロバスト追従制御 (査読付)	共著	2014年 2月	計測自動制御学会論文集 50(2)	梅本 和希, 池田 拓也, 松野 文俊	170-176頁
その他					
Nonlinear Control System Design for Unstable Plants with Input Saturation using Robust Right Coprime Factorization	共著	2010年 7月	International Conference on Modelling, Identification and Control,	kazuki Umemoto, Mingcong Deng	310-315, 2010頁
Control System Design for Nonlinear Plants based on Generalized H. S. Black Formula using Robust Right Coprime Factorization	共著	2012年 9月	International Conference on Advanced Mechatronic Systems	kazuki Umemoto, Fumitoshi Matsuno, Mingcong Deng	24-29, 2012頁
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
2012年 1月～現在に至る	計測自動制御学会(国内学会)会員				
2013年 1月～現在に至る	計測自動制御学会				
2014年 5月～現在に至る	IEEE(国際学会)会員				
2014年 5月～現在に至る	システム制御情報学会(国内学会)会員				



教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
工学部機械工学科	准教授	高野 敦			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
卒業研究におけるハイブリッドロケット設計・製作・打ち上げ指導によるものづくりの実践		2014年 4月 1日	卒業研究の一環として、ハイブリッドロケット設計・製作・打ち上げ指導を行い、実際に打ち上げることで、ものづくりの実際を体験させた、		
dotCampusを活用した予習・復習資料の配布		2014年 4月 7日 ～現在に至る	dotCampusを活用して講義資料・演習問題及び解答を配布することにより、予習・復習が容易となった。		
2 作成した教科書、教材					
「工業力学及び演習I」の講義資料と演習問題の作成		2014年 4月 7日 ～2014年 7月30日	穴埋め式の講義用資料 (A4 3枚程度) を作成し、配布・穴埋め箇所を記入させることで、講義に集中させることができた。また、毎回演習問題 (A4 2枚程度) を配布し、講義時間内および時間外に取り組み、内容の定着に取り組んだ。		
「コンピュータ解析」における予習及び演習教材の作成		2014年 9月 1日 ～現在に至る	「コンピュータ解析」における予習及び演習教材の作成を行った。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					

Buckling of Thin and Moderately Thick Anisotropic Cylinders under Combined Torsion and Axial Compression (査読付)	単著	2011年 2月	Thin-Walled Structures, Vol. 49, Issue 2, pp. 304-316		
次世代衛星向け軽量大 型複合材料セントラル シリンダの開発	共著	2011年 6月	航空宇宙技術, Vol. 10, pp. 37-42,	高野洋一、正井卓馬、世古博巳、 高野敦、三浦末志	
次期高性能静止衛星構 体の開発	共著	2011年 8月	航空宇宙技術, Vol. 10, pp. 75-82,	高野敦、高野千尋、早田康三、 石島義之、宇都宮真、清水隆三	
Simple Closed-Form Solution for the Buckling of Moderately Thick Anisotropic Cylinders (査読付)	単著	2012年 7月	Aerospace Technology of Japan Vol. 10, pp.17-26,		
Statistical Knockdown Factors of Buckling Anisotropic Cylinders under Axial Compression (査読付)	単著	2012年 9月	ASME Journal of Applied Mechanics Vol. 79, 051004		
Interaction between Euler Buckling and Brazier Instability (査読付)	単著	2013年 1月	Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering, Vol. 7, No. 14, pp.92-101,		
複数のサンプルセット を併合した場合の片側 許容限界(AおよびB値) の導出、(査読付)	共著	2013年 1月	材料, Vol. 62, No.1, pp. 45-49,	高野 敦、森永洋次、井上登志夫	

複数のサンプルセットを併合した場合のA およびB 値の導出（繰返し数が不ぞろいの場合）（査読付）	共著	2013年 4月	日本機械学会論文集A 編, Vol. 79, No. 800, pp. 455-462,	高野 敦, 森永 洋次, 井上 登志夫	
衛星構造用高強度ボルト締結体の開発（査読付）	共著	2013年 5月	日本機械学会論文集A 編, Vol. 79, No. 801, pp. 682-690,	高野 敦、松林 三和子、松田 淑男、高野 千尋、小畑 貴稔、森川 洋	
Ti-6Al-4V およびA286製ボルトの長期軸力保持特性とその推定（査読付）	共著	2013年 8月	日本機械学会論文集A 編, Vol. 79, No. 804, pp. 1201-1209	高野 敦、松林 三和子、松田 淑男、小畑 貴稔、森川 洋	
面外せん断変形を考慮した一般異方性円筒殻の軸圧縮・ねじり及び複合荷重における解（査読付）	単著	2013年10月	日本機械学会論文集A 編 7(806)		1471-1485頁
一般異方性円筒殻の座屈	単著	2014年	神奈川大学工学研究所所報(神奈川大学工学研究所) 37		
一般異方性円筒殻の軸圧縮・ねじりおよび複合荷重に対する閉じた解（査読付）	単著	2014年 4月	日本機械学会論文集A 編 80(812)		p. SMM0085頁
面外せん断変形を考慮した異方性円筒殻の軸圧縮・ねじりおよび複合荷重に対する閉じた解（査読付）	単著	2014年11月	航空宇宙技術(日本航空宇宙学会) 13		77-86頁
その他					
Ti-6AL-4VおよびA286製ボルトの長期軸力特性	共著	2011年	第27回 宇宙構造・材料シンポジウム,	高野 敦、松林 三和子、松田 淑男、小畑 貴稔、森澤 信之、森川 洋	

複数のサンプルセットを併合した場合のAおよびB値の導出について	共著	2011年	第27回 宇宙構造・材料シンポジウム,	高野 敦、森永 洋次、井上 登志夫	
Development of a Large Lightweight Composite-Honeycomb-Sandwich Central Cylinder for Next-Generation Satellites	共著	2012年 7月	Aerospace Technology of Japan, Vol. 10, pp.11-16,	Yoichi TAKANO, Takuma MASAI, Hiromi SEKO, <u>Atsushi TAKANO</u> , and Matsushi MIURA	
幾何学的非線形解析における応力・歪の定義について	単独	2012年 8月	第54回 構造強度に関する講演会		
複数のサンプルセットの併合によるAおよびB値の導出（繰返し数が不ぞろいの場合）	共同	2012年 8月	第54回 構造強度に関する講演会	森永洋次，井上登志夫	
3Dプリンタによる応力対応型トラス構造	共同	2014年12月	第30回宇宙構造・材料シンポジウム(神奈川県)		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1995年 7月～現在に至る	個人研究 複合材料円筒殻の座屈 (研究代表者)				
1996年 7月～現在に至る	日本航空宇宙学会(国内学会)会員				
2012年12月～現在に至る	日本材料学会(国内学会)会員				
2013年 1月～現在に至る	日本機械学会(国内学会)会員				
2014年 4月～現在に至る	個人研究 ハイブリッドロケットの開発 (研究代表者)				

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 特別助教	氏名 林 晃生	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)	
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
数値制御工作機械の送り駆動系における消費電力の測定と評価	共著	2013年10月	精密工学会誌、Vol. 79, No. 10, (2013)	佐藤隆太、白瀬敬一	pp. 930-936頁
Measurement and Simulation and of Energy Consumption of Feed Drive Systems	共著	2014年 4月	Journal of mechanics Engineering and Automation vol.4(No.3)	Akio Hayashi, Ryoma Iwase, Ryuta Sato, Keiichi Shirase	203-212頁

送り駆動系におけるエネルギー収支の評価	共著	2014年 4月	精密工学会誌 vol. 80 (No. 4)	林晃生, 岩瀬竜馬, 佐藤隆太, 白瀬敬一	395-400頁
数値制御工作機械送り駆動系の消費エネルギーに基づく工具経路評価	共著	2014年 7月	Vol. 80 (No. 7)	林晃生, 井上雄太, 佐藤隆太, 白瀬敬一	
その他					
数値制御工作機械の送り駆動系における消費電力	共著	2012年 3月	2012年度精密工学会春季大会	林晃生, 橋本雅之, 佐藤隆太, 白瀬敬一	357-358頁
送り駆動系における消費電力の測定と評価	共著	2012年 6月	精密工学会2012年度関西地方定期学術講演会	林晃生, 橋本雅之, 佐藤隆太, 白瀬敬一	4-5頁
数値制御工作機械の送り駆動系における消費電力(第2報)~制御パラメータの影響と回転軸における消費電力~	共著	2012年 9月	2012年度精密工学会秋季大会	林晃生, 橋本雅之, 佐藤隆太, 白瀬敬一	675-676頁
Electric Power Consumption of Feed Drive System in NC Machine Tools	共著	2012年11月	The 5th International Conference on Positioning Technology	Akio Hayashi, Masayuki Hashimoto, Ryuta Sato and Keiichi Shirase	273-278頁
Measurement and Evaluation of Power Consumption of Feed Drive System in 5-axis Machining Center	共著	2012年11月	the 15th International Machine Tool Engineers' Conference	Akio HAYASHI, Masayuki HASHIMOTO, Ryuta SATO, Keiichi SHIRASE	233-234頁
Measurement and Evaluation of Power Consumption of Feed Drive System in Machine Tools	共著	2012年12月	JSPS-DST Asian Academic Seminar 2012 ~ Manufacturing, Design and Innovation ~	Akio Hayashi, Masayuki Hashimoto, Ryuta Sato, Keiichi Shirase	

NC工作機械の送り駆動系における消費電力シミュレーション	共著	2013年 3月	2013年度精密工学会春季大会	林晃生, 橋本雅之, 佐藤隆太, 白瀬敬一	707-708頁
ボールねじを用いた送り駆動系の消費エネルギー	共著	2013年 3月	2013年度精密工学会春季大会	橋本雅之, 林晃生, 佐藤隆太, 白瀬敬一	825-826頁
切削加工時における数値制御工作機械主軸及び送り駆動系の消費電力	共著	2013年 3月	2013年度精密工学会春季大会 第20回学生会員卒業研究発表講演会	柏木洋慶, 佐藤隆太, 林晃生, 白瀬敬一	77-78頁
送り駆動系の消費電力削減に関する研究	共著	2013年 3月	2013年度精密工学会春季大会 第20回学生会員卒業研究発表講演会	岩瀬竜馬, 橋本雅之, 林晃生, 佐藤隆太, 白瀬敬一	81-82頁
消費エネルギーに基づく工具経路評価指標の開発	共著	2013年 6月	精密工学会2013年度関西地方定期学術講演会講	井上雄太, 林晃生, 佐藤隆太, 白瀬敬一	24頁
エンドミル加工における数値制御工作機械主軸および送り駆動系の消費エネルギー	共著	2013年 9月	2013年度機械学会秋季大会	柏木洋慶, 佐藤隆太, 林晃生, 白瀬敬一	
送り駆動系における消費エネルギーに基づく工具経路評価指標	共著	2013年 9月	2013年度精密工学会秋季大会	林晃生, 井上雄太, 佐藤隆太, 白瀬敬一	5-6頁
送り駆動系における消費エネルギーに基づく工具経路評価指標	共著	2013年 9月	2013年度精密工学会秋季大会	林晃生, 井上雄太, 佐藤隆太, 白瀬敬一	
送り駆動系の消費エネルギー削減に関する研究-送り駆動系の消費エネルギーに影響を及ぼす因子-	共著	2013年 9月	2013年度精密工学会秋季大会	岩瀬竜馬, 橋本雅之, 林晃生, 佐藤隆太, 白瀬敬一	465-466頁
Measurement and Simulation of Electric Power Consumption of Feed Drive Systems	共著	2013年11月	International Mechanical Engineering Congress & Exposition 2013	Akio Hayashi, Ryoma Iwase, Ryuta Sato and Keiichi Shirase	

Motion Path Evaluation based on Energy Consumption of Feed Drive System in NC Machine Tool	共著	2013年11月	The 7th International Conference on Leading Edge Manufacturing in 21st Century	Akio Hayashi, Yuta Inoue, Ryuta Sato and Keiichi Shirase	
工作機械駆動系のシミュレーションモデルによるエネルギー削減に有効な工具経路の検討	共同	2014年 9月	2014年度 精密工学会 秋季大会(鳥取大学 鳥取キャンパス)		
切削負荷による外乱を考慮した ウォータドライブスピンドルの回転数制御モデルの検討	共同	2014年11月	第10回 生産加工・工作機械部門講演会(生産加工・工作機械部門 企画)(徳島大学常三島キャンパス)		
Simulation Study on Rotational Speed Control of Water Driven Spindle Considering Influence of Cutting Forces	共同	2015年 1月	2015 International Conference on Intelligent Materials and Manufacturing Engineering (IMME2015) (Phuket Island, Thailand)		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
2012年 1月～現在に至る		精密工学会(国内学会)会員			
2012年11月～現在に至る		平成24年度 国際交流活動(渡航)助成金、公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団(7万円)			
2014年 6月～現在に至る		機械学会(国内学会)会員			



教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 特別助教	氏名 有馬 隆司		大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
濃密気体に対する「拡張された熱力学」理論	共著	2010年	統計物理学研究会 研究 報告集 20	有馬隆司、生駒明之、谷口茂 、杉山勝	76-89頁
Fluctuating Hydrodynamics for a Rarefied Gas Based on extended Thermodynamics (査読 付)	共著	2011年 6月	Physics Letters A 375	T. Arima A. Ikoma S. Taniguchi N. Zhao and M. Sugiyama	2601-2605頁

Propagation of Sound Wave in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics I. Longitudinal Wave	共著	2012年	Proceedings of The 34th Symposium on Ultrasonic Electronics	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	315-316頁
Propagation of Sound Wave in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics II. Transverse Wave	共著	2012年	Proceedings of The 34th Symposium on Ultrasonic Electronics	Y. Mizuno, T. Arima, S. Taniguchi and M. Sugiyama	317-318頁
Fluctuating hydrodynamics based on extended thermodynamics (査読付)	共著	2012年 1月	Note di Matematica 32	T. Arima, A. Ikoma, S. Taniguchi, M. Sugiyama and N. Zhao	
Extended thermodynamics of real gases with dynamic pressure: An extension of Meixner' s theory (査読付)	共著	2012年 8月	Physics Letters A 376	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	2799-2803頁
Dispersion Relation for Sound in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics (査読付)	共著	2012年10月	Continuum Mechanics and Thermodynamics	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	
Extend thermodynamics of dense gases (査読付)	共著	2012年11月	Continuum Mechanics and Thermodynamics 24	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	271-292頁

Light Scattering in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics	共著	2013年	Proceedings of The 34th Symposium on Ultrasonic Electronics	T. Arima, S. Taniguchi and M. Sugiyama	15-16頁
Characteristic features of extended thermodynamics of dense gases (査読付)	共著	2013年 1月	Atti della Accademia Peloritana dei Pericolanti	T. Arima and M. Sugiyama	271-292頁
Monatomic rarefied gas as a singular limit of polyatomic gas in extended thermodynamics (査読付)	共著	2013年11月	Physics Letters A 377	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	2136-2140頁
A study of linear waves based on extended thermodynamics for rarefied polyatomic gases (査読付)	共著	2014年	Acta Applicandae Mathematicae 132	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	15-25頁
Effect of the dynamic pressure on the shock wave structure in a rarefied polyatomic gas (査読付)	共著	2014年	Physics of Fluids 26	S. Taniguchi, T. Arima, T. Ruggeri and M. Sugiyama	016103頁
Extended Thermodynamics of Rarefied Polyatomic Gases and Characteristic Velocities (査読付)	共著	2014年	Rendiconti Lincei Matematica e Applicazioni 25	T. Arima, A. Mentrelli, and T. Ruggeri	275-291頁

Molecular Extended Thermodynamics of Rarefied Polyatomic Gases and Wave Velocities for Increasing Number of Moments (査読付)	共著	2014年	Annals of Physics 345	T. Arima, A. Mentrelli, and T. Ruggeri	111-140頁
On the six-field model of fluids based on extended thermodynamics (査読付)	共著	2014年	Meccanica 49	T. Arima, T. Ruggeri, M. Sugiyama and S. Taniguchi	2181-2187頁
Shock wave structure in a rarefied polyatomic gas based on extended thermodynamics (査読付)	共著	2014年	Acta Applicandae Mathematicae 132	S. Taniguchi, T. Arima, T. Ruggeri and M. Sugiyama	583-593頁
The role of the dynamic pressure in stationary heat conduction of a rarefied polyatomic gas (査読付)	共著	2014年	Physics Letters A 378	T. Arima, E Barbera, F. Brini and M. Sugiyama	2695-2700頁
Thermodynamic theory of the shock wave structure in a rarefied polyatomic gas: Beyond the Bethe-Teller theory (査読付)	共著	2014年	Physical Review E 89	S. Taniguchi, T. Arima, T. Ruggeri and M. Sugiyama	013025頁
拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中の衝撃波構造III : 緩和過程	共著	2014年	平成25年度衝撃波シンポ ジウム講演論文集	服部拓麻、谷口茂、有馬隆司、 杉山勝	

拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中の衝撃波構造II：6変数理論	共著	2014年	平成25年度衝撃波シンポジウム講演論文集	有馬隆司、谷口茂、杉山勝	
拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中の衝撃波構造I：14変数理論	共著	2014年	平成25年度衝撃波シンポジウム講演論文集	谷口茂、有馬隆司、杉山勝	
その他					
濃密気体に対する「拡張された熱力学」理論	単独	2010年 8月	第55回物性若手夏の学校	有馬隆司	
濃密気体に対する拡張された熱力学理論の検証	共同	2010年 9月	日本物理学会2010年秋季大会(大阪府立大学)	有馬隆司、谷口茂、杉山	
拡張された熱力学理論の紹介	共同	2010年12月	統計物理学研究会(名古屋工業大学)	有馬隆司、谷口茂、杉山	
Fluctuating Hydrodynamics Based on Extended Thermodynamics	共同	2011年 6月	16th Conference on Waves and Stability in Continuous Media (Brindisi)	M. Sugiyama, A. Ikoma, T. Arima, S. Taniguchi and N. Zhao	
Extended Thermodynamics of Dense Gases. Part I	共同	2011年 9月	INDAM Meeting : Non linear hyperbolic systems of balance laws in Extended Thermodynamics and Kinetic Theory (Cortona)	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	
Extended Thermodynamics of Dense Gases. Part II	共同	2011年 9月	INDAM Meeting : Non linear hyperbolic systems of balance laws in Extended Thermodynamics and Kinetic Theory (Cortona)	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	

Extended Thermodynamics of Dense Gases	単独	2011年 9月	XXXVI Summer School on Mathematical Physics(Ravello)	T. Arima	
Extended Thermodynamics of Dense Gases	共同	2011年11月	Trends in Thermodynamics and Materials Theory. A Symposium in Honor of the 75th Birthday and Scientific Life of Prof. Ingo Müller(Berlin)	M. Sugiyama, T. Arima, S. Taniguchi and T. Ruggeri	
濃密気体に対する拡張された熱力学	単独	2011年12月	統計物理学研究会(名古屋工業大学)	有馬隆司	
濃密気体に対する拡張された熱力学に基づく線形波動の解析	共同	2012年 3月	物理学会第67回年次大会(関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス)	有馬隆司、 谷口茂、 杉山	
Extended Thermodynamics of Dense Gases: Theory and Application	単独	2012年 9月	XXXVII Summer School on Mathematical Physics(Ravello)	T. Arima	
Extended Thermodynamics of Dense Gases: Theory and Its Application	共同	2012年10月	The 6th China-Italy Colloquium on Applied Mathematics(Shanghai)	M. Sugiyama, T. Arima, S. Taniguchi and T. Ruggeri	
Propagation of Sound Wave in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics I. Longitudinal Wave	共同	2012年11月	第33回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(千葉大学)	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	
Propagation of Sound Wave in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics II. Transverse Wave	共同	2012年11月	第33回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(千葉大学)	Y. Mizuno, T. Arima, S. Taniguchi and M. Sugiyama	

Extended Thermodynamics of Dense Gases Part II. -Linear Waves-	単独	2013年 2月	Workshop on Recent developments of Non-Equilibrium Thermodynamics: Extended Thermodynamics, Kinetic Theory, and Engineering Applications (Nagoya Institute of Technology)	T. Arima	
拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中を伝播する縦波と横波の解析	共同	2013年 3月	日本物理学会第68回年次大会(広島大学東広島キャンパス)	有馬隆司, 水野葉子, 谷口茂, 杉山勝	
Dense-Gas Model Based on Extended Thermodynamics	共同	2013年 4月	4th International Conference on New Trends in Fluid and Solid Models (Salerno)	M. Sugiyama, T. Arima, S. Taniguchi and T. Ruggeri	
多原子分子希薄気体に対する拡張された熱力学における特性速度の特徴	共同	2013年 9月	日本物理学会 2013 年秋季大会(徳島大学常三島キャンパス)	有馬隆司、谷口茂、杉山	
Light scattering in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics	共同	2013年11月	第34回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(同志社大学)	T. Arima, S. Taniguchi and M. Sugiyama	
拡張された熱力学の紹介-その基礎・発展・応用-	単独	2014年 2月	第七回紀州吉宗セミナー(和歌山大学)	有馬隆司	
濃密気体に対する拡張された熱力学 -その理論と応用-	単独	2014年 2月	第79回現象数理セミナー(九州大学伊都キャンパス)	有馬隆司	

拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中の衝撃波構造III : 緩和過程	共同	2014年 3月	平成25年度衝撃波シンポジウム(青山学院大学 相模原キャンパス)	服部拓麻、谷口茂、有馬隆司、杉山勝	
拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中の衝撃波構造II : 6 変数理論	共同	2014年 3月	平成25年度衝撃波シンポジウム(青山学院大学 相模原キャンパス)	有馬隆司、谷口茂、杉山	
拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中の衝撃波構造I : 14 変数理論	共同	2014年 3月	平成25年度衝撃波シンポジウム(青山学院大学 相模原キャンパス)	谷口茂、有馬隆司、杉山勝	
拡張された熱力学に基づく多原子分子希薄気体中を伝播する縦波 II	共同	2014年 3月	日本物理学会第69回年次大会(東海大学 湘南キャンパス)	有馬隆司、谷口茂、杉山勝	
多原子分子気体に対する「拡張された熱力学」理論とそれに基づく衝撃波構造の解析	共同	2014年 6月	第12回日本流体力学会中四国・九州支部講演会(九州大学伊都キャンパス)	谷口茂、有馬隆司、T. Ruggeri、杉山勝	
多原子分子希薄気体中の定常熱伝導問題におよぼす動圧の効果	共同	2014年 9月	日本物理学会 2014 年秋季大会(中部大学 春日井キャンパス)	有馬隆司、E. Barbera、F. Brini、杉山勝	
多原子分子希薄気体中の衝撃波構造に対する動圧の影響	共同	2014年 9月	日本物理学会 2014 年秋季大会(中部大学 春日井キャンパス)	谷口茂、有馬隆司、T. Ruggeri、杉山勝	
Extended Thermodynamics of Dense Gases: Review of Its Recent Developments	共同	2014年12月	17th Conference on Waves and Stability in Continuous Media(Levico TN)	M. Sugiyama, T. Arima, S. Taniguchi and T. Ruggeri	
Molecular Extended Thermodynamics of Polyatomic Gases with Many Number of Moments	共同	2014年12月	Workshop on current problems in fluid-dynamics and non-equilibrium thermodynamics(Bressanone)	T. Arima, T. Ruggeri, M. Sugiyama and S. Taniguchi	



Nonlinear Extended Thermodynamics of Real Gases with Six Fields. Part I: Universal Principles and Field Equations	共同	2014年12月	Workshop on current problems in fluid-dynamics and non-equilibrium thermodynamics(Bressanone)	T. Arima, T. Ruggeri, M. Sugiyama and S. Taniguchi	
Nonlinear Extended Thermodynamics of Real Gases with Six Fields. Part II: Comparison with the Meixner Theory of Relaxation Processes	共同	2014年12月	Workshop on current problems in fluid-dynamics and non-equilibrium thermodynamics(Bressanone)	T. Arima, T. Ruggeri, M. Sugiyama and S. Taniguchi	
Propagation of Linear Waves in Rarefied Polyatomic Gases Based on Extended Thermodynamics	共同	2014年12月	17th Conference on Waves and Stability in Continuous Media(Levico TN)	T. Arima, S. Taniguchi, T. Ruggeri and M. Sugiyama	
Shock structures and sub shocks in rarefied polyatomic gases based on extended thermodynamics	共同	2014年12月	17th Conference on Waves and Stability in Continuous Media(Levico TN)	S. Taniguchi, T. Arima, T. Ruggeri and M. Sugiyama	
Shock waves in rarefied polyatomic gases with large bulk viscosity based on extended thermodynamics	共同	2014年12月	Workshop on current problems in fluid-dynamics and non-equilibrium thermodynamics(Bressanone)	S. Taniguchi, T. Arima, T. Ruggeri and M. Sugiyama	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
	日本物理学会(国内学会)会員				
	第17回スターリングサイクルシンポジウム委員会 幹事				

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部機械工学科		職名 特別助手	氏名 田村 泰人		大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
A Decision Making for a Robot Based on Simple Interaction with Human (査読付)	共著	2012年 5月	Proceedings of the 5th International Conference on Intelligent Interactive Multimedia Systems and Services SIST 14	Hiroyuki Masuta, Yasuto Tamura, Hum-ok Lim	1-10頁

A Direct Perception for Decision Making of A Service Robot (査読付)	共著	2012年 6月	Proceedings of IEEE World Congress on Computational Intelligence	Hiroyuki Masuta, Yasuto Tamura, Hun-ok Lim	3484-3489頁
Self-Organized Map based Learning System for Estimating the Specific Task by Simple Instructions (査読付)	共著	2013年 5月	Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics Vol. 17 (N03)	Hiroyuki Masuta, Yasuto Tamura, Hun-ok Lim	450-458頁
その他					
人間の指示を解釈するための知的制御	共著	2011年11月	計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会	田村泰人、増田寛之、林憲玉	151-156頁
サービスロボットののためのSOMを用いた片づけタスクの推定	共著	2012年 9月	日本ロボット学会第30回記念学術講演会 RSJ2012AC1H2-4	田村泰人、増田寛之、林憲玉	4頁
SOMを用いた食器状態分類と片づけタスクの推定	共著	2013年 9月	日本ロボット学会第31回記念学術講演会 RSJ2013AC1I2-05	田村泰人、増田寛之、林憲玉	4頁
Saliency Mapを用いた複雑背景における物体検出手法の開発	共著	2014年 5月	Proceedings of the JSME Conference on Robotics and Mechatronics	田村泰人、増田寛之、林憲玉	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
2012年10月～現在に至る	日本ロボット学会 学生会員				
2012年10月～2014年 3月	日本ロボット学会(国内学会)学生会員				